Panasonic®

安全上のご注意
接続／設定
ディスプレイで楽しむ
テレビと接続して楽しむ
必要なとき

取扱説明書

ネットワークディスプレイ付 ハードディスクレコーダー

品番 UN-JL19T1

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（171 ～177ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続と設定を行ってください

テレビにレコーダーを接続しないで使用する場合 ▶ **18** ページ

テレビにレコーダーを接続して使用する場合 ▶ **42** ページ

●詳しい接続と設定は、132 ページをご覧ください。

VQT4H37-1

特長

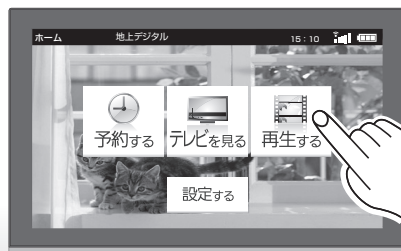
「ネットワークディスプレイ」で
ワイヤレスで見たい番組を楽しめる

ディスプレイで楽しむ
▶ 17 ページ

「録る」・「見る」の基本操作を楽しめます

使用する場所の電波状況によっては、映像が乱れたり、安定しない場合があります。

ネットワークディスプレイをご使用になるには、レコーダーの設置と無線接続が必要です。

タッチ操作で
予約も再生もかんたん

「レコーダーをテレビにつないで」
付属のレコーダー用リモコンで操作します

テレビと接続して楽しむ
▶41 ページ

より便利な機能が利用できるようになります

例えば…

予約が便利に

関連番組まとめて予約

新番組おまかせ録画

注目番組一覧

などの機能が利用できるようになります。

ネットワークにつないで インターネットを楽しむ

インターネット

ネットワークディスプレイでインターネットを見ることはできません。

USB-HDD をつないで 記録容量を増設する

バスパワー方式の USB-HDD

もしくは

電源供給方式の USB-HDD

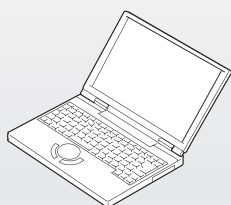
ネットワークディスプレイとレコーダーにつないだテレビの同時操作については、158 ページをご覧ください。

操作についてのご案内

連携機器情報などの詳しい情報は　当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。（レコーダーからホームページをご覧になることはできません）

ブラウザのアドレスバーに

http://panasonic.jp/support/hdd/ と入力

ディスプレイやレコーダーを使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる**「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」**
- 連携できる機器品番情報などを確認できる**「動作確認情報一覧」**
- 困ったときや、用語を調べたいときの**「よくあるご質問」**など

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（➜171 ～177 ページ）

ディスプレイで楽しむ

（➜ 次ページに続く）

目次（続き）

テレビと接続して楽しむ

視聴

録画

再生 / 編集

ダビング

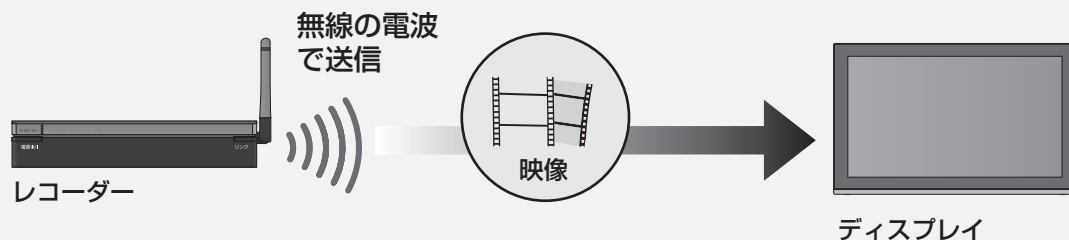
便利機能

各種設定

詳しい接続と設定

必要なとき

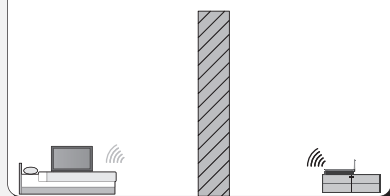
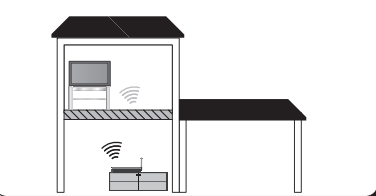
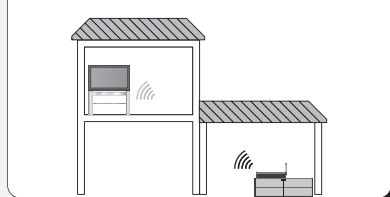
設置に関するお知らせ

本製品は、レコーダーからの映像をディスプレイに送信するために、無線の電波を使用しています。

電波は、直線で届く場合と壁などの障害物で反射されて届く場合があり、レコーダーからディスプレイの間に何も障害物がないときは、直線見通しで約 35m まで電波が届きます。
ただし、住宅などで使用する場合、壁や天井などの障害物で反射の影響を受けるため、電波の届く範囲は変動し、届きにくくなります。
パソコンでのホームページ閲覧などと比較すると、映像の送信は情報量が多くなるため、電波が届きにくくなると、映像が途切れたり、停止しやすくなります。

どんな場合に電波が届きにくいか？

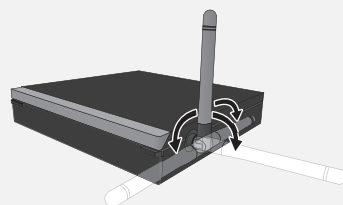
レコーダーとディスプレイの直線上に、以下のような障害物があると電波は届きにくくなります。

- ●金属（鉄筋コンクリート、金属製家具など）
- ●水
- ●人ごみ

住宅でご使用になる場合は、以下のようなときに電波が届きにくくなります。

電波を届きやすくするには

① レコーダーのアンテナの向きを調整してみる

●向きを変更して電波の状態を確認してください。

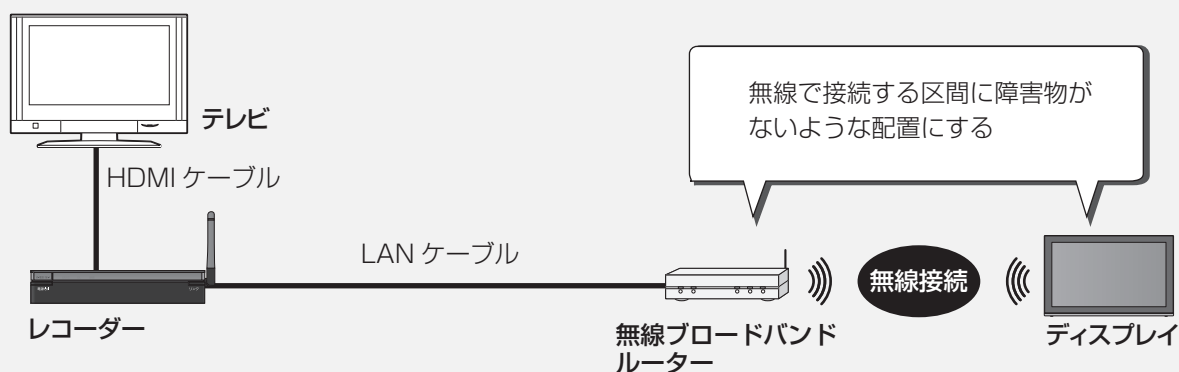
●ディスプレイに表示されるアンテナ本数は､アンテナの受信強度を表します。電波の状態を確認する目安にしてください。（ただし、本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像が途切れたり、停止することがあります）

② レコーダーやディスプレイの設置場所を変更してみる

●電波が届きにくくなる障害物がないように設置してください。

●レコーダーとディスプレイの距離が近くなるように設置してください。

③ 無線ブロードバンドルーターを使って接続してみる

設置例）

以下のように、無線ブロードバンドルーターを使って、無線で接続する箇所に障害物がないように設置すると電波が届きやすくなります。

※ 無線ブロードバンドルーターに接続して使用するには、ディスプレイとレコーダーのネットワーク設定をする必要があります。(➔38)

ディスプレイの「無線と映像品質の設定」について

レコーダーからディスプレイに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（録画モードが DR や 3 倍録で録画した番組など)、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

ディスプレイには、レコーダーから映像を送信する際に、画質を落として映像を送信しやすくする「無線と映像品質の設定」(➔38) の設定があります。

電波が届きにくい場合は､「自動」または「無線優先」に設定することで、映像の途切れなどをおさえることができます。

※ お買い上げ時の設定は「自動」です。

設置について

●アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。
●レコーダーは縦に置かない。
●ディスプレイの液晶画面を下にして置かない。（液晶画面の表面に傷がつく原因になります）

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期

●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

レコーダーの温度上昇について

レコーダーを使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから３分以上待ってください。

●温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

廃棄 / 譲渡するときは

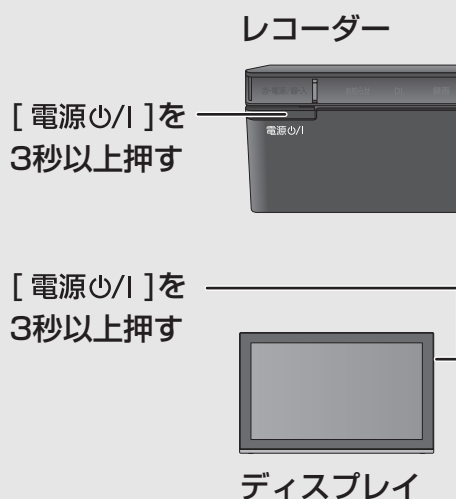
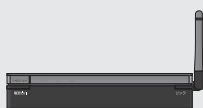
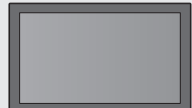
154 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

レコーダーには、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 98 ページをご覧ください。

番組などの消去について

番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

操作を受け付けなくなったときは…

電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜162

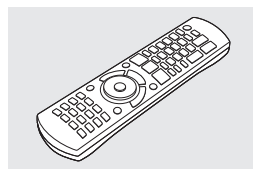
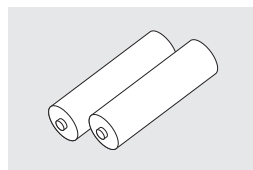
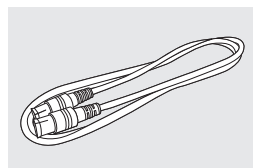
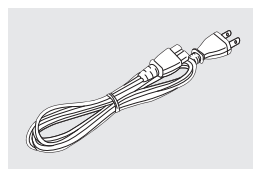
本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
●ネットワークディスプレイを「ディスプレイ」、ハードディスクレコーダーを「レコーダー」と記載しています。
●レコーダーのスタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

付属品

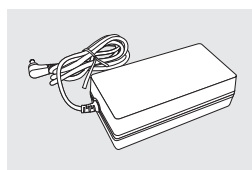
ハードディスクレコーダー
UN-JS100
（本書ではレコーダーと記載しています）

ネットワークディスプレイ
UN-JD19T1
（本書ではディスプレイと記載しています）

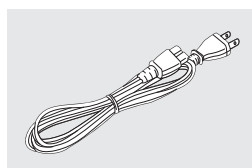
レコーダー用

リモコン（1 個）
N2QAYB000783

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池

アンテナケーブル（75Ω 同軸ケーブル）（1 本）
K2KZ2BA00005

電源コード（1 本）※1
K2CA2CA00024

miniB-CAS カード（1 枚）
- 台紙に貼り付けてあります。
- 本カードの紛失時は（➔132）

ディスプレイ用

リモコン（1 個）
N2QAYC000071
- お買い上げ時は、コイン電池が入っています。

AC アダプター（1 個）
RFEA221W

電源コード（1 本）※1
K2CA2CA00024

- 電源コードキャップ※2および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2012 年 5 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本製品専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本製品に使用しないでください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm/

※ 1　2 本の電源コードは同じものです。レコーダー、ディスプレイどちらにも同様に使用できます。
※ 2　付属の電源コードによっては、電源コードキャップがないものがあります。

各部の働き

ネットワークディスプレイ

電源を切 / 入する

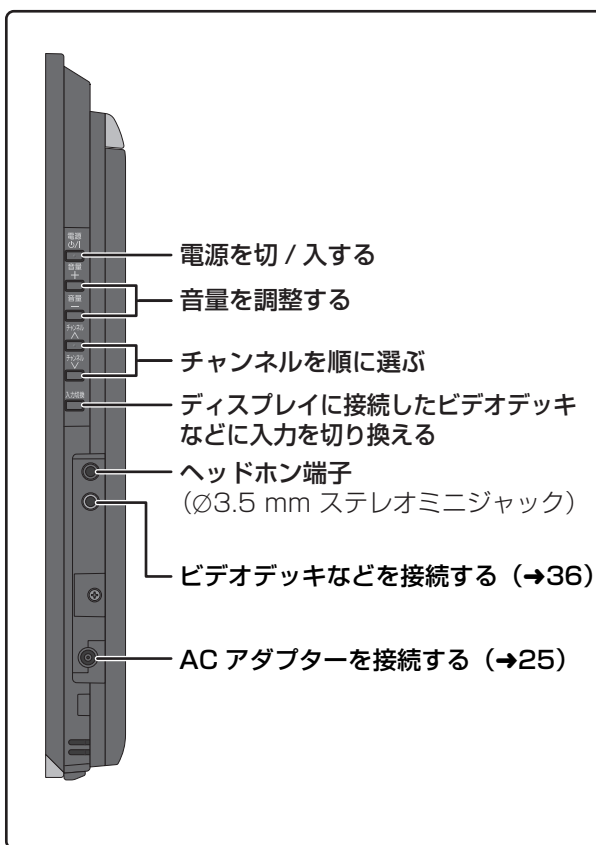
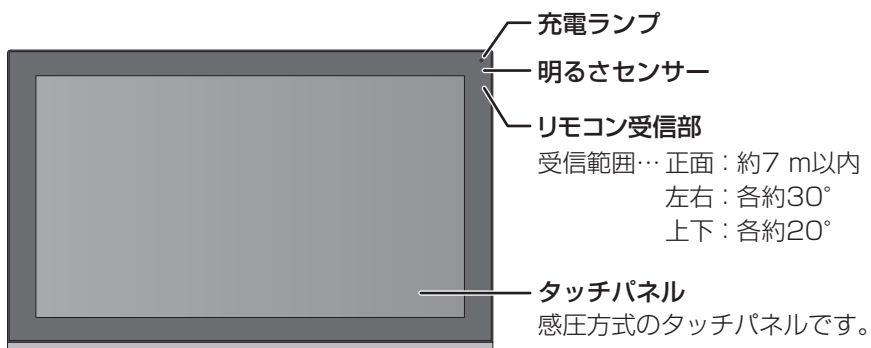
音量を調整する

チャンネルを順に選ぶ

ディスプレイに接続したビデオデッキなどに入力を切り換える

ヘッドホン端子
（∅3.5 mm ステレオミニジャック）

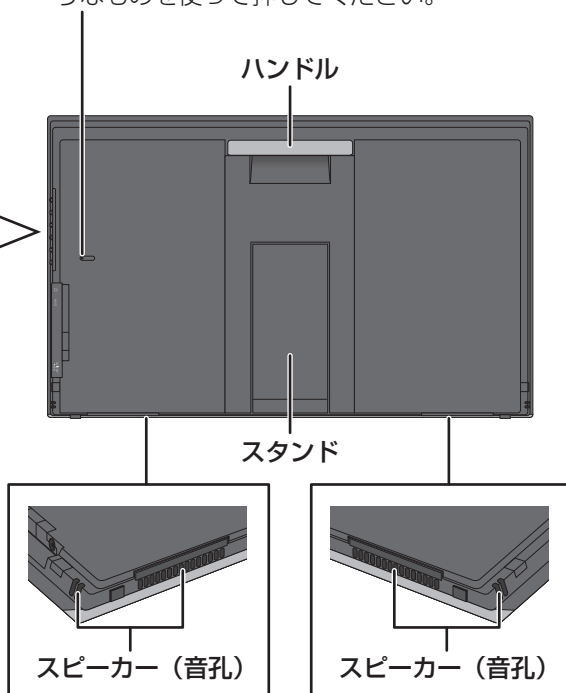
ビデオデッキなどを接続する（➜36）

AC アダプターを接続する（➜25）

リセットボタン
電源の切 / 入ができないなどディスプレイが正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

ハンドル

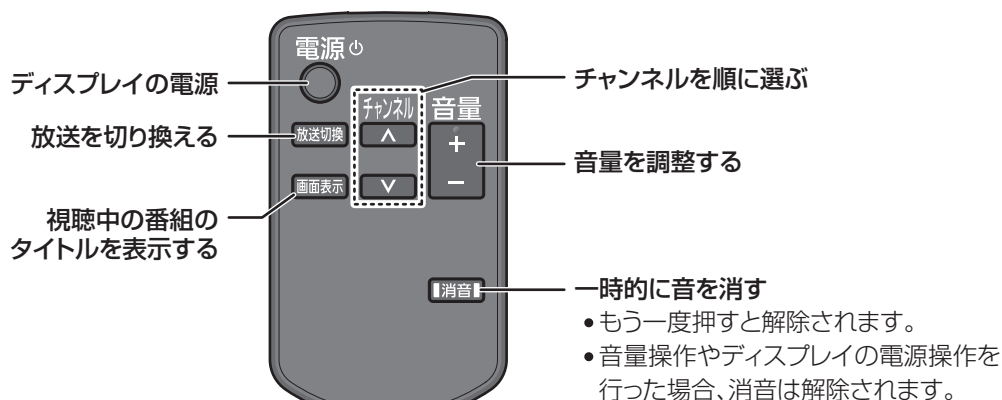
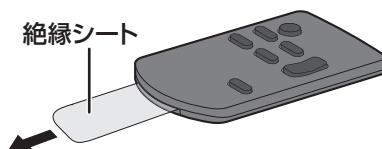
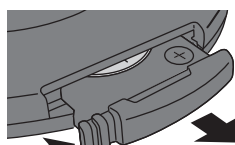
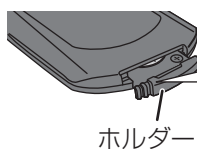
スタンド

スピーカー（音孔）

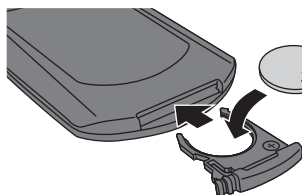
スピーカー（音孔）

ディスプレイ用リモコン

付属のディスプレイ用リモコンは、ディスプレイで視聴するときに使用します。

レコーダーを操作することはできません。

●ディスプレイのリモコン受信部（➔12）に向けて、まっすぐ操作してください。

コイン電池を交換する

❶ ホルダーを引き抜く

❷ 電池を入れてホルダーを戻す

各部の働き（続き）

レコーダー前面

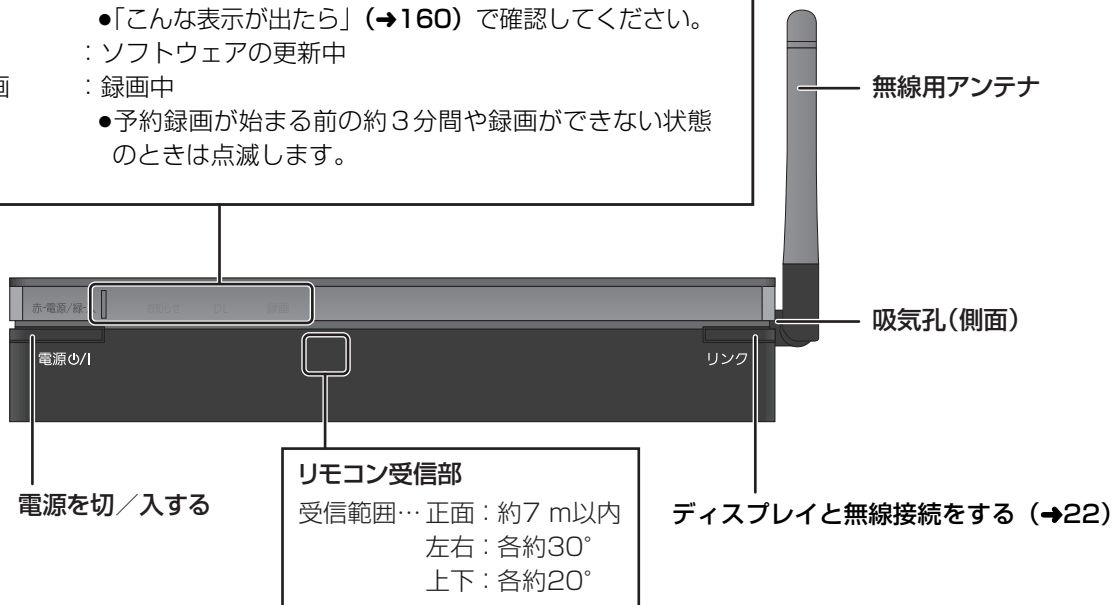
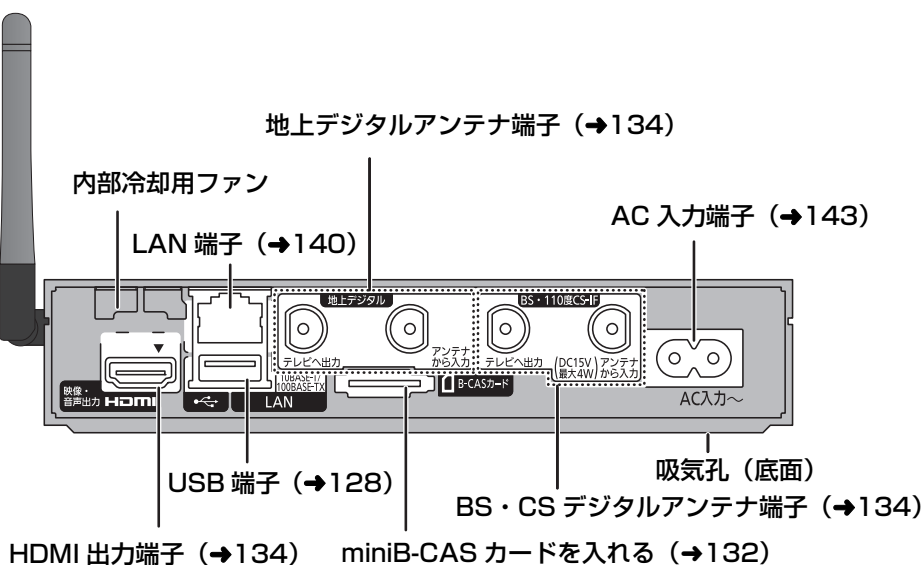
ランプ
以下の場合に点灯します。
電源ランプ：電源「切」状態で赤※、電源「入」状態で緑に点灯
※「電源（赤）ランプ表示」（➜120）が「切」の場合は消灯します
お知らせ　：エラーが発生した場合など
●「こんな表示が出たら」（➜160）で確認してください。
DL　　　　：ソフトウェアの更新中
録画　　　：録画中
●予約録画が始まる前の約３分間や録画ができない状態のときは点滅します。

無線用アンテナ

吸気孔（側面）

電源を切／入する

リモコン受信部
受信範囲… 正面：約7 m以内
左右：各約30°
上下：各約20°

ディスプレイと無線接続をする（➜22）

レコーダー背面

レコーダー用リモコン

付属のレコーダー用リモコンは、レコーダーをテレビに接続して操作するときに使用します。
ディスプレイを操作することはできません。

レコーダーの電源

エコ待機で電源を切る（➜49）

チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する

お好みチャンネルを表示する（➜55）

録画する（➜58）/
ワンタッチ予約する（➜59）
- ワンタッチ予約は、番組表上で実行することができます。

録画一覧を表示する（➜78）

サブメニューを表示する

画面上の指示に応じて
さまざまな用途に使用します。

放送を切り換える（➜54）

操作ガイドを表示する（➜48）

チャプターマークを作成・削除する（➜92）

録画モードを選ぶ（➜58）

テレビでネット画面を表示する（➜99）

テレビ操作部（➜125）
- テレビの操作をすることができます。

約 30 秒先へ飛び越す（➜83）

チャンネルを順に選ぶ

約 10 秒前へ戻す（➜83）

情報を表示する（➜56、84）

3桁番号を入力してチャンネルを選局する（➜55）

録画や再生時の基本操作

予約一覧画面を表示する（➜71）

スタート画面を表示する（➜51）

番組表を表示する（➜59）

選択および決定する

前の画面に戻る

もっと TV（VOD）画面表示する（➜101）

番組の消去や予約の取り消しをする

音声を切り換える（➜56、84）

データ放送の画面を表示する（➜54）

再生方法を設定する（➜86）

電池を入れる

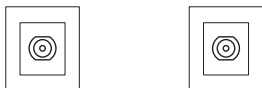
付属の単3形乾電池

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- レコーダー用リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。（➜124）
- レコーダーのリモコン受信部（➜14）に向けて、まっすぐ操作してください。

ディスプレイで楽しむ

ディスプレイを使って「テレビ視聴」や
レコーダーの基本操作「録る」「見る」
などを説明しています。

- ディスプレイを操作するには、レコーダーとの無線接続が必要です。
- レコーダー用リモコンでディスプレイを操作することはできません。

ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

VHF/UHF 端子　BS/CS 端子
（地上デジタル）

次のページからの手順
❶～❹ を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合
次のページからの手順
❶❸❹　を行ってください。

**B アンテナ端子が
ひとつの場合**

VHF/UHF・BS/CS 混合の端子
（別売の分波器が必要です）

次のページの B の接続をして
❸～❹を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合
次のページからの手順
❶❸❹　を行ってください。

**テレビにレコーダーを
接続して使用する場合**

42 ページからの接続と設定を
行ってください。

18 ～ 23 ページの接続と
設定は不要です

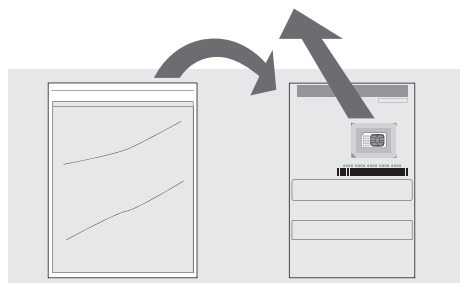
レコーダー接続 完成図

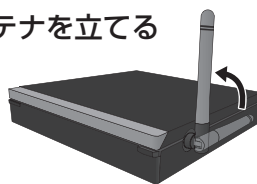
レコーダーは横置き専用です。
縦に置いて使用しないでください。

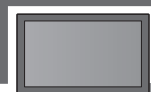
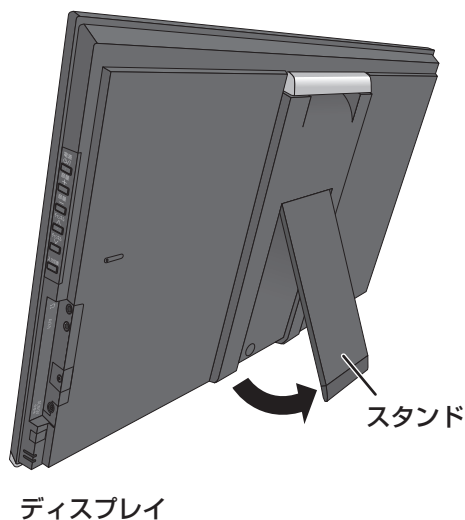
BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。③ に進んでください。

B アンテナ端子がひとつの場合

接続と設定を行ってください（続き）

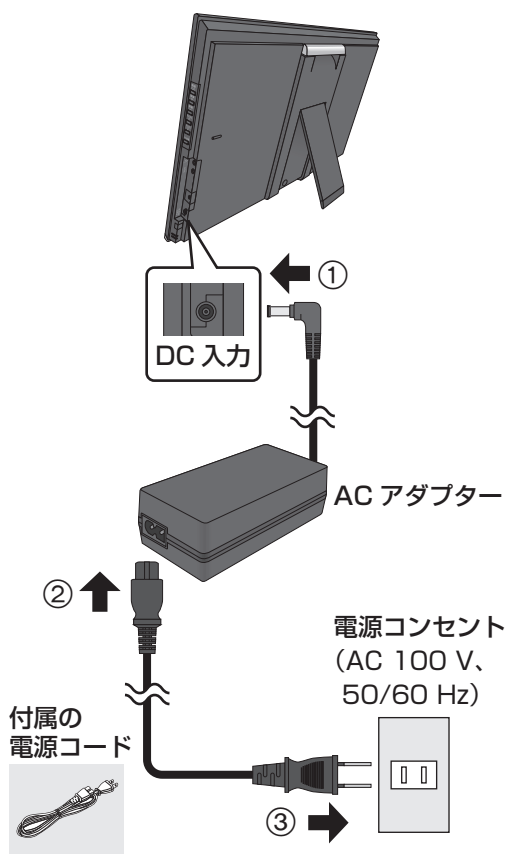
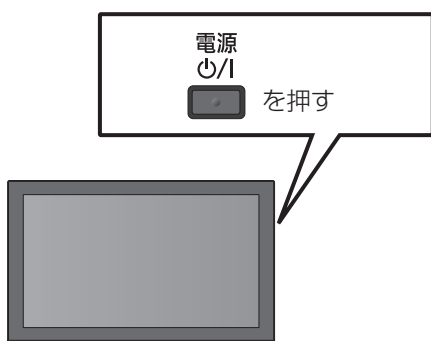
miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで差し込む

電源コードをつなぐ

アンテナを立てる

アンテナに無理な力を加えないでください。
また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

⑤ ディスプレイを設置する

1 水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置く

スタンドは、「カチッ」と音がするまで開いてください。

設置場所について（➜24）

2 ディスプレイに AC アダプターを接続する

⑥ レコーダーとディスプレイの設定をする

1 ディスプレイの電源を入れる

電源が入らないときは、電源ボタンを押したままにしてください。

手順 4 の画面が表示されます。

2 レコーダーの電源を入れる

3 レコーダーのリンクボタンを５秒以上押す

4 「接続開始」を選び、以降の設定をする

設定終了後、ホーム画面が表示されます。（➜27）

設定について詳しくは…
次 ページをご覧ください
ディスプレイの操作については…
26 ページをご覧ください

以下の設定をディスプレイを使って行ってください

❶ レコーダーとディスプレイの無線接続

レコーダーとの無線接続を行います。
1. レコーダーの電源を入れてください。
2. レコーダーの緑色のランプが点灯したら、レコーダーの「リンク」ボタンを5秒以上押し続けてください。
3. レコーダーの緑色のランプが点滅したら、「接続開始」を押してください。

接続開始

無線接続が失敗する場合は

以下の確認をしてください。
- レコーダーの電源が入になっていますか。
- レコーダーの電源ランプが点滅していますか。点滅していない場合、リンクボタンを点滅するまで押してください。
- ディスプレイをレコーダーに近づけてみてください。

❷ お住まい地域の設定

お住まい地域の郵便番号、市外局番、都道府県を設定してください。

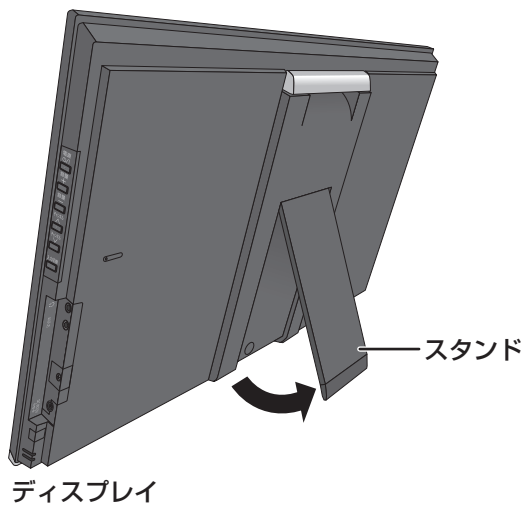
❸ 地上デジタル放送のチャンネル設定

地域設定終了後、チャンネルスキャンを開始します。

❹ 衛星アンテナの設定

❺ クイックスタートの設定

ディスプレイを設置する

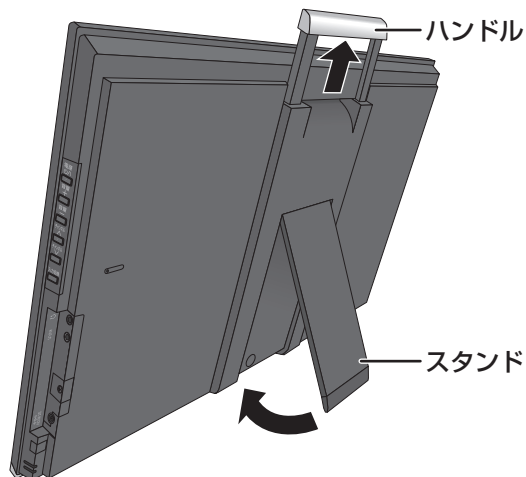
水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置く

●スタンドは、「カチッ」と音がするまで開いてください。

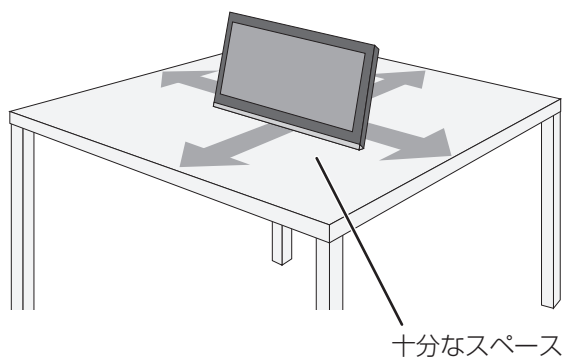
お知らせ

●ディスプレイをじゅうたんなどの上に置くと、スピーカーをふさいでしまい音が小さく聞こえる場合があります。

持ち運びする場合

ディスプレイ背面のハンドルを引き出し、スタンドを閉じて持ち運んでください。

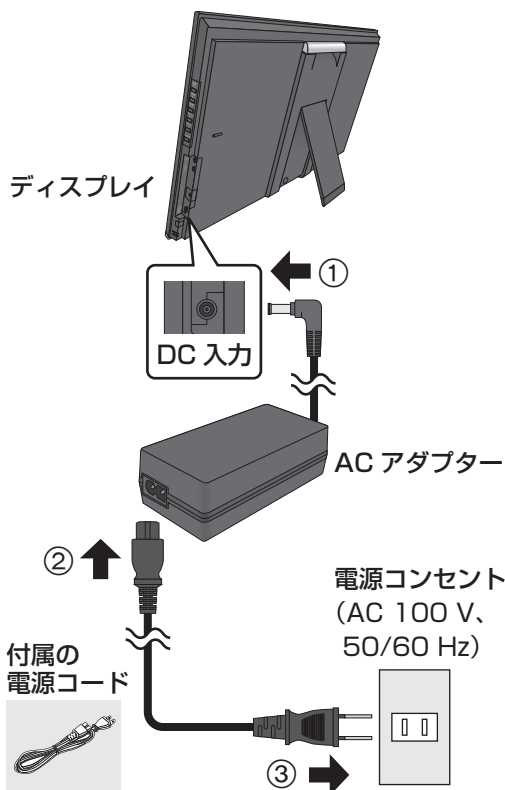
●ハンドルをしまうときやスタンドを閉じるときは、ディスプレイとハンドル、スタンドの間に指をはさまないようお気をつけください。

設置場所について

ディスプレイは、不安定な場所に置かないでください。テーブルの上などに置いて使用するときは、万一転倒しても落下しないように、ディスプレイの前後左右に十分なスペースを確保して置いてください。

充電する・電源を入れる

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

●ディスプレイはリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

ディスプレイに AC アダプターを接続する

充電中は、充電ランプが点灯、完了すると消灯します。

●「エコ充電」で充電することもできます。(➜40)

●電源「切」時に充電する場合、画面右下に充電マークが数秒間表示されます。

エコ充電「入」時　エコ充電「切」時

お知らせ

●電源が切れた状態でも、電力を消費しています。(➜168)
長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをお勧めします。

充電時間と再生時間

充電時間※1		電池持続時間※2※3
エコ充電「入」	エコ充電「切」	
約 4 時間 15 分	約 5 時間	約 5 時間 45 分

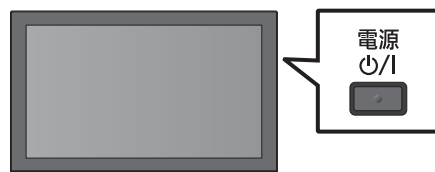
※1　20 ℃

※2　テレビ視聴時 /20 ℃ / ヘッドホン使用 / 液晶画面の明るさ「−5」

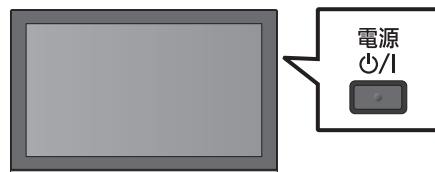
※3　エコ充電「切」で充電した場合
（エコ充電「入」で充電した場合の電池持続時間は、エコ充電「切」時の約 80 %になります）

●**上記の時間は使用条件により異なります。**

電源を入れる

[電源 ⏻/I] を押す

●お買い上げ時は無線接続の設定画面（➜22)、それ以降はホーム画面（➜27）が表示されます。

電源を切る

[電源 ⏻/I] を押す

ディスプレイ画面の操作について

ディスプレイの操作は画面に触れて行います。
目的に合わせた方法で操作してください。

項目を選ぶ

画面に触れて離す
（タッチする）

選択項目や操作ボタンを選ぶときに、この操作を行います。

表示を切り換える

指で画面を上下または左右にはらう
（フリックする）

番組表や録画一覧で、一覧表示を素早くスクロールしたいときなどに、この操作を行います。

再生位置や表示を前後させる

画面に触れたまま指を上下または左右に動かす
（ドラッグする）

再生を先に進めたり戻したりするときや、一覧表示を前後させるときなどに、この操作を行います。

お知らせ

- ディスプレイのタッチパネルは、指の圧力を感知する方式です。市販の画面保護シートを貼って使用している場合や反応しにくいと感じるときは、**少し強めに操作してください。**
- ディスプレイを持つ手が画面を押さえていると、正常に動作しません。
- 先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 画面を強い力でこすったり、押したりしないでください。
画面が指紋などで汚れた場合は、電源を切った状態にしてから乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 市販の画面保護シートによっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります。市販の画面保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
- ディスプレイが倒れないように片方の手で支えながら操作してください。
- 入力が「AUX」になっている場合（➜36）、タッチパネルの操作はできません。

ホーム画面について

ディスプレイでの操作はホーム画面から行うことができます。
ホーム画面は電源を入れたときや、**[ホーム]** を選んだときに表示されます。(ディスプレイ用リモコンで電源を入れたときは、ホーム画面は表示されません)

1 **[ホーム] を選ぶ**

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 **操作したい項目を選ぶ**

ステータスバー

3 **画面に従って、操作する**

ステータスバーの表示について

ディスプレイの状態は、画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで確認することができます。

アイコン	状態
(例) 15:10	現在時刻
●録画	録画中
II 録画	録画準備中または録画一時停止中
	レコーダーから無線優先で画質を落とした映像を受信中 [「無線と映像品質の設定」(➜38) が「自動」または「無線優先」時のみ]
	レコーダーとの接続確認中
	レコーダーと通信中 ●本数はアンテナ受信強度を表します。本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像が途切れたり停止することがあります。
	レコーダーと非接続状態
	電池の残量表示 満充電 ➜ ➜ ➜ 点滅 ACアダプター接続中 点滅している場合、充電してください。

テレビを見る

放送画面が表示されている場合は、**手順 3** から操作を行ってください。

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

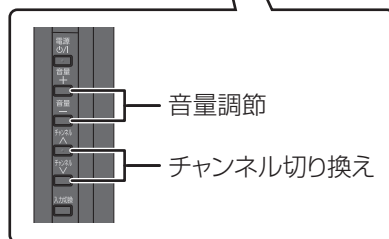
2 「テレビを見る」を選ぶ

3 画面に触れてメニュー画面を表示する

4 見たいチャンネルを選ぶ

「1」～「12」のチャンネルを確認したい場合は、「チャンネルを選ぶ」を選んでください。

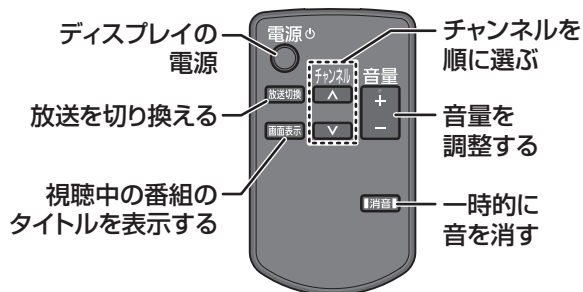
●メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

ディスプレイのボタンを使ってチャンネル切り換えや音量調節を行うことができます。

チャンネルは、指で画面を左右にはらって切り換えることもできます。

左右にはらう

ディスプレイ用リモコンで操作する

付属のディスプレイ用リモコンを使って操作することもできます。

●レコーダーを操作することはできません。

お知らせ

- ディスプレイで番組を視聴する場合、実際の放送よりも数秒遅れます。
- データ放送を見ることはできません。
- 同じチャンネルを連続して8時間視聴すると、画面が一瞬途切れます。
- 機器を設置する場所の無線状態によっては、視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。（詳しくは ➜8）
- NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示された場合、ディスプレイは、レコーダー用リモコンの青ボタンで操作することはできません。表示された連絡先にお電話ください。

視聴中の操作

28 ページ手順 4 の画面で、項目を選択して操作することができます。

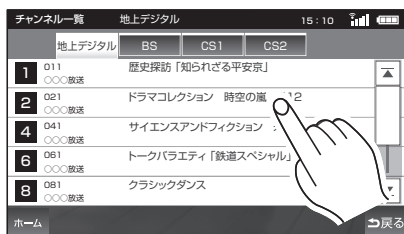
予約する

番組を予約します。（➜31 手順３へ）

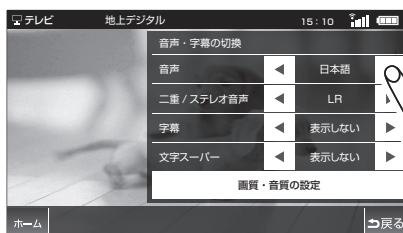
再生する

録画した番組を再生します。（➜34 手順３へ）

チャンネルを選ぶ

❶「チャンネルを選ぶ」を選ぶ
❷ チャンネルを選ぶ

サブチャンネルを表示したい場合は、「チャンネルリスト設定」（➜38）を変更してください。

音声・字幕・画質の設定をする

❶「音声・字幕・画質」を選ぶ
❷ 項目を選び、設定する

音声・字幕の切換

視聴する音声や字幕表示の切り換えをします。

- 音声
- 二重 / ステレオ音声
- 字幕
- 文字スーパー

画質・音質の設定

- 画質モード：
  画質を選びます。
  （「ユーザー」選択時のみ「画質の詳細設定」で設定ができます）
- 音質モード：
  視聴状況に合わせて音声を聞き取りやすくします。
  （「ミュージック」は音楽番組の視聴に適した音声に補正し、「シニア」は加齢とともに聞き取りにくくなる高域部分の音声を補正します）
- アンテナレベル：
  アンテナレベルが確認できます。

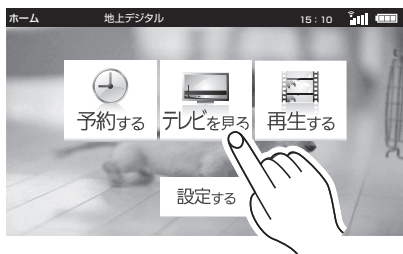
録画する

視聴中の番組を HDD に録画します。

●お買い上げ時は、5 倍録モードで録画します。
録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」
(➜38）で設定してください。

1 **［ホーム］を選ぶ**

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 **「テレビを見る」を選ぶ**

3 **画面に触れてメニュー画面を表示する**

4 **録画したいチャンネルを選ぶ**

「1」～「12」のチャンネルを確認したい場合は、
「チャンネルを選ぶ」を選んでください。

●メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

5 **「録画する」を選ぶ**

6 **「はい」を選ぶ**

●番組が終了するまで録画します。

7 録画を終了するには
「録画を止める」を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

8 **「はい」を選ぶ**

予約する

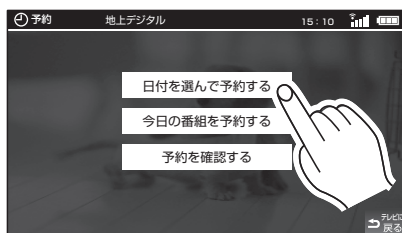
HDD に予約録画します。

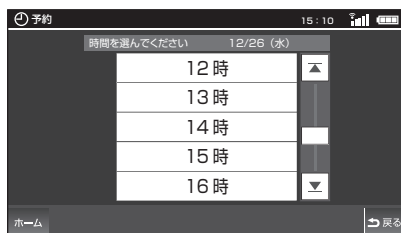
●お買い上げ時は、5 倍録モードで録画します。
録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」（➜38）で設定してください。

1 ［ホーム］を選ぶ

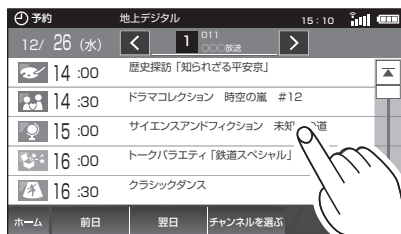
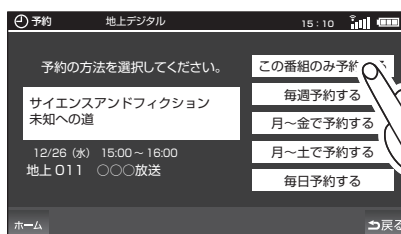
●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「予約する」を選ぶ

3 「日付を選んで予約する」または「今日の番組を予約する」を選ぶ

●「日付を選んで予約する」は手順 4 へ
●「今日の番組を予約する」は手順 5 へ

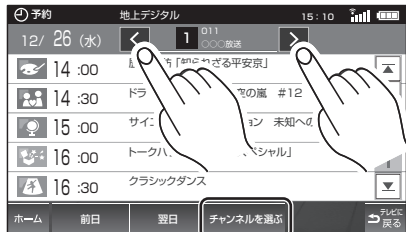
4 画面に従って、日時・チャンネルを選ぶ

5 予約したい番組を選ぶ

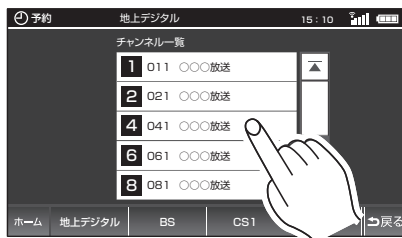
6 予約内容を選ぶ

ディスプレイで楽しむ

番組表の表示切換

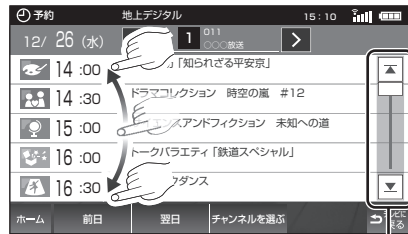
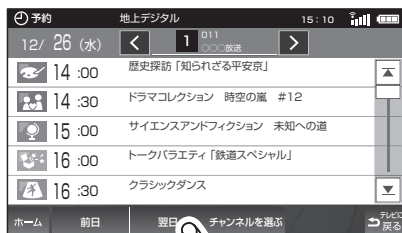
番組表上（31 ページ手順 5）で表示されているチャンネル、日時は以下の方法で切り換えます。

チャンネルの切り換え

「<」または「>」を選ぶ

「チャンネルを選ぶ」を選ぶと、放送の切り換えとチャンネルの切り換えができます。

日付の切り換え

「前日」または「翌日」を選ぶ

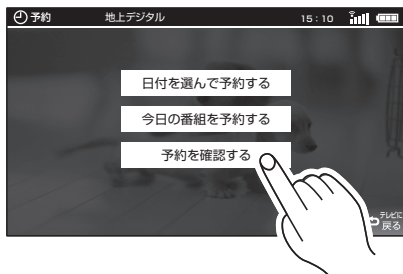
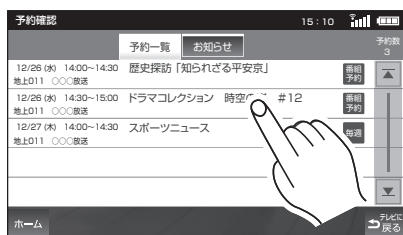
時間の切り換え

指で画面を上下にはらう（フリックする）

スクロールバーで切り換えることもできます。

予約内容の確認・取り消し

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「予約する」を選ぶ

3 「予約を確認する」を選ぶ

4 番組を選ぶ

「お知らせ」を選ぶと、予約に失敗した番組の履歴などを確認できます。

5 予約を取り消す場合：
「予約を取り消す」を選ぶ

番組表・予約一覧で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
番組予約	番組表を使って予約した番組やディスプレイで録画した番組
毎週	毎日･毎週予約の番組
毎日	
月~土	
月~金	
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日･毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）

●レコーダーをテレビに接続して、レコーダー用リモコンで予約した番組のアイコン表示については、操作ガイドをご覧ください。(➜48)

●番組表に表示されるジャンルアイコンのジャンルは、録画一覧で「ジャンル」ラベルを選ぶと確認することができます。(➜34)

再生する

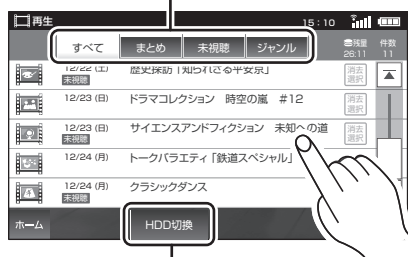
録画した番組を再生します。

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「再生する」を選ぶ

3 再生したい番組を選ぶ

ラベル
選ぶとラベル内容に合った番組を表示します

USB-HDD接続時に表示
選ぶとUSB-HDDの録画一覧を表示します

●一度再生した番組は、前回停止した位置から再生します。

お知らせ

●再生した番組は、停止した位置を一時的に記憶しています。停止後に、レコーダー用リモコンを使ってテレビで再生した場合、その再生の停止位置に変更されます。
●ラベルについて
・すべて　：録画した番組をすべて表示
・まとめ　：毎日・毎週予約した番組などはまとめて表示
・未視聴　：録画してまだ見ていない番組を表示
・ジャンル：選択したジャンルに該当する番組のみを表示
●ダウンロードした番組（➜100）は再生できません。
●録画中の番組は、「無線と映像品質の設定」（➜38）にかかわらず、「画質優先」の状態で再生されます。
●機器を設置する場所の無線状態によっては、視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。（詳しくは ➜8）

再生中の操作

再生中に表示されるメニューに触れて操作します。
●メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

再生操作パネル

プログレスバー

再生操作パネル

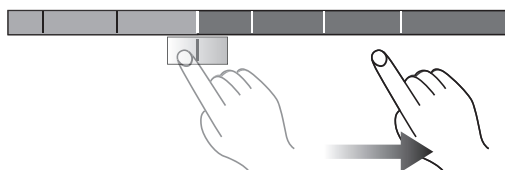
早戻し 早送り	押すごとに速度が速くなります。（5 段階） ● 表示中（➜27）は操作できません。
再生	再生します。
スキップ	場面を飛び越します。
一時停止	一時停止します。
10 秒戻し	約 10 秒前に戻します。
停止	停止します。
30 秒送り	約 30 秒先へ進みます。

お知らせ

● 表示中（➜27）は、再生操作が遅くなる場合があります。

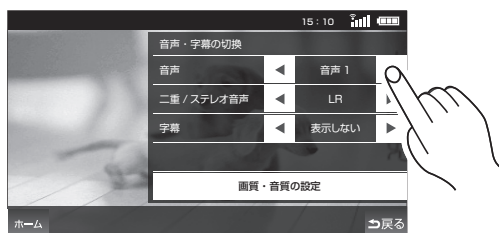
プログレスバー

プログレスバーは、再生の進捗状況を表示するとともに、以下の操作で再生位置を変更することができます。

プログレスバーの下の四角部分を指で触れたまま左右に移動させる

●プログレスバーに直接触れると、その位置に飛ぶこともできます。

音声・字幕・画質の設定

❶「音声・字幕・画質」を選ぶ

❷ 項目を選び、設定する

音声・字幕の切換

再生する音声や字幕表示の切り換えをします。

●音声

●二重 / ステレオ音声

●字幕

画質・音質の設定

●画質モード：
画質を選びます。
（「ユーザー」選択時のみ「画質の詳細設定」で設定ができます）

●音質モード：
視聴状況に合わせて音声を聞き取りやすくします。
（「ミュージック」は音楽番組の視聴に適した音声に補正し、「シニア」は加齢とともに聞き取りにくくなる高域部分の音声を補正します）

お知らせ

● [icon] 表示中（➜27）は、字幕の切り換えは無効です。

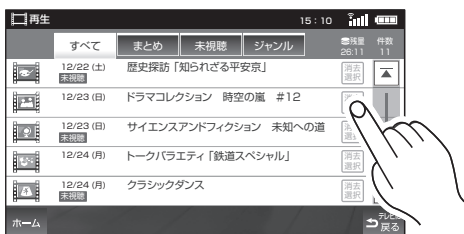
消去する

不要な番組を消去します。

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

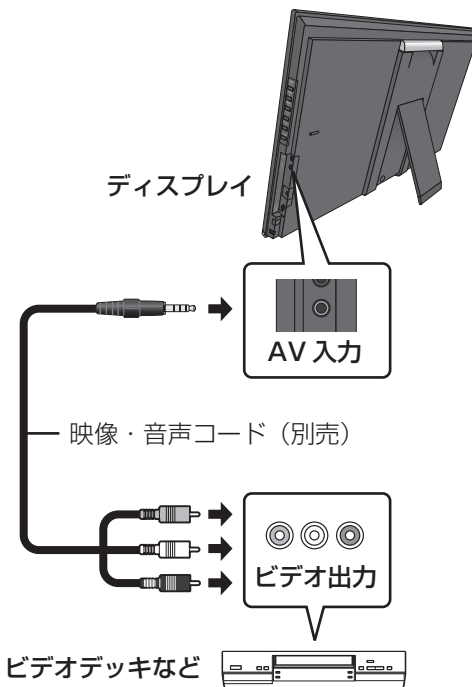
2 「再生する」を選ぶ

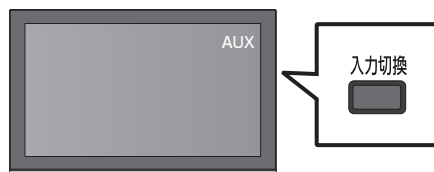
3 消去したい番組の「消去選択」を選ぶ

●☑が表示されます。

4 「消去」を選ぶ

5 「消去実行」を選ぶ

ビデオデッキなどの映像や音声を楽しむ

接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。

1 [入力切換] を押す

●「AUX」に切り換わります。

2 ビデオデッキなどで再生を始める

お知らせ

●当社製映像・音声コード（4 極ミニプラグ～ピンプラグ×3）を推奨します。
品番：RP-CVPM3G15

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を利用する

お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続したDLNA対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

●ディスプレイは、クライアントとしてお使いいただけます。

●ディスプレイで再生できるコンテンツは、レコーダーと接続したテレビで再生できるコンテンツとは異なります。
（ディスプレイでは、写真の再生はできません）

●当社製DLNA対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/r_jump/
（2012年5月現在）

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を利用するには、以下の順序で接続と設定が必要です。

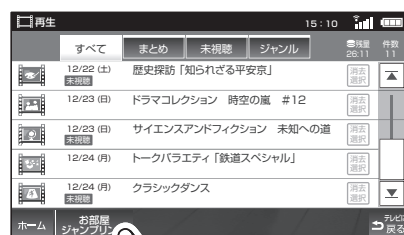
① 宅内ネットワークに接続する（➜140、141）

② ディスプレイとレコーダーのネットワーク設定をする（➜38）

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「再生する」を選ぶ

3 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ

4 接続する機器を選ぶ

●選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作を行ってください。

お知らせ

●お部屋ジャンプリンク（DLNA）は、ディスプレイとDLNA対応機器のみでは利用できません。ディスプレイとレコーダーとがネットワークで通信できる状態になっている必要があります。

●ダウンロードした番組（➜100）は再生できません。

設定する

ディスプレイの設定を変更します。

1 ［ホーム］を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定する」を選ぶ

3 設定内容を選び、設定内容を変更する

録画モード設定

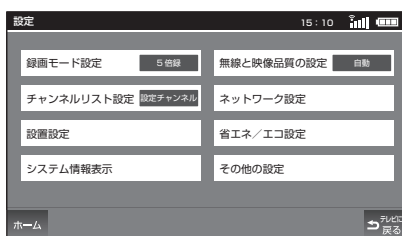
お買い上げ時の設定は【 5 倍録】

ディスプレイから録画するときの録画モードを設定します。

「DR」「3 倍録」「5 倍録」「15 倍録」のみ選べます。

●高画質 (DR や 3 倍録) なほど、再生時の通信状況によって映像が途切れたり停止する場合があります。

●**録画モードと記録時間の目安（➜ 167）**

●「DR」以外での録画に関しては、「1.5 ～ 15 倍録モードでの録画について」**（➜ 77）**をご覧ください。

無線と映像品質の設定

お買い上げ時の設定は【 自動】

レコーダーから映像を送信するときに、画質を落とす調整をすることで、映像の途切れや停止を改善します。画質の調整が行われると、チャンネルの切り換えや再生開始までに時間がかかるようになります。

●「自動」に設定すると、通信状況が悪いときに、自動的に「無線優先」に切り換わります。（一度切り換わると、視聴や再生をやめるまで「無線優先」のままになります）

チャンネルリスト設定

お買い上げ時の設定は【 設定チャンネル】

番組表に表示するチャンネルを設定します。

「設定チャンネル」は、レコーダーの「チャンネル設定」**（➜ 116）**で設定されているチャンネルのみを表示します。

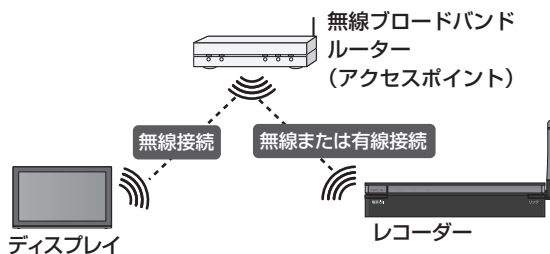
ネットワーク設定

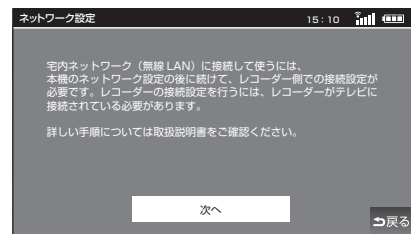
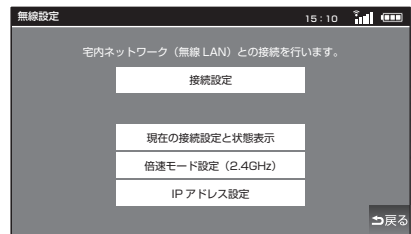
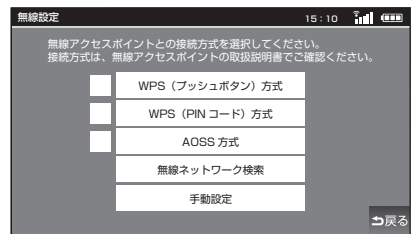
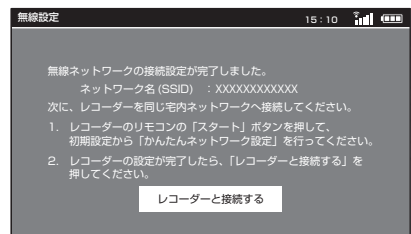
レコーダーとの接続方法を設定します。

接続方法によって利用できる機能が異なります。

詳しくは **139 ページ**の「ネットワークを利用するにあたって」を参考にしてください。

ディスプレイで、お部屋ジャンプリンク（DLNA）を利用する場合は、以下の接続をし、「宅内ネットワーク(無線 LAN) に接続」に設定してください。

無線ブロードバンドルーターを使って接続する場合

無線ブロードバンドルーターに接続する場合、以下の手順で設定を変更してください。

「宅内ネットワーク(無線LAN)に接続」を選んだあと

「次へ」を選ぶ

「接続設定」を選ぶ

接続する機器(ルーターなど)に合わせて、接続方法を選び、画面に従って、以降の操作をする

上記画面が表示されたら

レコーダー側のネットワーク設定をする

☞ レコーダーをテレビに接続している場合（➜146）

☞ レコーダーをテレビに接続していない場合（➜ 右記）

設定後、「レコーダーと接続する」を選ぶ

■レコーダー側のネットワーク設定をする

レコーダーをテレビに接続していない場合は、レコーダー用リモコン (**➜15**) を使って以下の設定を行ってください。

- 録画中は設定できません。
- 無線設定は WPS（プッシュボタン）方式でのみできます。
- AOSS™ 方式で無線設定したい場合は、レコーダーとテレビを接続し、設定を行ってください。(**➜146**)

❶ レコーダーの電源「切」時※に [スタート] を押す

※ 電源ランプが赤点灯または消灯時。

- 電源ランプが緑に点灯し、電源「入」になります。

❷ 電源ランプが点滅するまで、接続方法（➜ 下記）に合わせて、[1 あ @.] または [2 か ABC] を 10 秒以上押す

接続方法	ボタン
有線	[1 あ @.]
無線［WPS（プッシュボタン）方式］	[2 か ABC]

- 電源ランプが点滅しない場合は、電源を切ったあと、手順 ❶ からやり直してください。
- 有線で接続する場合、電源ランプの点滅後、電源が切れると設定終了です。

❸ 無線接続する場合、無線ブロードバンドルーターの設定をする

- 電源ランプの点滅中に、無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押してください。レコーダーの電源が切れると設定終了です。
(電源ランプが緑に点灯した場合、設定失敗です。電源を切ったあと、手順 ❶ からやり直してください)

お知らせ

- レコーダーと無線ブロードバンドルーターの無線接続状態は、ネットワーク設定画面 (**➜38**) で確認することができます。「電波状態」が 4 以上であることが、安定した受信状態の目安です。3以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、レコーダーや無線ブロードバンドルーターの位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。

設置設定

引っ越しなどでテレビ受信を変更したい場合に、設定をやり直すことができます。（➜ 23）

省エネ / エコ設定

【 】はお買い上げ時の設定です

クイックスタート 【切】

「入」にすると、電源「入」時の起動は速くなりますが、待機時消費電力は増えます。
（AC アダプター接続時のみ）

エコナビ設定 【切】

「画質モード」（➜ 29）の設定とディスプレイの明るさセンサーが感知する周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動で調整し、電力の消費を防ぎます。

- 「入（表示あり）」を選んだ場合、自動調整するたびに、画面左下に省電力の状態が数秒間表示されます。葉マークが多いほど、電力の消費は少なくなります。

ECONAVI 明るさオート

エコ充電 【切】

「入」にすると、充電式電池の充電を約 80%に制御するため、充電式電池の寿命を延ばすことができます。

無操作電源［切］ 【切】

「入」にすると、ディスプレイを操作しない状態が 3 時間続くと自動的に電源が切れます。

無信号電源［切］ 【入】

「入」にすると、外部入力時に無信号状態が 15 分（バッテリー駆動時は 5 分）継続したときに自動的に電源が切れます。

システム情報表示

ディスプレイのソフトバージョンなどの情報を確認できます。

その他の設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ソフトウェア更新

ディスプレイのソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
  - ·ディスプレイの電源を切る
  - ·ディスプレイの AC アダプターを外す
  - ·レコーダーの電源コードを外す

設定リセット

ディスプレイの設定をお買い上げ時の状態に戻します。廃棄などでディスプレイを手放される場合以外は実行しないでください。

お知らせ

- レコーダーの「個人情報リセット」（➜113）も合わせて実行してください。

音声設定

ダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital に有効

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

画面アスペクト設定 【16:9】

ディスプレイに接続したビデオデッキなどの再生時、画面アスペクトを設定します。

タッチパネル設定

タッチパネル調整

タッチしたものと違うものが選択されたり、反応しなかった場合などに実行します。画面に従って調整してください。

タッチパネル調整初期化

タッチパネルの調整をお買い上げ時の状態に戻します。

テレビと接続して楽しむ

テレビにレコーダーを接続して
レコーダー用リモコンを使っての
操作を説明しています。

接続と設定を行ってください

ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

A アンテナ端子が別々の場合

VHF/UHF 端子（地上デジタル）　BS/CS 端子

次のページからの手順
❶～❼を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合
次のページからの手順
❶❷❺❻❼を行ってください。

B アンテナ端子がひとつの場合

VHF/UHF・BS/CS 混合の端子
（別売の分波器が必要です）

135 ページの接続をして
❻～❼を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合
次のページからの手順
❶❷❺❻❼を行ってください。

テレビにレコーダーを接続しないで使用する場合

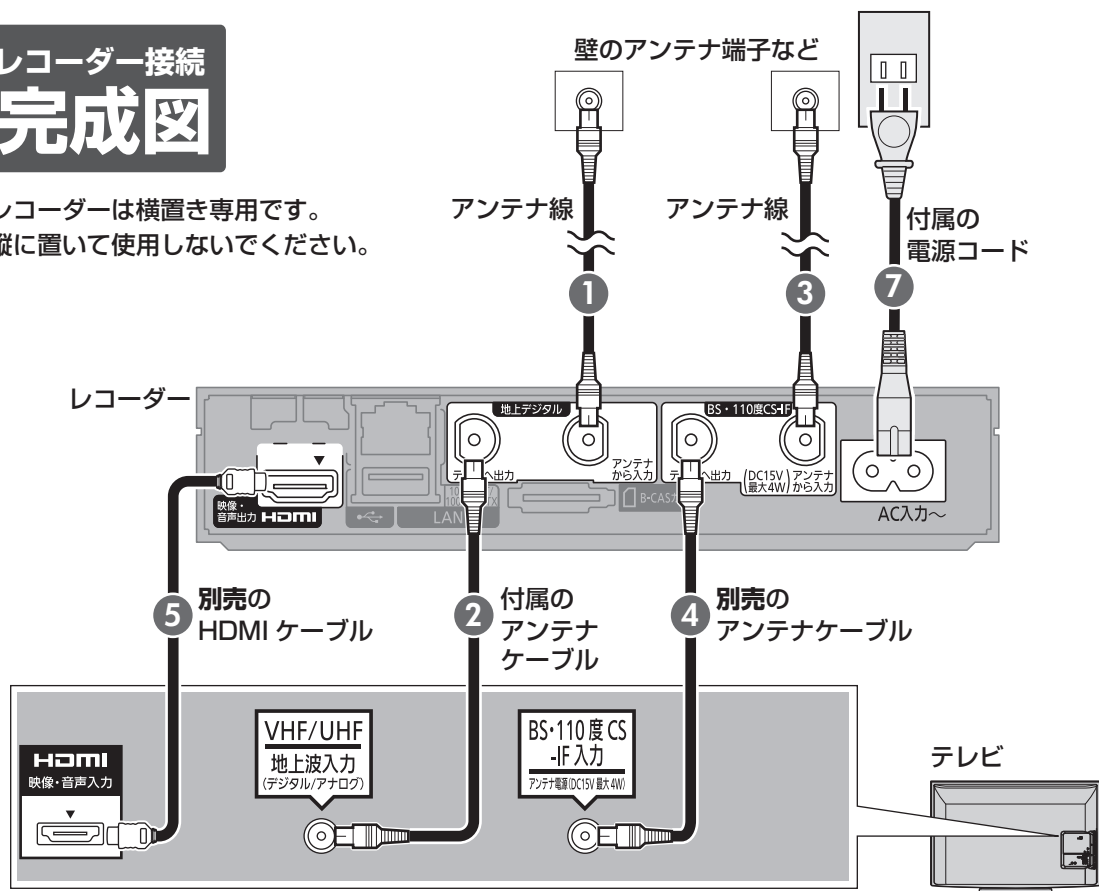
18 ページからの接続と設定を行ってください。

詳しい接続と設定については
132 ページをご覧ください。

---

❹❺のケーブルは付属していません。別途購入が必要です。

レコーダー接続 完成図

レコーダーは横置き専用です。
縦に置いて使用しないでください。

壁のアンテナ端子など

アンテナ線 ❶

アンテナ線 ❸

❼ 付属の電源コード

レコーダー

地上デジタル　テレビへ出力　アンテナから入力

BS・110度CS-IF　テレビへ出力　（DC15V 最大4W）アンテナから入力

映像・音声出力 HDMI　LAN　B-CAS　AC入力～

❺ 別売の HDMI ケーブル

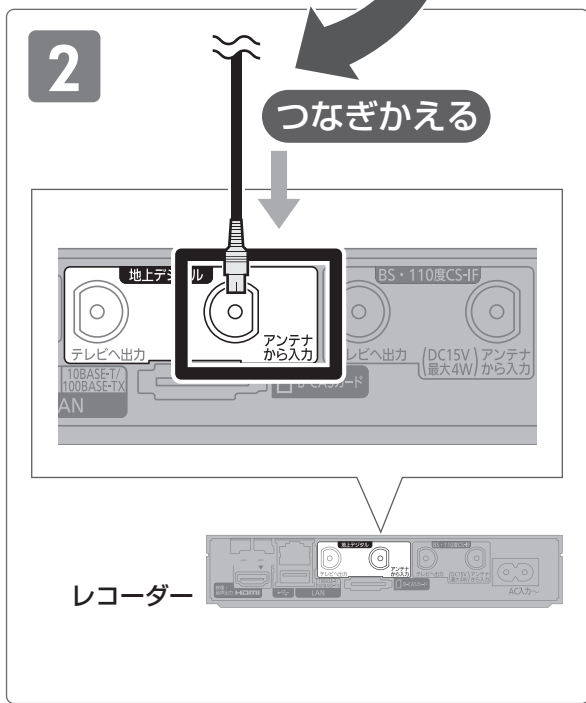
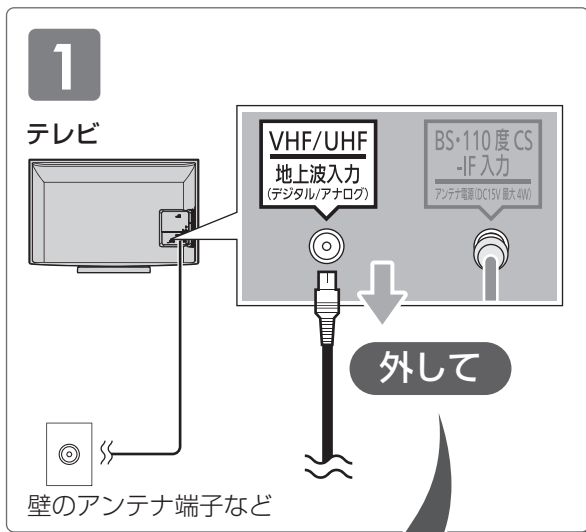
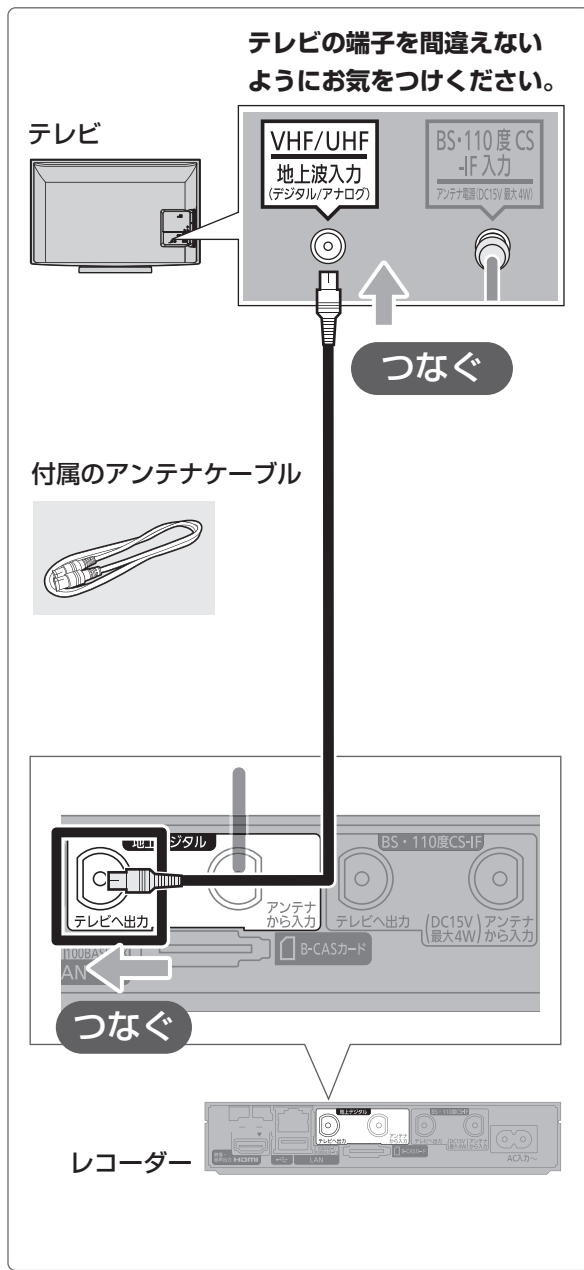
❷ 付属のアンテナケーブル

❹ 別売のアンテナケーブル

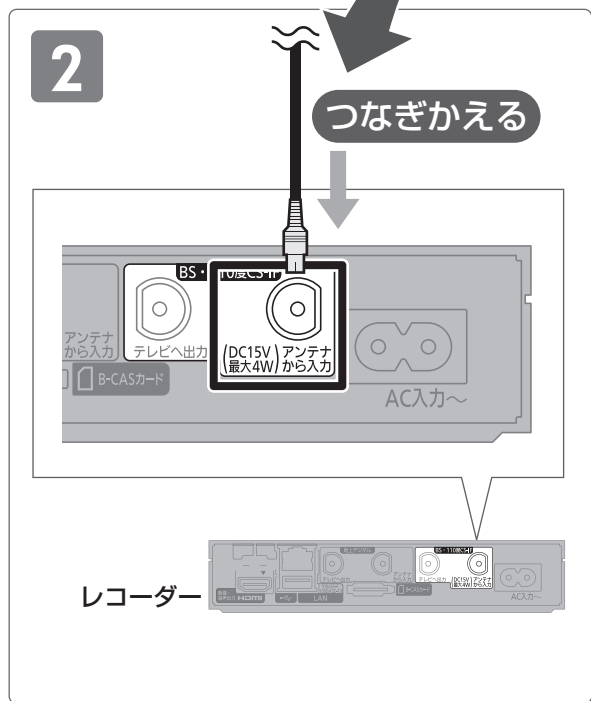
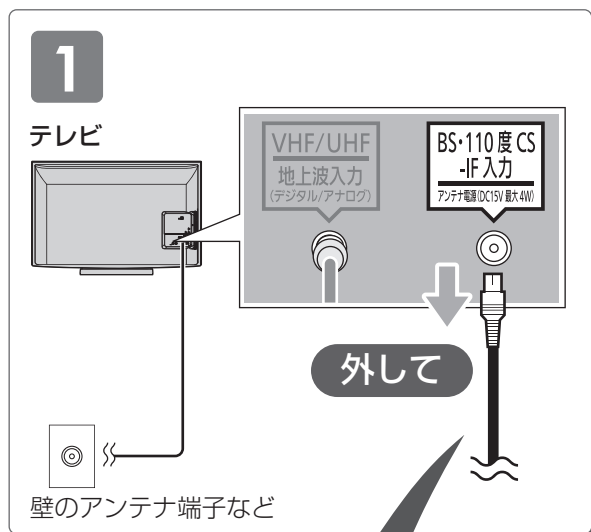
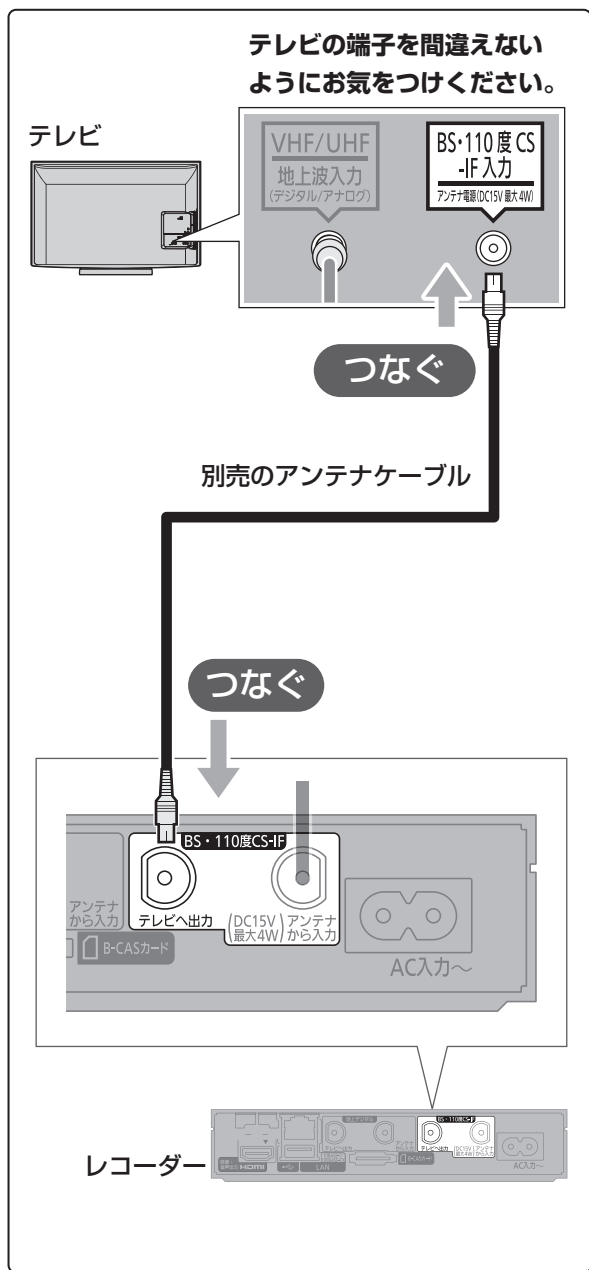
テレビ

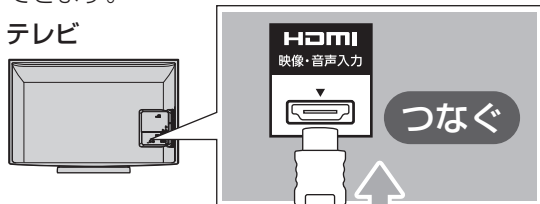
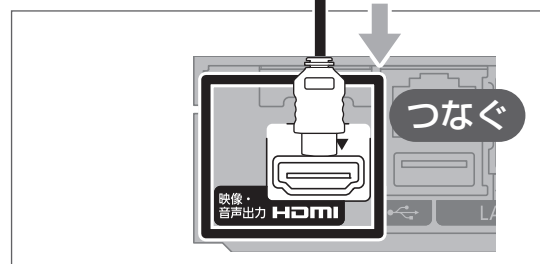
HDMI 映像・音声入力

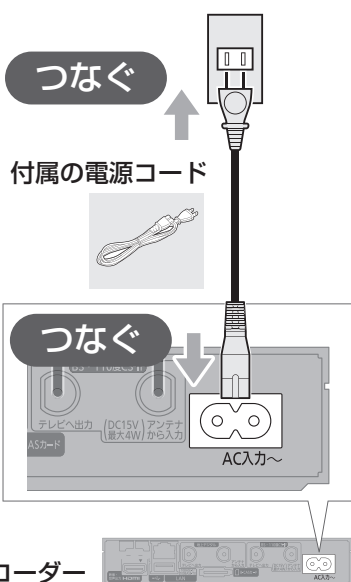
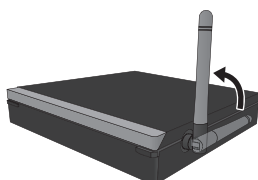
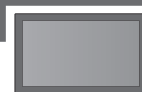
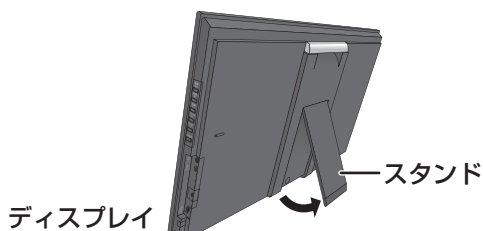
VHF/UHF 地上波入力（デジタル/アナログ）

BS・110 度 CS -IF 入力 アンテナ電源(DC15V 最大 4W)

テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。

付属のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

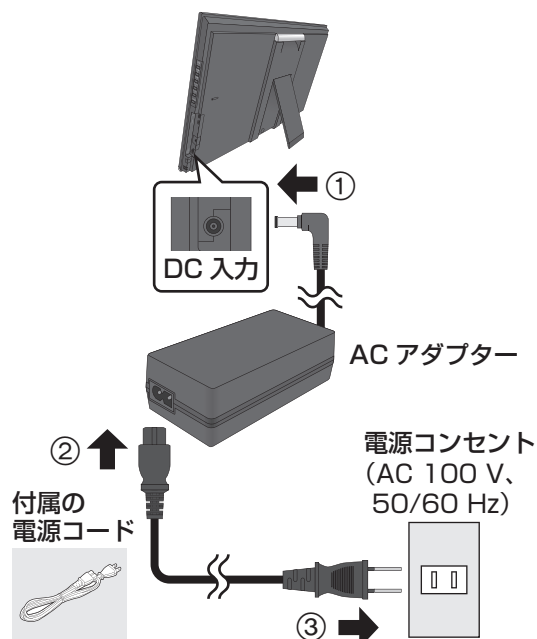
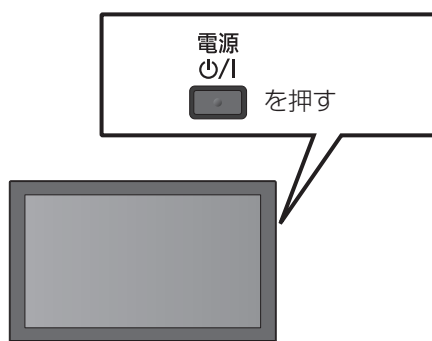
BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑤ に進んでください。

テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。

別売のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

HDMI ケーブル（別売）を使う

ハイビジョンの高画質な映像で番組を見ることができます。

miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで差し込む

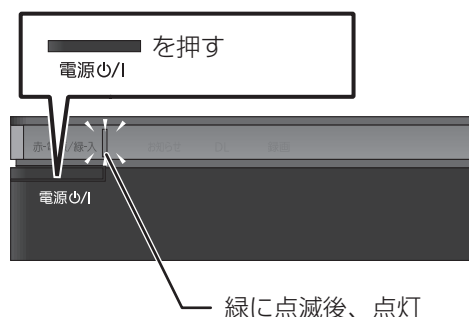
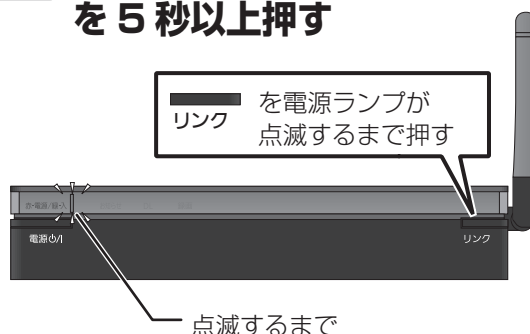
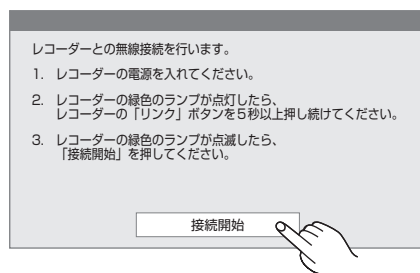
電源コードをつなぐ

アンテナを立てる

アンテナに無理な力を加えないでください。
また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

1 水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置く

スタンドは、「カチッ」と音がするまで開いてください。

設置場所について（➜24）

2 ディスプレイに AC アダプターを接続する

9 レコーダーとディスプレイの設定をする

1 ディスプレイの電源を入れる

電源が入らないときは、電源ボタンを押したままにしてください。

手順 4 の画面が表示されます。

2 レコーダーの電源を入れる

3 レコーダーのリンクボタンを 5 秒以上押す

4 「接続開始」を選び、以降の設定をする

設定終了後、ホーム画面が表示されます。(➜27)

設定について詳しくは…
23 ページをご覧ください
ディスプレイの操作については…
26 ページをご覧ください

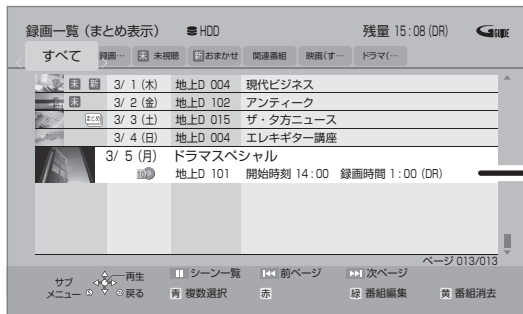
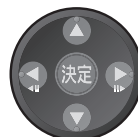
操作の前に

操作についてのご案内

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドでレコーダーの操作をご案内しています。

1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

補足説明

[?] マークが付いた画面が表示されたとき

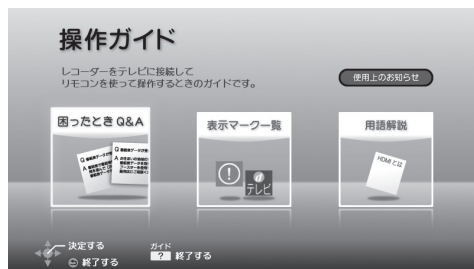
ガイド [?] ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

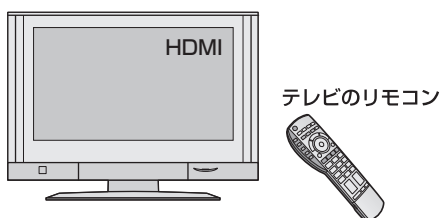
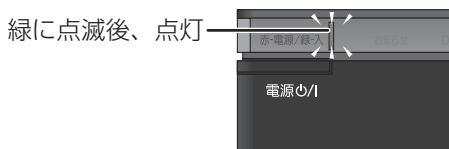
2 困ったときは　操作ガイド

ガイド [?] ボタンを押すだけで、

困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

- 録画中、再生中、ディスプレイ使用中は、操作ガイドを表示することはできません。
- 「操作ガイド」は、テレビと接続時のリモコン操作に関する記載をしています。
（ディスプレイ操作に関する記載はありません）

レコーダーの映像をテレビに映す

1 **テレビの電源を入れる**

2 **テレビのリモコンで、入力を HDMI に切り換える**

3 **レコーダー用リモコンの 電源⏻ を押す**

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。

●接続を確認してください。(➜132～143)

レコーダーの電源を切る

レコーダー用リモコンの 電源⏻ **を押す**

エコ待機で電源を切る

[**エコ待機**] で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(**消費電力 ➜166**)

レコーダーがエコ待機で電源「切」時は、ディスプレイの操作はできません。

エコ待機 を 3 秒以上押す

お知らせ

●エコ待機で電源「切」時は、「エコ待機モード」(➜118) の設定にかかわらず、以下の制限があります。

・起動が遅くなる

・お部屋ジャンプリンク（DLNA）が使用できない

・宅外リモート接続機能が使用できない

・ビエラリンク録画待機ができない

●「エコ待機モード」(➜118) が「モード2」の場合、上記に加えて以下の制限もあります。

・アンテナ線をレコーダー経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがある

レコーダーを経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。(➜136)

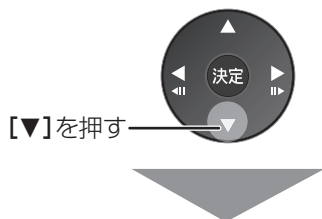
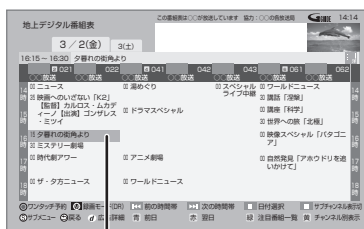
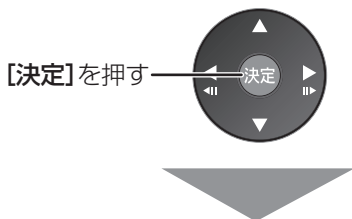
画面上の基本操作について

画面に表示されている項目をレコーダー用リモコンの[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。

[▲] [▼] [◀] [▶]

[決定]

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、

番組を選び、決定 を押す

と記載しています。

本書内のマーク表示について

メディアの表示を以下のマークで表示しています。

メディア	表示マーク
HDD	HDD
USB-HDD	USB-HDD

本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。

スタート画面について

スタート画面からレコーダーの主な機能を操作することができます。

1 スタート **を押す**

2 **項目を選び、** 決定 **を押す**

新着お知らせアイコン(➔下記)

現在表示しているページの位置

スタート画面は3つのページに分かれています。

左右のページを表示するには

⏮ スキップ ⏭ スキップ を押す（または [◀][▶] を数回押す）

最初に表示されるページ

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

● 新着お知らせアイコンについて

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

・おまかせ録画を見る※

・最新録画番組を見る※

・ディモーラからのおすすめ

・メール / 情報・診断コード

・星占い

※電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。
新着情報があるときは、番組のサムネイルを表示します。

テレビと接続して楽しむ

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜53)

分類	表示できる機能	備考
見る	録画番組を見る	(➜78)
	最新録画番組を見る	(➜80)
	おまかせ録画を見る	「新番組おまかせ録画」(➜65) で録画した番組を視聴します。
	ミモーラ検索※	録画した番組の中から、見たいシーンなどをキーワードで検索することができます。ご利用になるには、下記ホームページで会員登録を行ってください。 http://r.me-mora.jp/
番組を探す・予約する	予約する	(➜59)
	予約確認する	(➜71)
	関連番組まとめて検索	(➜66)
	新番組おまかせ録画	(➜65)
	放送局からのおすすめ（注目番組）	(➜63)
	ジャンル検索	(➜64)
	お好み番組表	お好みチャンネル (➜55) で登録された放送局のみを番組表に表示します。
	ディモーラからのおすすめ※	お勧め情報や占い情報が配信されます。詳細情報を受信したい場合、下記ホームページで会員登録を行ってください。 http://r.dimora.jp/
	星占い※	
残す	ダビングする	(➜95)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク（DLNA）	(➜103)
	テレビでネット※	(➜99)
	アクトビラ※	(➜99)
設定する・その他の機能	放送設定	(➜112)
	初期設定	(➜118)
	メール／情報・診断コード	(➜111、163)
	お好み設定リセット	(➜53)

※ 宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 変更したい機能を選び、[サブメニュー S] **を押す**

3 「機能を登録する」を選び、[決定] **を押す**

4 メニューを選び、[決定] **を押す**

5 表示したい機能を選び、[決定] **を押す**

●登録できる機能については（➜52）

6 「はい」を選び、[決定] **を押す**

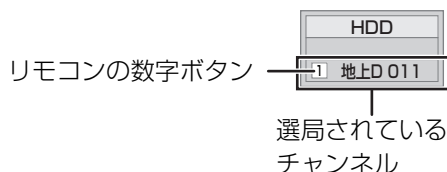
スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

① [スタート] を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
③「設定する・その他の機能」を選び、[決定] を押す
④「お好み設定リセット」を選び、[決定] を押す
⑤「はい」を選び、[決定] を押す

テレビ放送を見る

1 **[地上] [BS] [CS] を押して、放送を選ぶ**

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 **[1] ～ [12] または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●**データ放送は録画できません。**
録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、[データ] を押す**

2 **見たい項目を選び、[決定] を押す**

例）

●画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

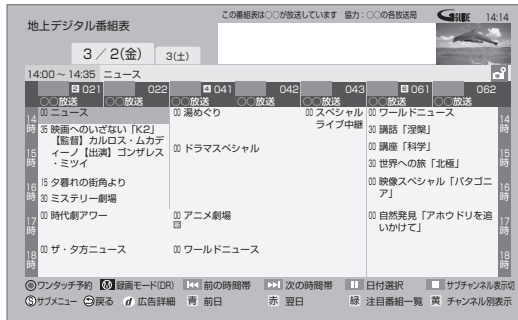
お知らせ

●ワンセグ放送を視聴することはできません。
●録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

その他の選局方法

番組表から選局

❶ を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには

[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、3桁入力 を押す

●押すごとに放送が切り換わります。

❷ 1 ～ 10 を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1] → [10] → [1]

●画面が表示されている間に入力してください。

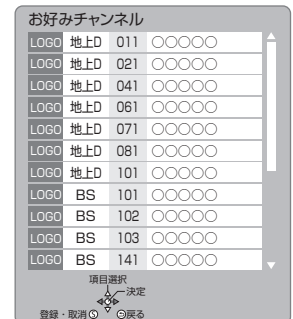
☞ 枝番号の異なる放送を選局するには

(地上デジタル)（➜57「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す

② [サブ メニュー] を押す

③「登録」を選び、[決定] を押す

④「はい」を選び、[決定] を押す

●リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す

② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す

③「取消」を選び、[決定] を押す

④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

テレビと接続して楽しむ

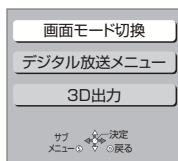
番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶

を押す

●表示されない場合、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ 「画面モード切換」を選び、決定 を押す

❸ 画面モード を選ぶ

ノーマル：
元の映像で表示します。

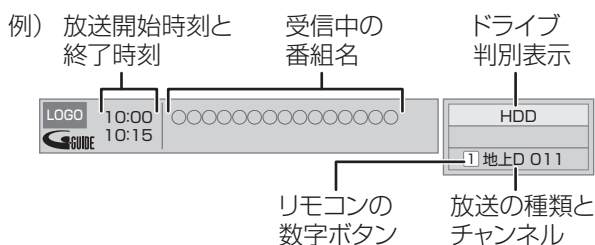
サイドカット：
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム：
4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ·他のチャンネルを選局
  - ·番組の再生を始める、または終了する
  - ·電源を切 / 入
- 番組の内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

表示 を押す

表示を消すには
[表示] を数回押す

音声を切り換える

音声切換 を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D 出力

3D 対応テレビと接続時に、サイドバイサイド（2 画面構成）の 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは ➜85「3D 映像を再生するための便利な機能」)

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

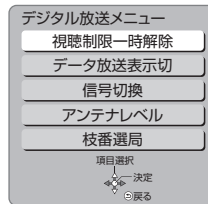
❶ [サブメニュー] S を押す

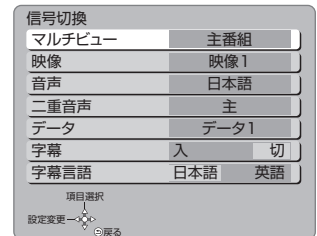
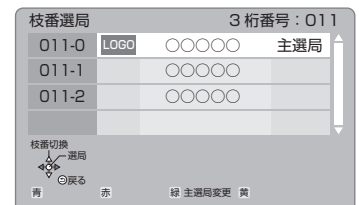
- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）

デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

項目選択 決定 戻る

❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

視聴制限一時解除	暗証番号（➜113）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **（詳しくは ➜76）**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

テレビと接続して楽しむ

録画する

HDD この操作では HDD にのみ録画できます。

1 [地上] [BS] [1/2 CS] を押して、放送を選ぶ

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 [1 あ @.] ～ [12 改行] または [∧ チャンネル ∨] を押して、チャンネルを選ぶ

3 [録画モード Ⓜ] を押して、録画モードを選ぶ

●押すごとに、切り換わります。

●表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

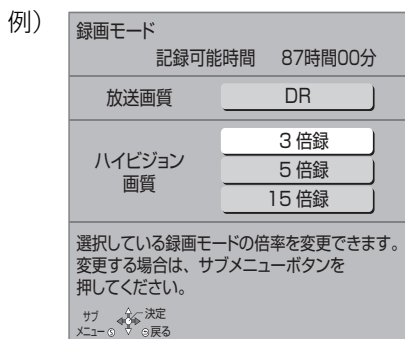
例）

録画モード
記録可能時間　87時間00分

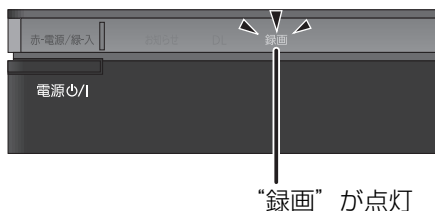
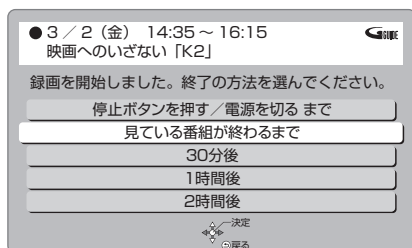
放送画質　DR

ハイビジョン画質　3 倍録 / 5 倍録 / 15 倍録

選択している録画モードの倍率を変更できます。
変更する場合は、サブメニューボタンを
押してください。

サブメニュー　決定　戻る

●ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜ 77)

4 [ワンタッチ予約 録画] を押す

“録画” が点灯

5 録画の終了方法を選び、[決定] を押す

お知らせ

●**録画モードと記録時間の目安（➜ 167）**

●**録画モードと記録時間の倍率について（➜ 77）**

●USB-HDD へは録画できません。

●予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。

●長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。

●有料放送の視聴や録画をするには、放送会社と契約した miniB-CAS カードが必要です。付属のminiB-CASカードで契約してください。

●デジタル放送の番組でも、従来のアナログ放送と同様の画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質はアナログ放送と同様の画質のままです。

●録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画を止める

一時停止する

を押す

●もう一度押す、または [**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）

●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

録画しながら再生する

追っかけ再生：
録画中の番組を再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。

1

を押す

2 番組を選び、[決定] を押す

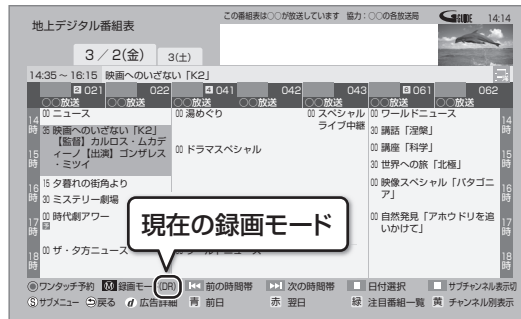
予約録画する

基本操作 選び 決定する

HDD この操作では HDD にのみ録画できます。

番組表（G ガイド）を使って HDD に予約録画する

1 **を押す**

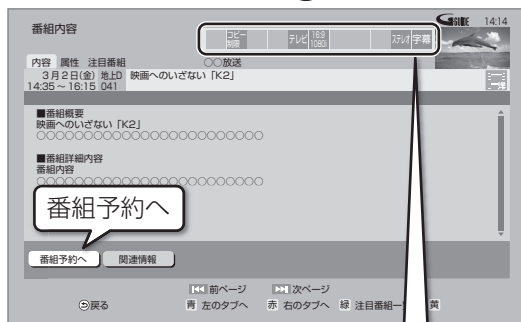
2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **現在の録画モードを変更するには**
[録画モード] を押す

3 決定 **を押す**

 の代わりに を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
（予が表示されます）
●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

表示マークについては ➜ ガイド ? 操作ガイド

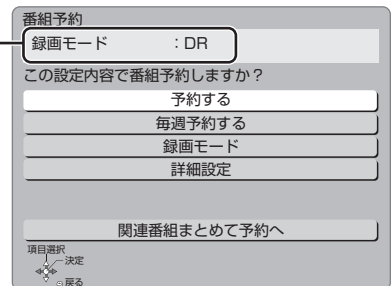
5 項目を選び、決定 を押す

予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜73）

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜68）

関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録（➜66）

予約内容を確認してください。

お知らせ

- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- USB-HDD へは録画できません。

テレビと接続して楽しむ

予約録画する（続き）

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- レコーダーを設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**

  「通信による G ガイド受信」(➔112)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。
  （宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）

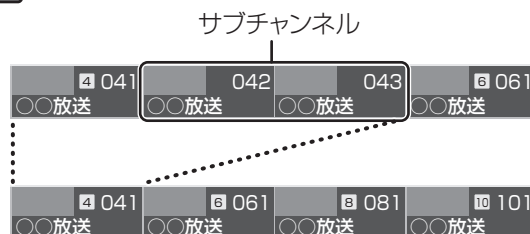
番組表の表示設定

放送の切り換え

 を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

 を押す

お知らせ

- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

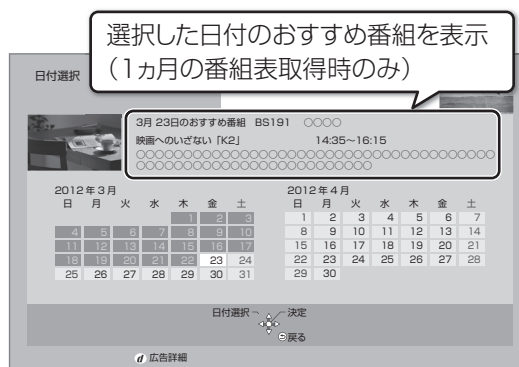
日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

（前日）（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ を押す

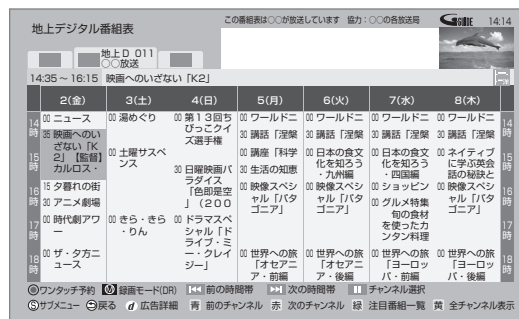
❷ 日付を選び、決定 を押す

お知らせ

- 放送局からの番組情報を基に、通常は８日分の番組表を表示することができます。
  さらに、「通信によるGガイド受信」（➔112）を「入」にすると、１ヵ月の番組情報を取得することができます。（宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）
  （2012年５月現在、ネットワークから１ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです）

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

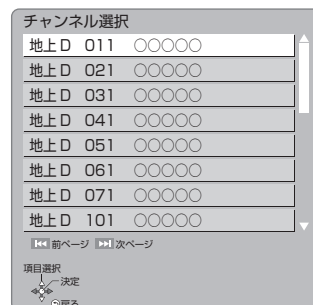
❶ **表示したいチャンネルの番組を選ぶ**

❷ 黄 **を押す**

全チャンネル表示に切り換えるには
［ 黄 ］を押す

別のチャンネルを表示するには
チャンネル別表示中に
［ 青 ］［ 赤 ］を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① ［❚❚ 一時停止 ］を押す

② チャンネルを選び、［ 決定 ］を押す

お知らせ

- １ヵ月の番組表を取得している場合、９日目以降の番組情報を取得するのには時間がかかります。

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

サブ メニュー **S を押す**

2 **項目を選び、設定する**

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜64)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜55) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜113）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

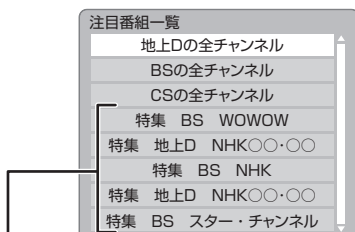
注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

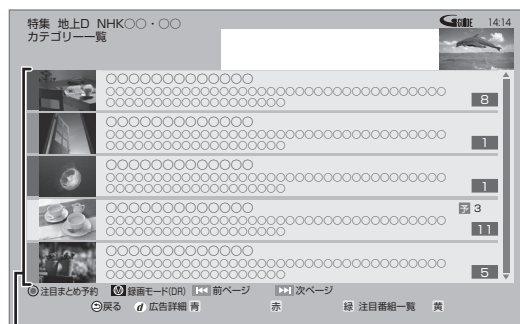
1 番組表表示中に

緑 **を押す**

2 **放送を選び、決定 を押す**

- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順４へ進んでください。

「通信によるGガイド受信」(➜112) を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。（宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）
(2012年 5 月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、決定 を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

[**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押す

- 予 が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには

[緑] を押す（➜ 手順２へ）

4 **番組を選び、決定 を押す**

カテゴリー

前後のページを見るには

[⏮][⏭] を押す

他のカテゴリーを表示するには

[青][赤] を押す
（[❚❚ **一時停止**] を押してカテゴリーを選択することもできます）

放送を変更するには

[緑] を押す（➜ 手順２へ）

録画モードを変更するには

① [**録画モード**] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**

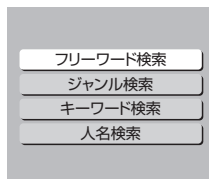
(「番組予約」のときは ➜59 手順 5)
(「時間指定予約」のときは ➜70 手順 3)

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

 を押す

2 「番組表の検索」を選び、決定 を押す

3 検索方法を選び、決定 を押す

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、決定 を押す**
- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❺ **番組を選び、決定 を押す**
❻ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜59 手順 5）

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件（5 件まで）を登録し、１つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 **を押す**
❺ **検索方法を選び、決定 を押す**
- 「フリーワード」は、文字を入力し（➜108)、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[決定] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
③ 文字を入力する（➜108）

登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[黄] を押す
② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① 赤 **を押す**
② **検索したい放送を「入」に設定し、決定 を押す**

❺ 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❻ **番組を選び、決定 を押す**
❼ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜59 手順 5）

お知らせ
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- 「通信によるGガイド受信」（➜ 112）を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。（宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する
地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に 5 倍録モードで予約します。

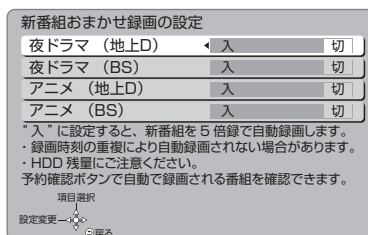
1 スタート **を押す**

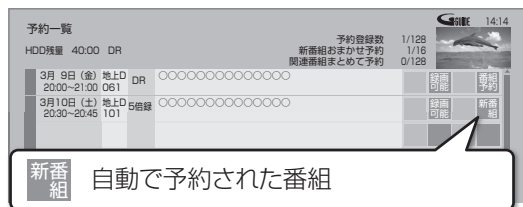
2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

☞ **予約内容を修正するには（➜71）**

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ①開始時刻の早い番組を優先
  ②開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
  ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録はされません。

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

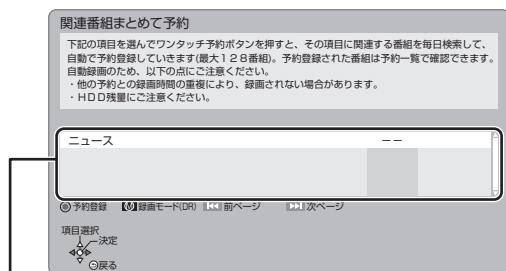
- ●登録できる項目数は 32 個までです。
- ●自動で予約される番組数は 128 番組までです。
- ● HDD に予約します。

選択した番組に関連した番組を自動で予約録画する

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➜59 手順 5）表示中に **「関連番組まとめて予約へ」を選び、決定 を押す**

- ●選択している番組に関連番組の情報がない場合、表示されません。

2 表示されている項目を選び、決定 を押す

選択している番組に関連した項目が表示されます。

- ●録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

検索機能を使って関連した番組を自動で予約録画する

連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

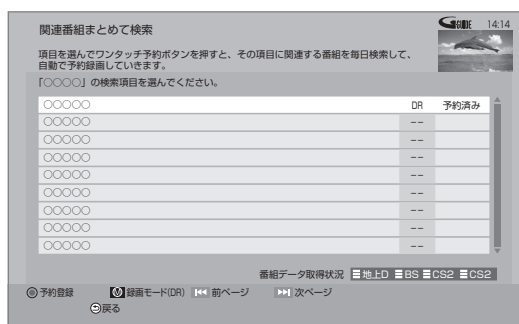
1 スタート **を押す**

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

- ●表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「検索する」を選び、決定 を押す

4 検索対象から項目を選び、決定 を押す

5 項目を選び、 ワンタッチ予約録画 **を押す**

- ●録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

関連番組一覧を表示する場合

手順 5 で [**決定**] を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 **スタート を押す**

2 **「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「登録した予約を確認する」を選び、決定 を押す**

■取り消す

❹ 登録した項目を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す

❺「はい」を選び、決定 を押す

●すでに予約された番組は取り消されません。予約一覧（➜71）で取り消してください。

■ 予約済み番組を確認する

❹ 確認したい項目を選び、決定 を押す

●予約番組を修正したい場合：

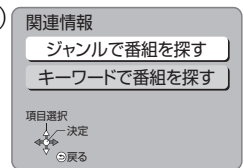
① 修正したい番組を選び、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押す

② 項目を選び、**[決定]** を押す
詳細設定について（➜68）

（予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（➜59 手順 4）表示中に
「関連情報」を選び、決定 を押す

2 **項目を選び、決定 を押す**

例）
●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）**[赤]**（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、**[❚❚ 一時停止]** を押して日付を選択することもできます）

3 **番組を選び、決定 を押す**

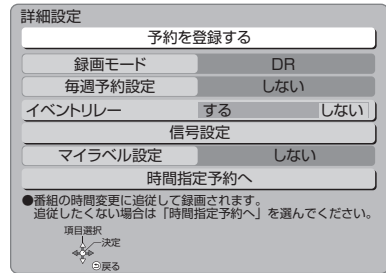
4 **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜59 手順 5）

お知らせ

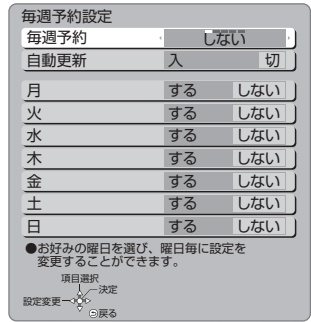
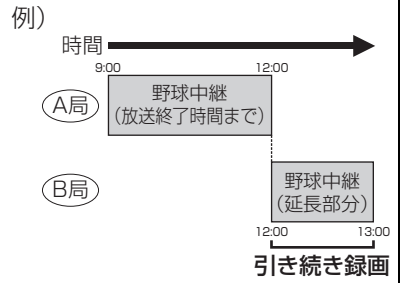
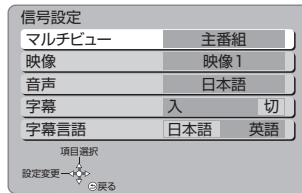
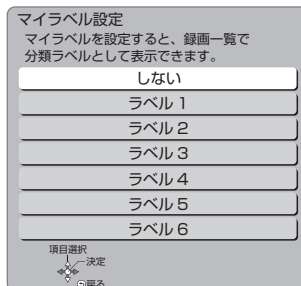
●通常の番組や新番組と予約が重なった場合、関連番組まとめて予約は行われません。
●関連番組まとめて予約同士が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
①開始時刻の早い番組を優先
②開始時刻が同じときは、地上デジタル放送の番組を優先
③同じ放送波のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
●契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

詳細設定をする

59 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 右記へ）

- 「録画モード」「毎週予約設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画モード	録画モード（➜76）を設定します。
毎週予約設定	**「毎週予約」（➜73）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます） **お知らせ** ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **項目を選び、設定する** ② **［戻る］を押す** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜76)** ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧 **(➜79)** で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。**(➜90)** **ラベルを選び、［決定］を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➜81「分類ラベル設定」)**
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **(➜70「時間指定予約」)**

HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 を押す

2 ワンタッチ予約録画 を押す

3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜113）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、［戻る］を押すと予約できます。
- 時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜118「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜73）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「録画モード」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、［決定］を押してください。

❷ 設定が終了したら、**左記手順４へ**

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。（➜68「毎週予約設定」）
放送種別／チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻／終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●［◀］または［▶］を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画モード	録画モード（➜76）を設定します。
番組名入力	●文字入力について（➜108） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜69）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

予約状況がマークで表示されます。
●「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
●**表示マークについては ➜ ガイド 操作ガイド**

●実行されなかった予約は、翌々日の午前４時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 **を押す**
❷ **「はい」を選び、決定 を押す**

予約内容の修正

❶ 決定 **を押す**
❷ **「修正」を選び、決定 を押す**
(「番組予約」のときは ➜68「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは ➜70「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

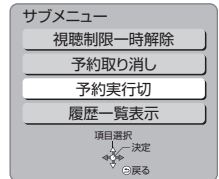
予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 **を押す**
❷ **「毎週一覧」を選び、決定 を押す**

●予約の「重複」がある場合に [**決定**] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**(➜74)**
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S **を押す**

例）

❷ **「予約実行切」を選び、決定 を押す**

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●[**サブ メニュー**] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

視聴制限の一時解除

暗証番号 **(➜113)** を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す**
❸ 1 ～ 10 **で暗証番号を入力する**

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す**

●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴削除」を選び、決定 を押す**
❸ **「はい」を選び、決定 を押す**

●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約録画 を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

「詳細設定」を選んだ場合
「番組予約」のときは（➜68「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➜70「時間指定予約」）

「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合
（➜66）

録画中の予約録画を止める

1 **■停止 を押す**

2 **「はい」を選び、決定 を押す**

例）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。**(➜71)**

■まとめ表示について まとめ

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。**(➜82)**
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには (自動更新)

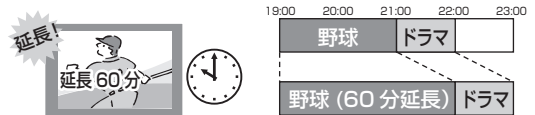
「自動更新」(➜68) を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

番組追従機能

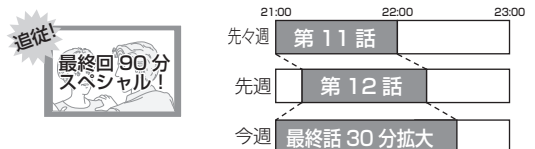
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」**(➜68)** を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。**(➜70)**

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画する（続き）

予約録画に関するお知らせ

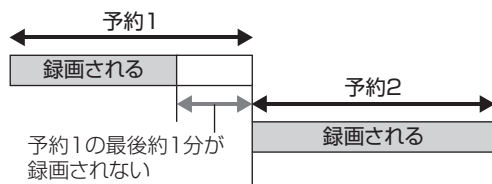
予約録画待機中の録画

予約録画の開始時刻になると予約録画が始まり、録画は終了します。

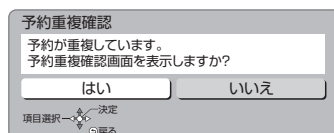
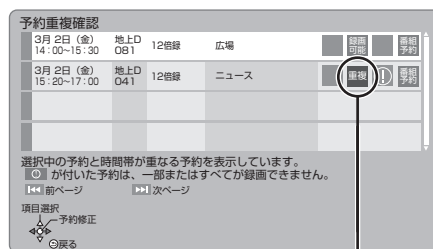
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

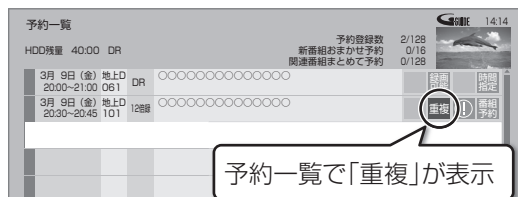
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（59 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]** を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、10 または 1 を表示します。
10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

■ 本機でのダビングについて

- **HDD** ➡ **HDD** / **USB-HDD** ➡ **USB-HDD**
  ダビングの残り可能回数は減ります。
  1 の番組はダビング（複製）できません。
- **HDD** ➡ **USB-HDD** / **USB-HDD** ➡ **HDD**
  ダビングの残り可能回数にかかわらず、番組は移動のみ可能です。

- プロテクト設定（➜88）されている番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

480i 映像の記録アスペクト

「記録アスペクト設定」（➜119）に従って記録します。
- DR モードで記録する場合は、この設定は働きません。
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

録画モードについて

録画モード	DR	1.5 ～ 15 倍録
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録
	—	高画質 長時間
記録できる放送 / 入力	地上・BS・CS デジタル放送	
サラウンドの音声	サラウンド音声	
複数の音声（マルチ音声）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録※2※3
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※2
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）	

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　記録したい映像や音声などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- 録画時　　：「信号切換」（➜57）で選ぶ
- 予約録画時：「信号設定」（➜69）で選ぶ
- ダビング時：「信号切換」（➜86）で選んだあと、ダビングを行う（➜95）

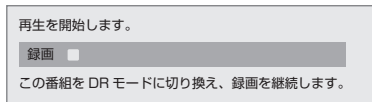
※ 3　15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画について

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

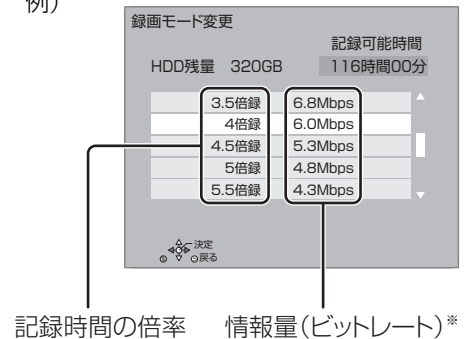
例）

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に予約録画などで動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

変換が終了しているか確認するには（➜91）

お知らせ

- 変換が終了していない番組をディスプレイで再生する場合、再生が開始するまでに時間がかかるときがあります。

録画モードと記録時間の倍率について

例）

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安（➜167）

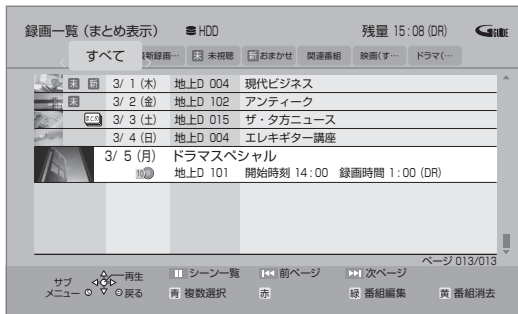
テレビと接続して楽しむ

録画した番組を再生する

HDD　USB-HDD

1

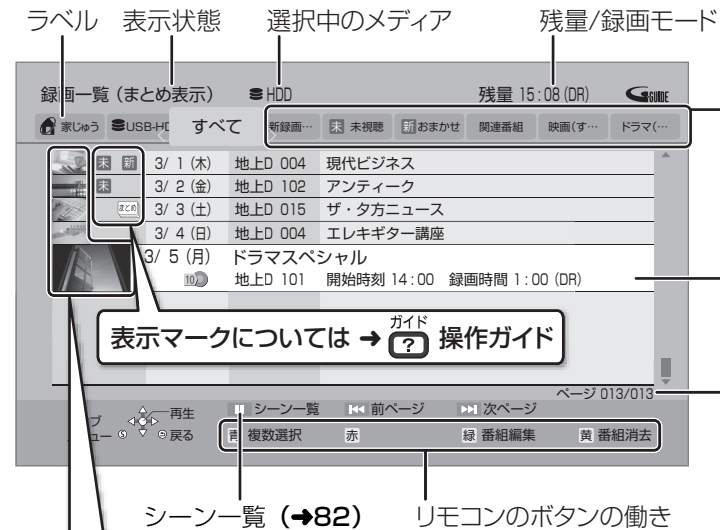
を押す

2 番組を選び、決定 を押す

- 毎日・毎週予約した番組は、まとめ 番組内に録画されます。
  まとめ 番組を選んで、[決定] を押すと、まとめ 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- 表示マークについては ➜ ガイド 操作ガイド

録画一覧について

HDD USB-HDD

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によってあらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「お部屋ジャンプリンク」（➜102）で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」（➜123）を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大10台まで、番組数は最大40000番組までです。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	新番組おまかせ録画（➜65）で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
	関連番組	関連番組まとめて予約（➜66）で録画された番組
	ダウンロード	ダウンロードした番組（➜100）
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」（➜69、90）で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。（➜81「分類ラベル設定」）

録画一覧上での便利な機能

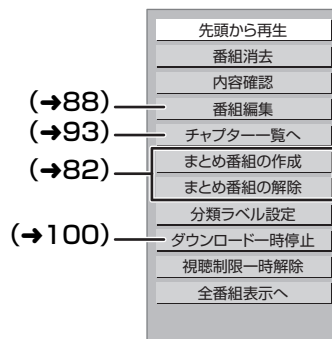
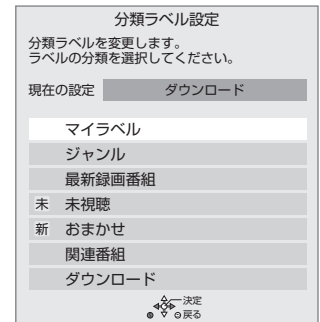
録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー S を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜79）を選んでから **[サブ メニュー]** を押してください。

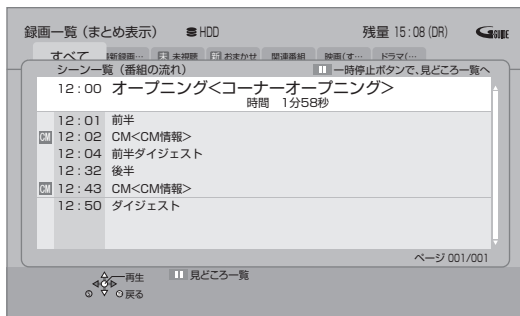
❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生
番組消去
内容確認
番組編集 （➜88）
チャプター一覧へ （➜93）
まとめ番組の作成 （➜82）
まとめ番組の解除
分類ラベル設定
ダウンロード一時停止 （➜100）
視聴制限一時解除
全番組表示へ

先頭から再生	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」ラベルは変更できません。 **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **（➜108）**
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」**（➜119）** で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ**	表示を切り換えます。
一覧を更新 **更新を中止** ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

（宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）
HDD に録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。
ミモーラ（有料）に会員登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。
詳細はミモーラのホームページをご覧ください。
http://me-mora.jp/

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、[一時停止] を押す**
- シーン一覧が表示されます。

ミモーラ会員登録している場合：

❷ **見たいシーンを選び、[決定] を押す**
- 選んだシーンから再生が始まります。

見どころ一覧を表示するには
上記手順 ❶ のあと、[❚❚ 一時停止] を押す
- 見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ
- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2012 年 5 月現在）
  対応番組については、ミモーラのホームページ（➜ 上記）をご覧ください。
- 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
  ･編集した番組
  ･シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

[まとめ] 番組について

毎日・毎週予約や、関連番組まとめて予約をした番組は、録画一覧画面で [まとめ] 番組として表示されます。

[まとめ] 番組の再生

■番組を選んで再生する

❶ **[まとめ] 番組を選び、[決定] を押す**

❷ **再生する番組を選び、[決定] を押す**

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

[まとめ] 番組を選び、[再生] を押す
- [まとめ] 番組内の番組を連続で再生します。
- [まとめ] 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

[まとめ] 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、[まとめ] 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには
変更したい [まとめ] 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。（➜88）
- [まとめ] 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

[まとめ] 番組の編集

❶ **番組を選び、[青] を押す**
- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ **すべて選んだあと、[サブメニュー S] を押す**

❸ **項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）**

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、[まとめ] 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生中のいろいろな操作

停止

を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

●番組ごとに止めた位置を記憶

一時停止

を押す

●もう一度押す、または[▶ **再生**]を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

●チャプターマーク（➜**92**）がある場合は、その場面に飛びます。

●まとめ再生中（➜**82**）は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す /10 秒前へ戻す

または
を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

早見再生（1.3 倍速）

を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

●もう一度[**1.3倍速/▶再生**]を押すと、通常再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中に

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

●押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。

●[▶ **再生**] で通常再生に戻ります。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法（➜56）

音声の切り換え

音声切換 を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

旧作モード

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

❶ **サブメニュー S を押す**

❷ **「旧作モード」を選び、決定 を押す**

❸ **［◀］［▶］で「入」を選び、決定 を押す**

●サイドバイサイドの 3D 映像はできません。
●「入」にすると、画質選択（➜87）を「アニメ」にした場合、「原画解像度」は「標準」になります。
●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。
●再生を停止すると「切」に戻ります。

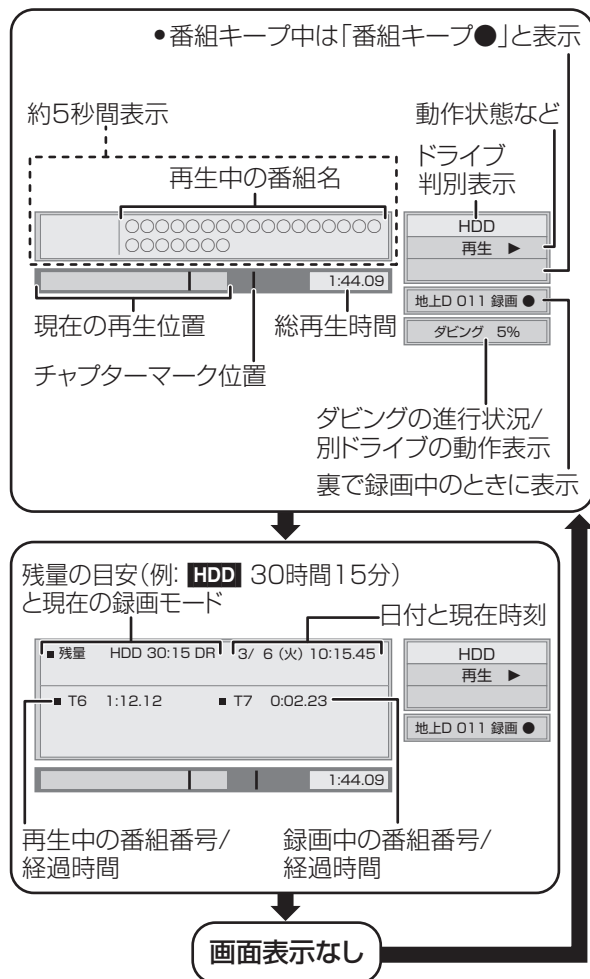
操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容やレコーダーの状態などを確認できます。

表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例）HDD

画面表示なし

残量表示について

放送信号によって使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DRモードは、特にそのばらつきが大きくなります）

お知らせ

●再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

録画した 3D 対応の放送を楽しむ

3D 対応テレビと接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 対応の放送をお楽しみいただけます。

●レコーダーを 3D 対応のテレビと接続する(➜133)
・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(➜121)
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。(➜87)

3D 映像を 2D(従来の映像)再生したい場合、以下の設定をしてください。

●録画した 3D 番組 :「3D 番組の出力方法」(➜121)

3D 映像を再生するための便利な機能

❶ **再生または視聴中に サブメニュー(S) を押す**

●表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷ **「3D 出力」を選び、決定 を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す**

3D 出力	**オリジナル**	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、テレビ側の 3D 設定を確認してください。

お知らせ

●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」の設定どおりに出力されない場合があります。
●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド(2画面構成)で見えることがあります。
●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
●以下の場合、「3D 出力」の設定は「オリジナル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入
● 3D 表示のある番組では、「3D 出力」は「オリジナル」固定になります。
●接続したテレビや再生する素材によっては、3D 再生ができない場合があります。

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に

[再生設定] **を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例）

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**

4 **設定を変更する**

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

メディア

音声情報

音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換

DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
[決定] を押して、さらに設定します。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕（入 / 切）
- ▶ 字幕言語（日本語 / 英語）

- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ **番組**　：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**　：再生中のチャプターを繰り返し再生

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ**　：アニメ鑑賞向け

「原画解像度」をさらに選びます。
［ハイビジョン放送（1080i）を DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録 モードで記録した番組のみ］
低解像度（720i/p、480i/p）の原画をハイビジョン（1080i）に変換したアニメ番組の場合、「標準」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。
- ·**標準**：1080i の場合
- ·**720i/p**
- ·**480i/p**
  - ●設定によっては、再生する画質が劣化します。
  - ●再生を停止した場合、「標準」に戻ります。
  - ●「標準」以外にすると、字幕は表示されません。
  - ●「旧作モード」（➜84）が「入」の場合、「標準」になります。

- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整

［▶］で「詳細画質設定」を選び、**［決定］**を押す
- ·**コントラスト**（白黒の強弱）
- ·**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
- ·**シャープネス**（鮮やかさ）
- ·**カラー**（色の濃さ）
- ·**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

アドバンスト設定

HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

超解像アップコンバート
1080i で出力時、従来のアナログ放送と同様の画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

プログレッシブ
480pのプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

音声

音質効果

リ . マスター※
デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
（サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ）

ナイトサラウンド※
夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ **リ . マスター強**
- ▶ **リ . マスター標準**
- ▶ **ナイトサラウンド**
- ▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※
番組と CM など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※
センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。（➜120）
（ただし2チャンネルの音声になります）

番組を編集する

HDD USB-HDD

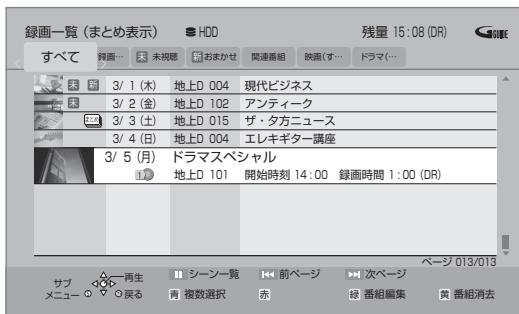
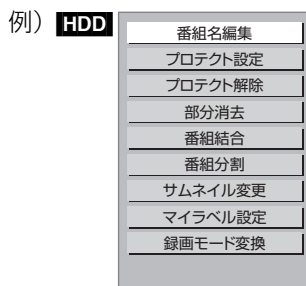
1 **を押す**

2 番組を選び、緑 を押す

3 項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

例）HDD

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」のみできます。

番組名編集

文字入力（➜108）

お知らせ

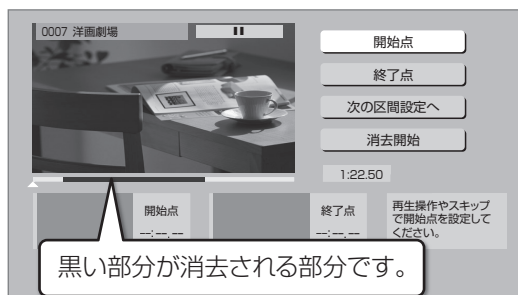
- 新 表示の番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**
② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**
③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**
④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**
- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す（➜手順 ② へ）
  - ·20区間まで設定できます。
  - ·すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**
⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

番組結合

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

●1.5 ～ 15 倍録 モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

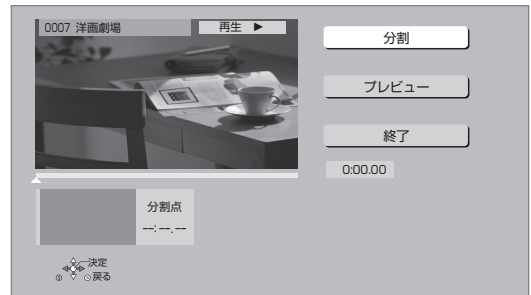
① **結合したい番組を選び、[決定] を押す**

② **「結合」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

●結合した番組は以下のようになります。
- ・録画モード：
  画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
- ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
- ・番組名：最初に選択した番組名
- ・チャプターマーク：
  結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）
- ・番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。

●以下の番組は結合できません。
- ・ダウンロードした番組
- ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合
- ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組

番組分割

① **「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す**

●「プレビュー」を選び、[**決定**] を押すと、分割する場面を確認することができます。

場面を選び直すには

① 「分割」を選び、[▶ **再生**] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[**決定**] を押す

② **「終了」を選び、[決定] を押す**

③ **「分割」を選び、[決定] を押す**

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

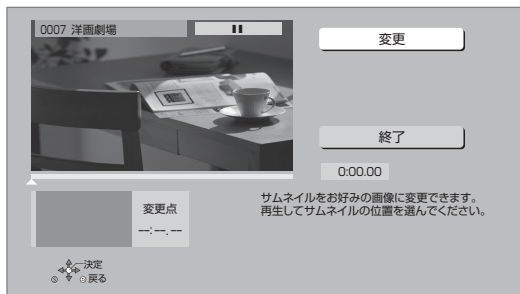
●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（➜**83**）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [**❚❚ 一時停止**] を押し、
[◀] [▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

録画一覧で表示される画像（サムネイル）を変更します。

① [▶ 再生] を押して、再生を始める
②「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す

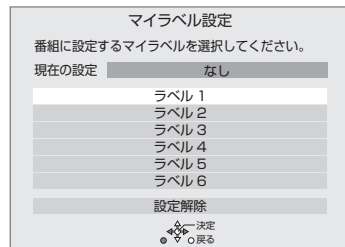
場面を選び直すには

① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定] を押す

③「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① ラベルを選び、[決定] を押す
②「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
- マイラベル名は変更することができます。(➜81「分類ラベル設定」)

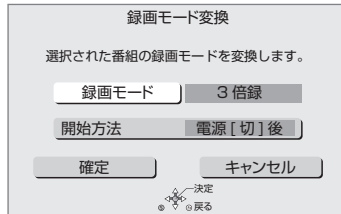
※ 編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生など（➜83）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

録画モード変換

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

●1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。

① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

●**すぐに**：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

●**電源 [切] 後**：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤「すぐに」開始する場合：

「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

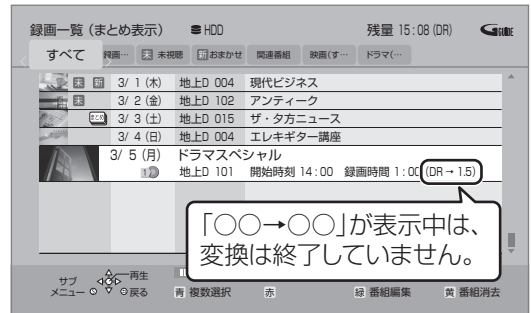
「電源 [切] 後」開始する場合：

[決定] を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **88 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

②「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

お知らせ

●15 倍録モードの番組は変換できません。

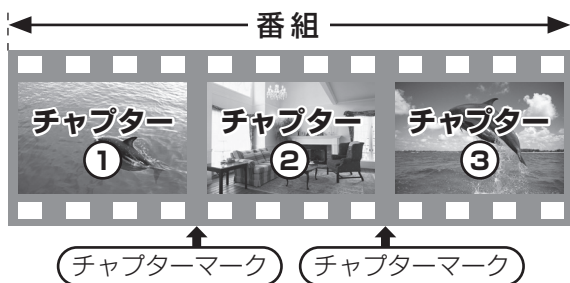
●残量が少ない場合、変換できないことがあります。

●番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。

チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）
USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜83）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

●「自動チャプター」（➜119）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

●チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜83）や「サムネイル変更」（➜90）ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

を押す

削除

一時停止中に

❶ ⏮スキップ または ⏭スキップ **を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ チャプターマーク **を押す**

❸ **「はい」を選び、決定 を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**
③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**
④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

チャプターを再生・編集する

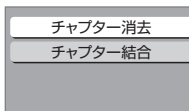
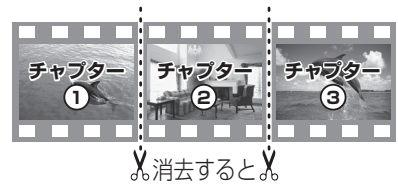
1 [録画一覧] **を押す**

2 **番組を選び、[サブメニュー S] を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**

4 編集する：
チャプターを選び、[サブメニュー S] を押す
(➜ 手順５へ)

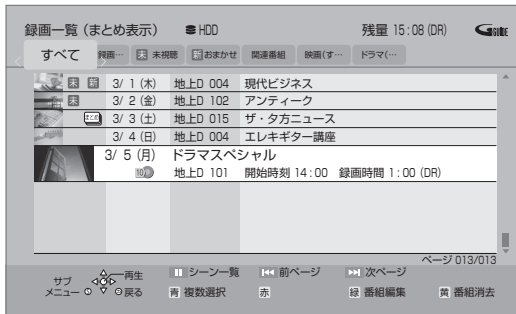
再生する：
チャプターを選び、[決定] を押す

5 **編集する項目を選び、[決定] を押す**
(➜ 右記へ)

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません) 消去すると 番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 チャプターマーク 削除すると 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

テレビと接続して楽しむ

番組を消去する

HDD **USB-HDD**

1 **を押す**

2 番組を選び、[黄] を押す

- [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、
  ［黄］を押す前に、［決定］を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- **消去後の残量について**
  ・消去すると、消去した分、残量が増えます。

番組をダビングする

USB-HDD をご使用になるには、レコーダーで登録する必要があります。(➜129)

HDD と USB-HDD 間のダビングについて

- ダビング元の番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。

ダビング方向：

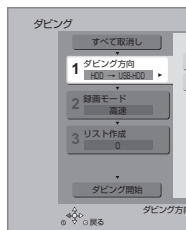
- HDD ➡ HDD USB-HDD
- USB-HDD ➡ HDD USB-HDD

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、[▶] を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」の項目を設定してください。

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、決定 を押す

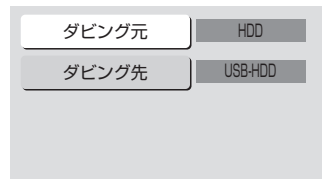
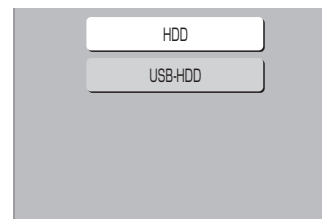
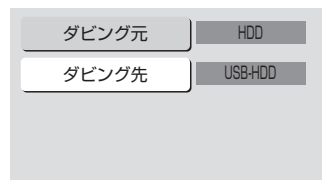
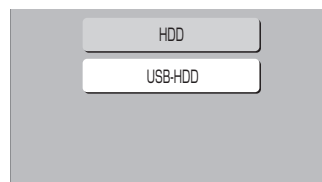
☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- 中止時の動作 (➜97)

お知らせ

- ディスプレイ操作中は、ダビングできません。
  ダビングする場合は、ディスプレイの電源を切ってください。

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

❺ [◀] を押す (➜ 左記手順 3 へ)

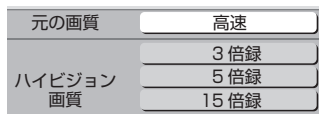
お知らせ

- ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)
  - ・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
  - ・1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

テレビと接続して楽しむ

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

●ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜ 77)

❸ [◀] を押す（➜95 手順 3 へ）

お知らせ

●録画モードと記録時間の目安（➜167）

●ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

●ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜95 手順 3 へ）

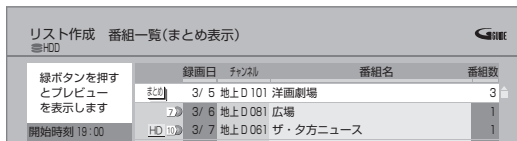
お知らせ

● USB-HDD にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。

●ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）

・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

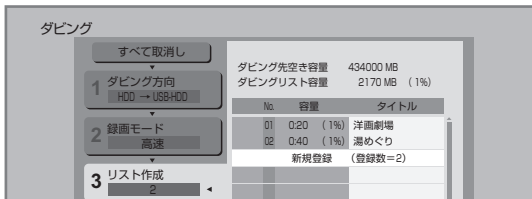
ダビングの便利な機能

リスト作成画面（**➜96「リスト作成」手順 ❷**）で

❶ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

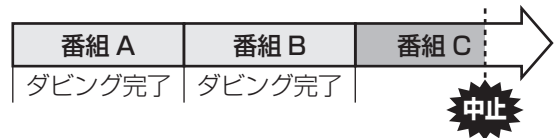
※　番組に☑が付いているときはできません。

リスト作成画面（**➜96「リスト作成」手順 ❶**）で

- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、**[決定]** を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、**[決定]** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  ・リスト全消去
  ・追加
  ・消去
  ・移動

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。

インターネットを楽しむ

インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

- 録画中やダビング中は利用できません。また、予約録画の開始時刻になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- **ディスプレイでインターネットを閲覧することはできません。**

インターネットを利用するには、以下の順序で接続と設定が必要です。

① レコーダーをテレビに接続する（➜42）
② 宅内ネットワークに接続する（➜140、141）
③ ディスプレイとレコーダーのネットワーク設定をする（➜38）

インターネットの閲覧制限について

レコーダーには、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などがレコーダーを使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① ［スタート］を押す
②「放送設定」を選び、［決定］を押す
③「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、［決定］を押す
④「制限項目設定」を選び、［決定］を押す
⑤ ［1］～［10］で暗証番号を設定する
⑥「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- 「テレビでネット」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
  アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。レコーダーを譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。
- 「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービス（インターネット上のホームページの閲覧など）はご利用できません。
- ディスプレイ操作中は、利用できません。
  利用するには、ディスプレイの電源を切ってください。

acTVila（アクトビラ）を利用する

acTVila とは

●インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。
●以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
・アクトビラ ベーシック
・アクトビラ ビデオ
・アクトビラ ビデオ・フル
・アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト（http://actvila.jp/）をご覧ください。
また、当社ホームページ（http://panasonic.jp/support/actvila/）でも紹介しています。（2012 年 5 月現在）

1 ネット を押す

2 「アクトビラ」を選び、決定 を押す

3 見たい項目を選び、決定 を押す

☞ アクトビラを終了するには
[地上] [BS] [CS] を押す

ネット操作パネルを表示する

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

Ⓐ １つ前のページへ
Ⓑ １つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（➜ 下記）

☞ ネット操作パネルの表示を消すには
[サブ メニュー] を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す

●登録したい場合、登録したいホームページを表示して [サブ メニュー] を押してください。

❷ 「お好みページ」を選び、決定 を押す

■登録する

❸ 青 を押す

❹ 内容を確認し、決定 を押す

●「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、決定 を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ 黄 を押す

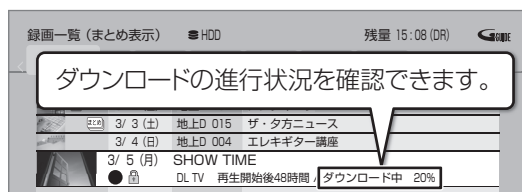
❺ 「はい」を選び、決定 を押す

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページからレンタルコンテンツをHDD にダウンロードすることができます。

●コンテンツをレンタルする際の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従ってレンタルコンテンツを利用する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す
② 「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す
③ 「一時停止」を選び、**[決定]** を押す
●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。
(➜111「ダウンロード履歴」)

お知らせ

●電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・ダビング中
・お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（➜78）から再生する

ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(➜119) の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組は自動的にプロテクト設定されます。

もっと TV のサービスを利用する

もっと TV とは

テレビ番組などの映像を、放送局がインターネットを通じて提供するサービスです。

●ご利用条件やコンテンツ内容の不明点などについては、株式会社電通が運営する下記ホームページをご覧ください。
http://www.mottotv.jp/

1 **もっとTV [VOD] を押す**

2 **項目を選び、決定 を押す**

●操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには

[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ

●もっと TV の番組は、録画やダウンロードはできません。

動画共有サイトなどのサービスを利用する

動画コンテンツの閲覧などのさまざまなサービスを楽しむことができます。

1 **[ネット] を押す**

2 **項目を選び、決定 を押す**

●操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには

[地上] [BS] [CS] を押す

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ●レコーダーはサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- ●2010 年４月以前に発売の DLNA 対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- ●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ●当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
  （2012 年５月現在）
- ●他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を利用するには、以下の順序で接続と設定が必要です。

① レコーダーをテレビに接続する（➜42）
② 宅内ネットワークに接続する（➜140、141）
③ ディスプレイとレコーダーのネットワーク設定をする（➜38）

お知らせ

- ●ディスプレイ操作中は、利用できません。
  利用するには、ディスプレイの電源を切ってください。

別室のテレビなどで見る（レコーダーをサーバーとして使用する）

HDD **USB-HDD**

DLNA対応機器から、レコーダーのHDDやUSB-HDDに録画した番組の再生、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

- ●画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- ●2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオを見る」のとき

- ●編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）
- ●ダウンロードした番組は再生できません。
  （DLNA対応の他社製機器から再生時）（2012 年５月現在）

「放送を見る」のとき

- ●チャンネル設定（➜116）で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- ●視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- ●他社製機器で放送番組を視聴することはできません。（2012年５月現在）

映像が途切れたり、停止する場合

- ●ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」（➜126）を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
  ただし、画質を調整すると、早送り・早戻しができなくなります。
- ●無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、レコーダーや無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- ●無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

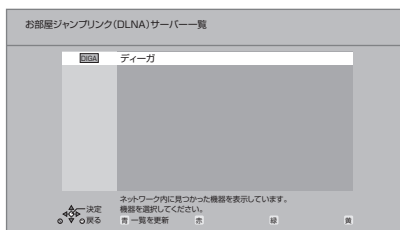
別室の機器の映像を見る（レコーダーをクライアントとして使用する）

レコーダーからDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組を再生することができます。
●接続した機器側で、レコーダーを登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」または「ビエラリンク（LAN）」で登録する）
（レコーダーの操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください）

1 スタート **を押す**

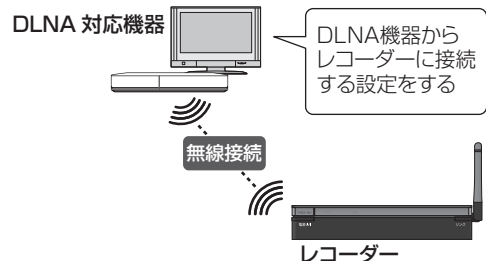
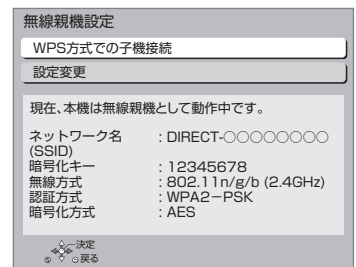
2 「お部屋ジャンプリンク」を選び、決定 を押す
●表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、決定 を押す

例）

●選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ
●接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●レコーダーの録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンク（DLNA）で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(➜80)

レコーダーを無線親機にしてお部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

無線ブロードバンドルーターを使わずに、レコーダーと DLNA 機器を無線接続してお部屋ジャンプリンク（DLNA）を利用することができます。
ただし、以下の機能は利用できません。
●インターネット機能
●ディスプレイを使ってのお部屋ジャンプリンク（DLNA）

1 レコーダーの「無線 / 無線親機設定」(➜122) **で以下の画面を表示する**

2 DLNA 機器側で、手順 1 の画面情報を基にネットワーク設定をする

上記設定後、レコーダーをサーバーまたはクライアントとして使用することができます。

自宅にあるパソコンで操作する

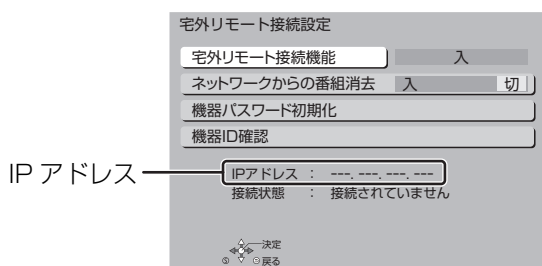
レコーダーと接続したパソコンから遠隔操作ができます。

●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは（➜127）

宅外リモート機能を利用するには、以下の順序で接続と設定が必要です。
① レコーダーをテレビに接続する（➜42）
② 宅内ネットワークに接続する（➜140、141）
③ ディスプレイとレコーダーのネットワーク設定をする（➜38）
④ 宅外リモートの設定をする（➜127）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、レコーダーの IP アドレス（➜127、手順 5 で確認）をアドレス欄に入力する

●ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 8.0 の場合）
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。

機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークからレコーダーを不正に操作されないように設定するパスワードです。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

レコーダーと HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」（➜121）を「入」にする**
（お買い上げ時の設定は「入」）

② **「ビエラリンク録画待機」（➜121）を「入」にする**

③ **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク（HDMI）が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- レコーダーはビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2011 年 11 月現在）
- 「ビエラリンク録画待機」（**➜121**）が「入」の場合など、レコーダーの電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

ビエラリンク（HDMI）対応機器の確認

機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマーク（**➜ 下記**）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

テレビ（ビエラ）側から録画や録画予約、番組キープをしたときのレコーダーの動作

■録画モード・録画先

- 録画（「見ている番組を録画」など）：
  - ·レコーダーであらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
- 録画予約 / 番組キープ：
  - ·DR モードで HDD に録画

■録画予約の登録の確認

- レコーダーの予約一覧画面で予約内容を確認できます。

■録画予約の取り消し

- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■録画ができない場合

- すでにレコーダーが「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- レコーダーに契約された miniB-CAS カードが挿入されていないとき。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(レコーダーのリモコン)：レコーダー用リモコンで操作できます。
(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。
Ver.○以降：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(レコーダーのリモコン) Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

●レコーダーの電源「切」時は、[ガイド]、[ネット][もっと TV] は働きません。

電源オフ連動

(レコーダーのリモコン)(テレビのリモコン) Ver.1以降

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的にレコーダーの電源も切れます。

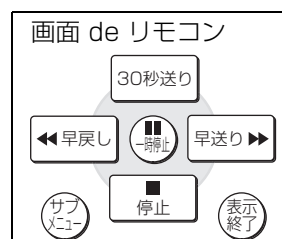
お知らせ

●ダビング、消去、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでレコーダーを操作

(テレビのリモコン) Ver.1以降

テレビのリモコンで、レコーダーを操作することができます。

●[サブ メニュー] を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。

●ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させる場合、「ディーガの操作一覧」を選んでください。スタート画面から予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

(レコーダーのリモコン)(テレビのリモコン) Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報に応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

設定を有効にするには

●「オートサウンド連携」（➜121）を「入」にする

番組キープ

(テレビのリモコン) Ver.3以降

視聴中の番組をHDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
（番組キープ終了後は削除されます）

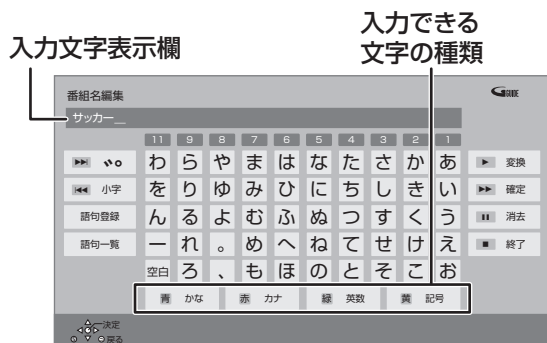
「番組キープ ●」が表示

お知らせ

- ●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- ●以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
  - ・予約録画開始時刻になったとき
  - ・番組キープが8時間を超えたとき、またはHDDの容量がなくなったとき
- ●レコーダーが番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。

文字入力

表示された画面によって２種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する
（番組名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき）

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。（➜ 右記）

3 入力が終わったら、停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

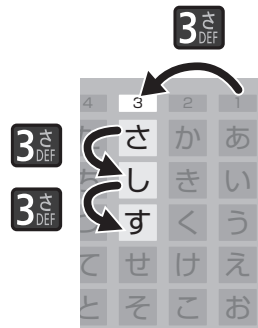
数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① [3] を押す

●「さ」行に移動します。

② [3] を２回押し、[決定] を押す

●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ **再生**] を押したあと、変換候補を選び、[**決定**] を押す

●[**戻る**] を押すと、入力画面に戻ります。

●JIS 第１水準､JIS 第２水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ **一時停止**] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[**決定**] を押す

② 「登録」を選び、[**決定**] を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す

② 語句を選び、[**決定**] を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す

② 語句を選び、[**黄**] を押す

③ 「消去」を選び、[**決定**] を押す

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する
(アクトビラなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名はこの方法では入力できません)

1 1 〜 12 で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

1	▶	1	2	10
4 回押す（え）	1 回押す	2 回押す（い）	1 回押す（か）	1 回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜110)

☞ 漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

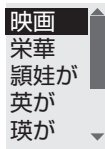
映画

カーソル

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す

② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
(カーソルの文字が削除されます)

文字入力（続き）

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

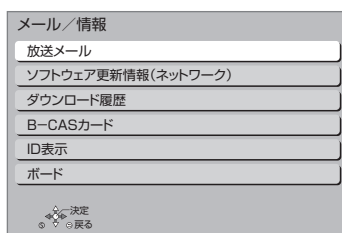
1 スタート を押す

2 「メール / 情報・診断コード」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

（診断コードを見る場合 ➜163 手順③へ）

3 「メール / 情報」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、決定 を押す

お知らせ

- ディスプレイ操作中は、設定できません。
  設定する場合は、ディスプレイの電源を切ってください。

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、レコーダーの機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、決定 を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① [サブ メニュー] を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号（➜119「HDD番組の視聴制限」）を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

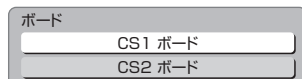
レコーダーのソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

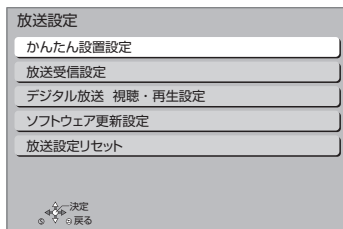
- [青]：レコーダーのソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、
 を押す

❷ 確認したい情報を選び、決定 を押す

放送設定を変える（放送設定）

1 スタート を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

お知らせ

●ディスプレイ操作中は、設定できません。
設定する場合は、ディスプレイの電源を切ってください。

かんたん設置設定

かんたん設置設定（➜144）

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS 【使う】

チャンネル設定（➜116）

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」（➜144）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、1ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表はインターネットを利用して取得します。そのため宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる必要があります。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

●1ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2012年5月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

●お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定（➜114）

地上デジタル

アッテネーター 【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル（➜114）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源 【入】

アンテナ出力 【入】

BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

（放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください）

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、miniB-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

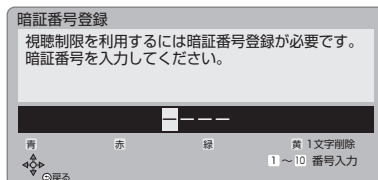
デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し､暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと､元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後､下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

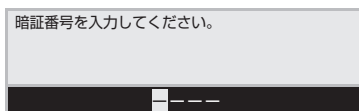
- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】

「アクトビラ」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象 【すべて】

デジタル放送で[**チャンネル ∧,∨**]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定 【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約 【自動】

デジタル放送からの情報をレコーダーに取り込むことにより、ソフトウェアを最新のものに書き換えます。
（ソフトウェア更新については ➜153）

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。**（➜111「放送メール」）**

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」**（➜112）**をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、レコーダーに記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などでレコーダーを手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、レコーダーからの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」**（➜119）**や「USB-HDDのフォーマット」**（➜119）**を行ってください。

放送設定を変える（放送設定）(続き)

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブ メニュー] を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 スタート を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

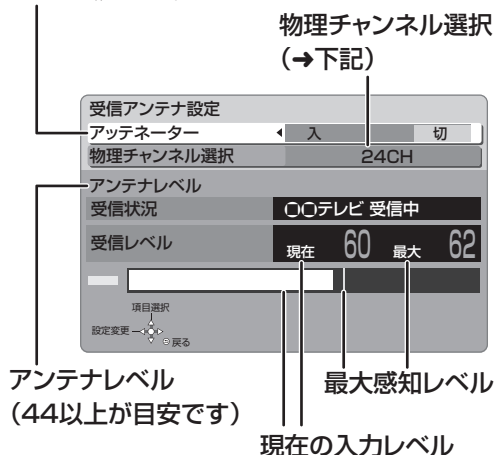
4 「受信アンテナ設定」を選び、決定 を押す

5 修正したい放送を選び、決定 を押す

(➜ 右記または 115 ページへ)

地上デジタル

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(➜145) をやり直してください。
  - ･アッテネーターを切り換える
  - ･ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す

  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

114 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS·110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

アンテナレベル（50以上が目安です）

最大感知レベル

現在の入力レベル

「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

受信チャンネルを修正する

1 スタート **を押す**

2 **「放送設定」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 **「放送受信設定」を選び、決定 を押す**

4 **「チャンネル設定」を選び、決定 を押す**

5 **修正したい放送を選び、決定 を押す**

（BS、CS1、CS2 の場合 ➜117 ページへ）

6 （地上デジタルのみ）

修正する方法を選び、決定 を押す

（➜ 右記または 117 ページへ）

地上デジタル　初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 **お住まいの地域を選び、決定 を押す**

8 **受信帯域を選び、決定 を押す**

9 正しく設定されていることを確認したあと、

戻る **を押す**

地上デジタル　再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 正しく設定されていることを確認したあと、

戻る **を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面に表示される番号です。
「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

116 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① **[緑]** を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、**[決定]** を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、**[決定]** を押す
④ 入れ換えが終わったら **[戻る]** を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面に表示される番号です。
「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

116 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

7 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

8 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① **[緑]** を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、**[決定]** を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、**[決定]** を押す
④ 入れ換えが終わったら **[戻る]** を押す

お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。
  ① http://panasonic.jp/support/hdd/manual/ を開く
  ②「同意する」→「UN-JL19T1」→「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

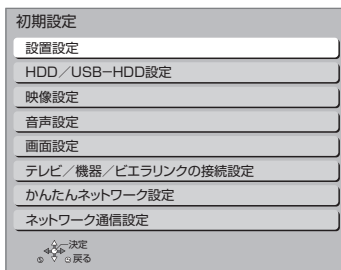
設定を変える（初期設定）

1 [スタート] を押す

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、[決定] を押す

4 設定項目を選び、[決定] を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

お知らせ

●ディスプレイ操作中は、設定できません。
設定する場合は、ディスプレイの電源を切ってください。

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、レコーダーの動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜124） 【リモコン 1】

時刻合わせ

デジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

エコ待機モード 【モード 1】

[エコ待機] を 3 秒以上押して電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。
· 時刻
· HDD 番組の視聴制限
· USB-HDD の登録
· かんたんネットワーク設定
· LAN 接続形態
· 無線設定
· IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体の“お知らせ”ランプが 6 回点滅）、リモコンモードを変更してください。**（➜160）**

ソフトウェア更新（ネットワーク）

（宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ）
レコーダーのソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
· レコーダーの電源を切る
· 電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新 【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動でレコーダーのソフトウェアの更新をします。

HDD/USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

記録設定

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

HDD 番組の視聴制限 【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ~ [10]で暗証番号を入力してください。
暗証番号は忘れないでください。

HDD 設定

HDD 管理

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録(➜129)

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し(➜128)

別売の USB-HDD をレコーダーから取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

USB-HDD のフォーマット

別売の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し(➜129)

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード 【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生 【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター 【切】

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

Dolby Digital に有効

デジタル出力

Dolby Digital 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- PCM 設定時は、ダウンミックス 2ch の音声となります。
- 接続する機器がBitstreamに非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）の音声となります。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」（➜上記）が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [HDMI 端子と接続して、「HDMI出力解像度」（➜121）が「480p」以外のとき]

電源（赤）ランプ表示 【入】

電源「切」時に、本体電源ランプの点灯・消灯の設定をします。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 番組の出力方法 【3D】

「2D」を選ぶと、3D 番組を 2D 再生します。
（2 画面構成のサイドバイサイドで表示します）

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【入】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機 【切】

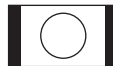
ビエラの電源が「入」のときに、レコーダーがすぐに録画できる状態に設定します。

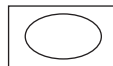
オートサウンド連携 【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

TV アスペクト 【16:9】

16：9 ：ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16：9 フル：ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

HDMI 接続

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
 ・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② ［▶］を数回押して、本体の“録画”ランプを点滅させる
③ ［決定］を 3 秒以上押す
 ・本体の“録画”ランプが点滅したあと、消灯します。
 ・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

HDMI RGB 出力レンジ 【スタンダード】

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜146）

ネットワーク通信設定　【 】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」(**➜ 上記**)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態　【無線親機】

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線親機」にすると、レコーダーをアクセスポイントに設定することができます。

無線 / 無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(**➜ 上記**) が「無線」または「無線親機」時のみ有効

例）「無線親機」時に表示される画面

画面の情報を基に、接続機器（無線子機）側で接続設定を行ってください。

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(**➜ 上記**) が「無線」時のみ有効

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

- 「LAN 接続形態」(**➜ 左記**) が「無線」時のみ有効
- 「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

WPS 方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。（ディスプレイを含む最大 8 台まで）

- 「LAN 接続形態」(**➜ 左記**) が「無線親機」時のみ有効

設定変更

- 「LAN 接続形態」(**➜ 左記**) が「無線親機」時のみ有効

ネットワーク名（SSID）

暗号化キー

無線方式

接続する子機が802.11n/aに対応している場合は、無線方式は 802.11n/a（5 GHz）を選択することをお勧めします。ただし、無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の取扱説明書をご覧ください。

設定リセット

レコーダーが無線親機のときの設定をリセットします。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得　【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(➜122)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどをレコーダーに自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(➜上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅外からの操作設定

宅外リモート接続設定(➜127)

宅外リモート接続機能 【切】

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定(➜126)

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新 【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
  (更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」(➜122)の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」:背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」:内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

レコーダー用リモコンの設定をする

レコーダー用リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

レコーダーの近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、レコーダー用リモコンで再生などの操作をすると、レコーダー以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

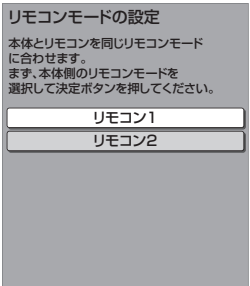
1 [スタート] **を押す**

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、[決定] を押す

4 「リモコンモード」を選び、[決定] を押す

5 「リモコン 1」または「リモコン2」を選び、[決定] を押す

リモコン側のモードを設定する

6 [1 あ@.] または [2 かABC] を押しながら、[決定] を 3 秒以上押したままにする

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. リモコンの数字ボタン「○」と
決定ボタンを同時に3秒間
押し続けてください。
リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、
画面表示が切り換わるまで
決定ボタンを押し続けてください。
（約3秒）

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

7 リモコンを本体に向けて、[決定] を 3 秒以上押す

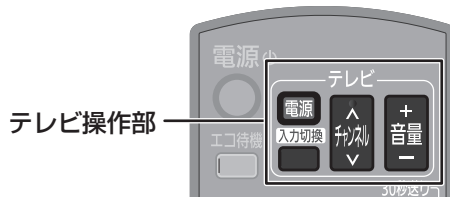
●レコーダー側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

8 [決定] を押す

リモコンモードの設定を終了します。

レコーダー用リモコンでテレビを操作する

設定すると、レコーダー用リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

●メーカー番号 (➜ **下記**) がお買い上げ時の設定「01」の場合は、ディスプレイを操作することもできます。

戻る を押しながら、1 ～ 10 を使って、2 桁のメーカー番号（➜ 下記）を入力する

例）01 の場合…[10] → [1]　10 の場合…[1] → [10]
　11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

●レコーダー用リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
●番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05, 20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12, 25

お知らせ

●当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の **[入力切換]** で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができる場合があります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。
●正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
●[1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の **[チャンネル ∧,∨]** をお使いください。
●メーカー番号を変更すると、ディスプレイの操作はできなくなります。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器などと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定

●無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、お部屋ジャンプリンク（DLNA）は利用できません。

1 スタート を押す

2 **「初期設定」を選び、決定 を押す**
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す**

4 **「お部屋ジャンプリンク（DLNA）設定」を選び、決定 を押す**

5 **「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す**

6 **「手動」または「自動」を選び、決定 を押す**
●「自動」の場合、レコーダーにアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
（「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで［決定］を押してください）
●「手動」の場合（➜ 手順 7 へ）

手順 6 で「手動」を選んだ場合

7 **「機器一覧」を選び、決定 を押す**

8 **アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す**

9 **「アクセス許可」を選び、決定 を押す**
●最大 16 台まで登録できます。

登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）
① 手順 8 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[**決定**] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[**決定**] を押す
●「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 6 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

接続した機器側で表示されるレコーダーの名前を変更するには
① 手順4のあと「本機の名称」を選び、[**決定**]を押す
② 項目を選び、[**決定**] を押す
●一覧から選んで変更 ：あらかじめ登録されている名前から選びます。
●文字入力して変更 ：文字入力画面から入力します。(➜108)

「レート変換モード」を変更するには
映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。
① 手順 4 のあと「レート変換モード」を選び、[**決定**] を押す
② 「オート」「入」または「切」を選び、[**決定**] を押す

携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、ホームページ(➜138)をご覧ください。

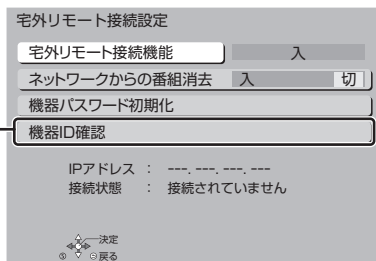
1 **スタート を押す**

2 **「初期設定」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す**

4 **「宅外リモート接続設定」を選び、決定 を押す**

5 **「宅外リモート接続機能」を選び、決定 を押す**

機器 ID：
宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 **「入」を選び、決定 を押す**

「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続（➜140 ～ 141）、「IPアドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」（➜122）を確認してください。

機器パスワードを初期化するには

① 手順４のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す

②「する」を選び、[決定] を押す

別売の USB ハードディスク（USB-HDD）について

レコーダーには、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に記録することができます。
録画はできません。HDD から USB-HDD にダビングして記録してください。

●USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、以下の推奨 USB-HDD をご使用ください。（2012 年 5 月現在）

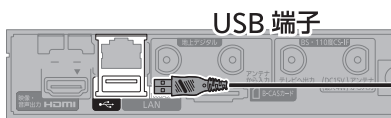
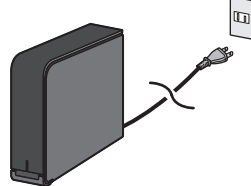
●当社製：DY-HD500
●他社製：下記のマークが付いたもの

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/hdd/

●レコーダーで使用する場合、「USB-HDD の登録」（➜129）を行う必要があります。
●USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

USB 接続ケーブル
接続に使用する USB ケーブルは、USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

・USB ハブを使用して、接続しないでください。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

❶ スタート を押す
❷「初期設定」を選び、決定 を押す
　●表示がない場合は［⏮］［⏭］でページを切り換えてください。
❸「HDD/USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❹「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❺「USB-HDD の取り外し」を選び、決定 を押す
❻「実行」を選び、決定 を押す
❼ USB-HDD を取り外す

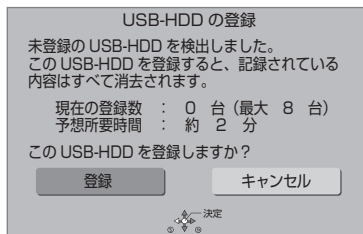
登録する

USB-HDDを使用する場合、レコーダーでUSB-HDDの登録をする必要があります。
登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

例）

USB-HDD の登録
未登録の USB-HDD を検出しました。
この USB-HDD を登録すると、記録されている内容はすべて消去されます。
現在の登録数 ： 0 台（最大 8 台）
予想所要時間 ： 約 2 分
この USB-HDD を登録しますか？
登録　キャンセル
決定

1 スタート **を押す**

2 「初期設定」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「HDD/USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

5 「USB-HDD の登録」を選び、決定 を押す

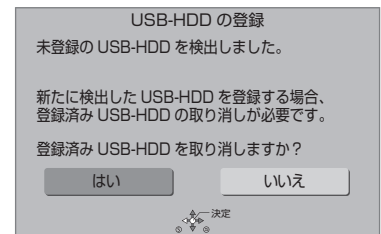
6 「登録」を選び、決定 を押す

7 決定 を押す

お知らせ
- レコーダー以外で使用した USB-HDD をレコーダーに登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、レコーダーの電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例）

❶ 「はい」を選び、決定 を押す
❷ 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定 を押す
❸ 「実行」を選び、決定 を押す
❹ 「登録」を選び、決定 を押す
❺ 決定 を押す

すべての USB-HDD 登録を取り消す

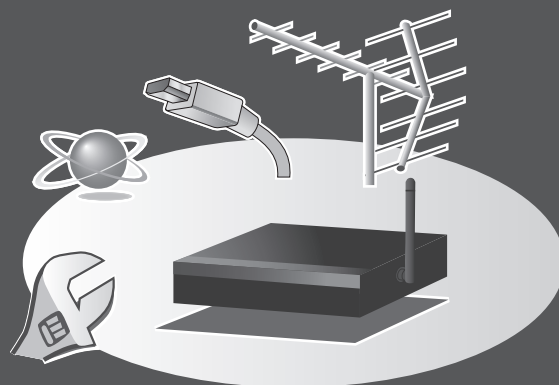
レコーダーに登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。
USB-HDD やレコーダーを廃棄や譲渡する場合などに行ってください。
「USB-HDD の取り外し」(➜128) を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 4 のあと

❺ 「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、決定 を 3 秒以上押す
❻ 「はい」を選び、決定 を押す
❼ 「実行」を選び、決定 を押す
❽ 決定 を押す

お知らせ
- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

詳しい
接続と設定

レコーダーにテレビやネットワーク
接続などをする場合の説明をしています。

miniB-CAS（ミニビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、レコーダーへのminiB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

レコーダーに挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

miniB-CAS カード
台紙からはがして
お使いください。

取扱説明書
が入った袋

miniB-CAS カード
が貼られた台紙

- miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（➜178）などに控えておいてください。
- レコーダーでも番号を確認できます。（➜111）

お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで差し込む

お知らせ

- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。
- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。
- miniB-CAS カードは小さいものです。紛失しないようにお気をつけください。

接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- **すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。**
  電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

ビエラリンク（HDMI）（➜105）に対応した当社製テレビ（ビエラ）と接続すると、連動操作が可能になります。

お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、レコーダー内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使ってレコーダーとテレビにBS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- HDMIケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ケーブル
  品番：RP-CDHS10（1.0 m）、RP-CDHS15（1.5 m）、
  RP-CDHS20（2.0 m）、RP-CDHS30（3.0 m）など
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

混合している複数の電波をBS･CSとUHF･VHFに分波します。

入力
分配器
出力

混合している複数の電波をレコーダーとテレビなど複数の機器に分配します。

アンテナ端子が別々の場合

UHF アンテナ

壁のアンテナ端子など

BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

アンテナ線（別売）

BS同軸ケーブル（BS･CS対応）（別売）

レコーダー背面

アンテナから入力

地上デジタル

BS・110度CS-IF

テレビへ出力

アンテナから入力

DC15V 最大4W

B-CASカ

LAN

AC入力～

映像・音声出力 HDMI

HDMI 映像･音声出力

テレビへ出力

テレビへ出力

HDMI ケーブル（別売）

75 Ω同軸ケーブル（付属）

BS同軸ケーブル（BS･CS対応）（別売）

テレビ

HDMI 映像･音声入力

地上デジタル / アナログ（VHF/UHF）入力

BS･110 度 CS-IF 入力

アンテナ端子がひとつの場合

壁のアンテナ
端子など

VHF/UHF･BS･CS混合

アンテナ線（別売）

U･V

分波器
（別売）

CS･BS

BS同軸ケーブル
（BS･CS対応）（別売）

レコーダー背面

アンテナから入力

地上デジタル

BS・110度CS-IF

テレビへ出力

アンテナ
から入力

DC15V
最大4W

映像・
音声出力 HDMI

B-CASカ

AC入力～

HDMI
映像･音声出力

テレビへ出力

テレビへ出力

HDMI ケーブル
（別売）

75 Ω同軸ケーブル
（付属）

BS同軸ケーブル
（BS･CS対応）（別売）

テレビ

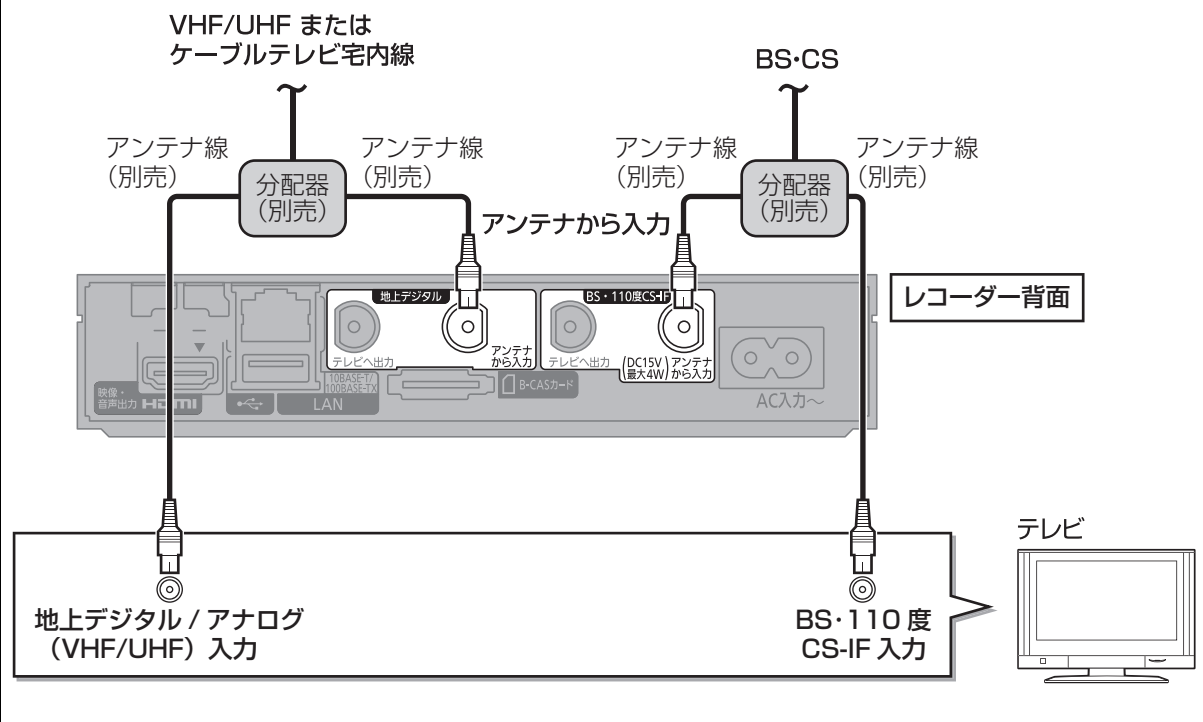
HDMI
映像･音声入力

地上デジタル / アナログ
（VHF/UHF）入力

BS･110 度
CS-IF 入力

レコーダーがエコ待機時にテレビを視聴する場合

エコ待機で電源を切る（➜49）と、レコーダーの待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、**A** **B** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。[「エコ待機モード」（➜118）が「モード 2」のとき]

エコ待機を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。

お知らせ

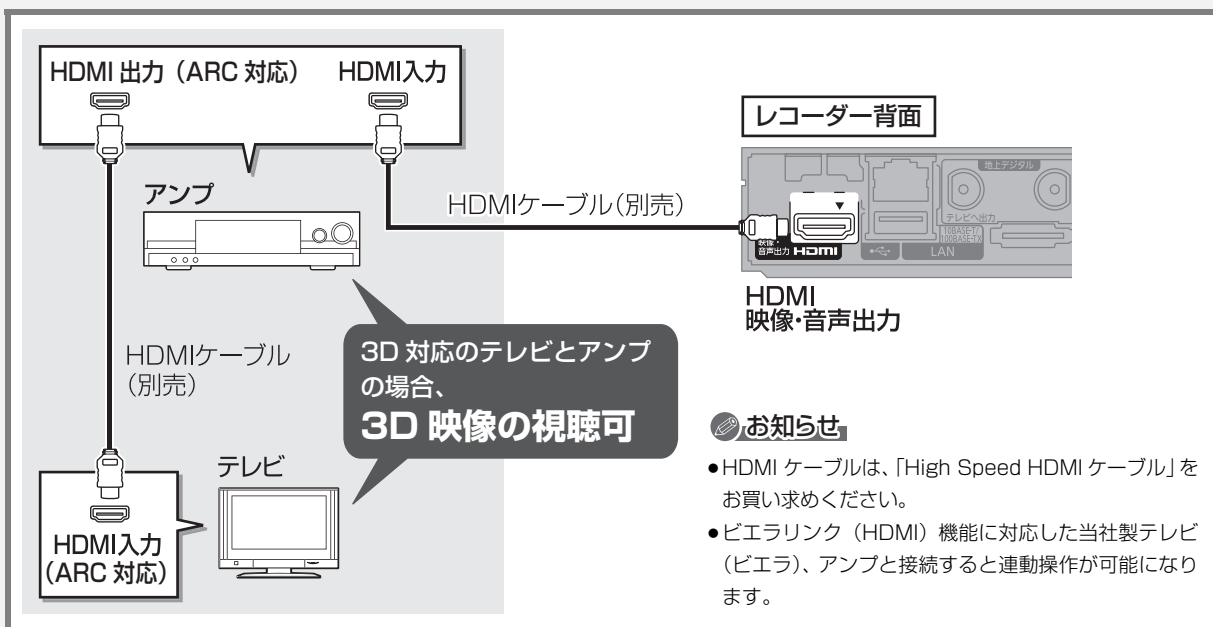
- 分配器を使ってレコーダーとテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

接続3 アンプと接続する

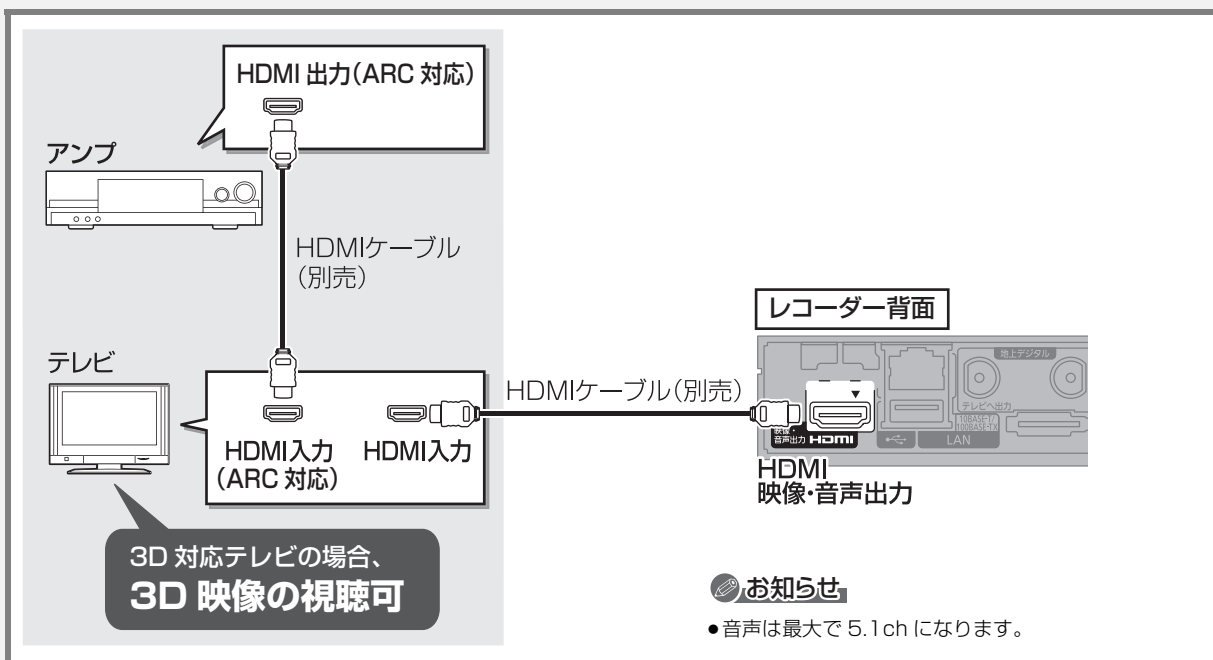
アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

HDMI 端子で接続する

お知らせ

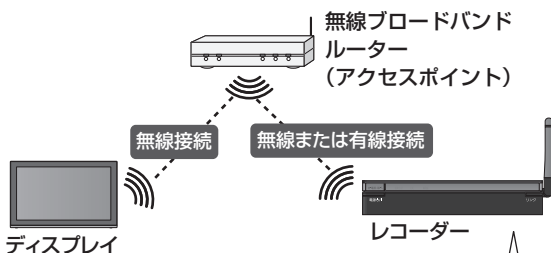
- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには

お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

接続4 ネットワーク接続をする

レコーダーをネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
●ディスプレイで利用できるのは、お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能のみです。

テレビでインターネットを楽しむ インターネット使用	アクトビラのサービスなどを楽しむことができます。（➜98 ～ 101） ●アクトビラについて詳しくは下記ホームページをご覧ください。 http://actvila.jp/
1ヵ月の番組表や注目番組を受信する インターネット使用	1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるようになります。 （2012 年 5 月現在、1ヵ月の番組表は WOWOW、スター・チャンネル、注目番組は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみ対応）
デジタル放送の情報サービスの利用 インターネット使用	デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。
外出先から録画予約/録画番組の詳細情報を見る インターネット使用 （対応サービスへの加入が必要です）	●宅外リモート接続設定（➜127）が必要です。 ●サービスに関する詳細は、下記ホームページをご覧ください。 **パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス** **ディモーラ：http://dimora.jp/** **ミモーラ：http://me-mora.jp/** **株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド** **PC の場合　http://ipg.jp/ra** **携帯電話の場合　http://ipg.jp/k**
自宅のパソコンから録画などの操作	家庭内ネットワークに接続されているパソコンなどからレコーダーを操作して録画予約などができます。（➜104） ●宅外リモート接続設定（➜127）が必要です。
お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能を使う	DLNA 対応機器からレコーダーの HDD にある番組を再生することができます。 また、レコーダーやディスプレイから DLNA 対応機器の HDD にある番組を再生することができます。（➜37、102） ●当社製 DLNA 対応機器の最新情報については、当社ホームページ（➜ 4）をご覧ください。

お知らせ

●接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
●カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
●接続機器は、レコーダーと同じ無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

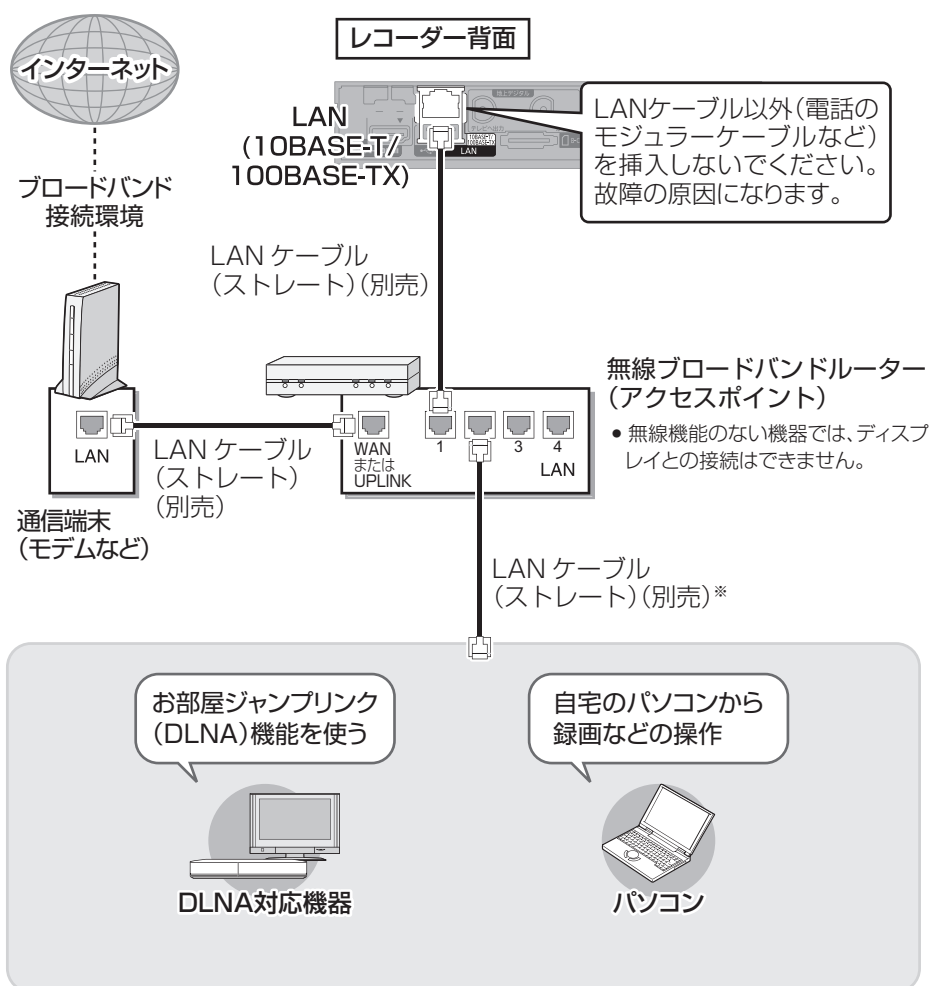
ネットワークを利用するにあたって

ネットワークの接続方法によって、利用できる機能が異なってきます。
以下を参考に接続と設定を行ってください。

接続方法	ディスプレイの操作	インターネット	お部屋ジャンプリンク	宅外リモート機能
ディスプレイとレコーダーを無線で直接接続する場合 ディスプレイ　無線接続　レコーダー お買い上げ時の設定を行った接続状態です（➜22、47）	○	×	×	×
無線ブロードバンドルーターを使って接続する場合 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント） 無線接続　無線または有線接続 ディスプレイ　レコーダー 「ネットワーク設定」で、「宅内ネットワーク（無線LAN）に接続」に設定する（➜38） 「かんたんネットワーク設定」を行う（➜146）	○	○ （レコーダーのみ可）	○	○ （レコーダーのみ可）

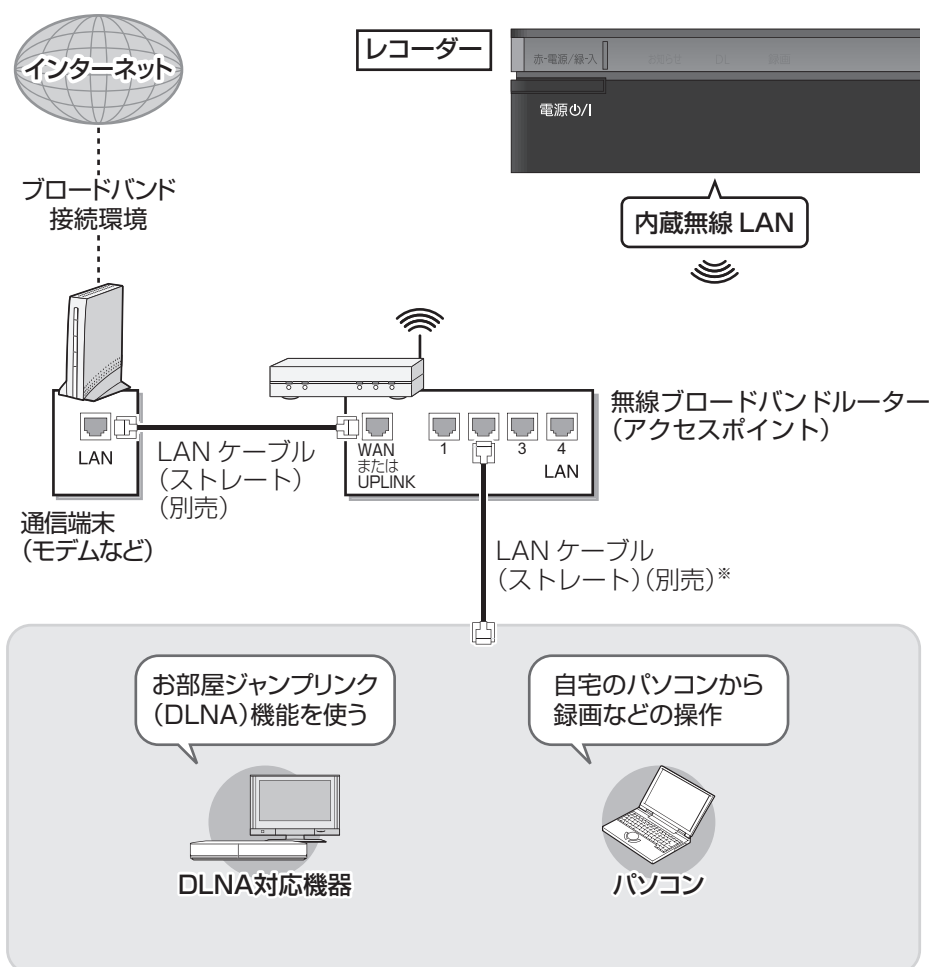
接続／設定

無線ブロードバンドルーターを使ってLANケーブルで接続する

有線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。
（レコーダーとルーターは LAN ケーブルで接続してください）

- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。　http://panasonic.jp/support/hdd/

無線ブロードバンドルーターを使って無線接続する

無線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。　http://panasonic.jp/support/hdd/

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、レコーダーやパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- レコーダーは公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、レコーダーからインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

レコーダーを操作できるパソコン(2012年5月現在)

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 6.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
（携帯電話からはご利用いただけません）
http://panasonic.jp/support/hdd/

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- レコーダーがお手元にない場所から問い合わせの際、レコーダー自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

レコーダーの機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

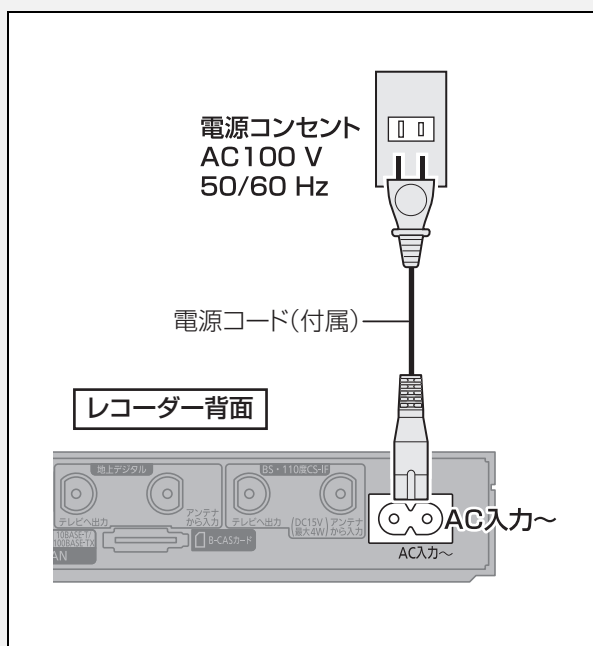
- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者がレコーダーの設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（➜127）、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（➜138）

- レコーダーの接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜166)**

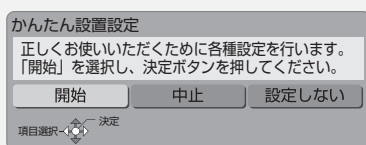
- 電源コードを抜いている場合：
  - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
  - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

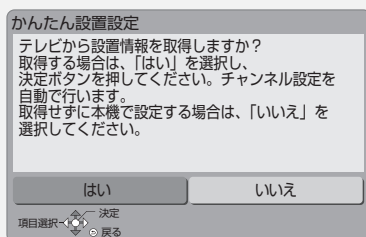
設定1 かんたん設置設定をする

ここでは、レコーダーをテレビに接続した状態で、付属のレコーダー用リモコンを使用してかんたん設置設定をする方法を説明しています。

初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 **レコーダー用リモコンの** 電源⏻ **を押す**

2 **「開始」を選び、決定 を押す**

画面の指示に従って設定を行ってください。

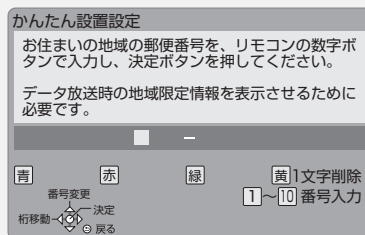
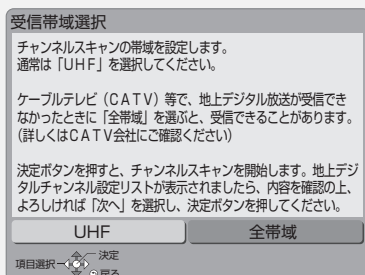
●ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

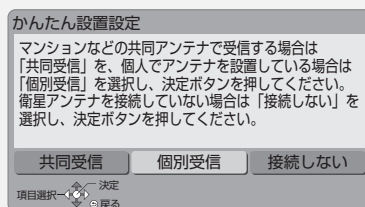
地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

地上デジタル放送チャンネルの設定

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター　切

Po	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合・東京	テレビ	80	高
2	021	NHKEテレ東京	テレビ	80	高
3	----	----			
4	041	日本テレビ	テレビ	80	高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80	高
6	061	TBS	テレビ	80	高
7	071	テレビ東京	テレビ	80	高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80	高
9	091	TOKYO MX	テレビ	80	高
10	----	----			
11	----	----			
12	121	放送大学	テレビ	80	高

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは､｢修正する／確認する」を選んでください。**(➜117「マニュアル」)**

衛星アンテナ設定

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため､テレビ側で衛星アンテナの電源を｢入(オン)」にする設定をしてください。

かんたん設置設定をやり直す

引っ越しをした場合や、設置後テレビ受信ができない場合など、以下の手順でかんたん設置設定をやり直すことができます。

❶ を押す

❷「放送設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

❸「かんたん設置設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。（➜118）

●テレビに映像が映らない場合は

・テレビの入力を確認してください。（➜49「レコーダーの映像をテレビに映す」）

・接続を確認してください。（➜132 ～ 143）

・以下の操作を行うと映像が映ります。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に5秒以上押す

・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。

② ［▶］を数回押して、本体の“録画”ランプを点滅させる

③ ［決定］を３秒以上押す

設定を中止するには

［戻る］を押す

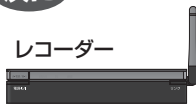
設定2 かんたんネットワーク設定をする

ここでは、無線ブロードバンドルーターを使ってネットワーク接続（➜140、141）するための設定を説明しています。

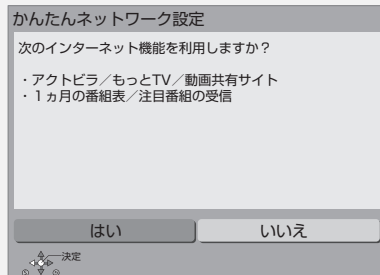
ディスプレイのネットワーク設定（➜38）を行ったあと、レコーダーでかんたんネットワーク設定を行ってください。

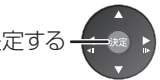
1 スタート **を押す**

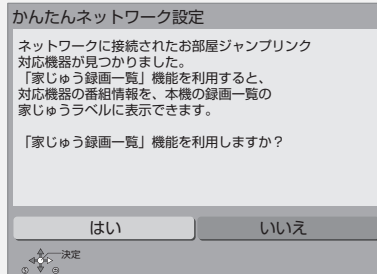
2 「初期設定」を選び、決定 を押す

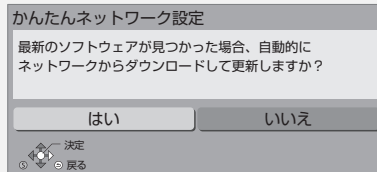
●表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 「かんたんネットワーク設定」を選び、決定 を押す

4 決定 を押す

5 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

6 「有線」または「無線」を選び、決定 を押す

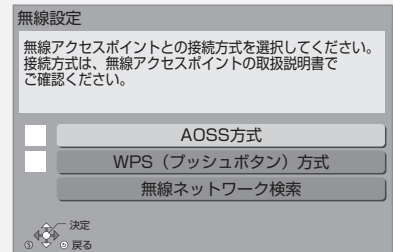
画面の指示に従って設定を行ってください。

こんな画面が表示された場合

「家じゅう」ラベルの表示

「はい」を選ぶと、「お部屋ジャンプリンク」**(➜102)**で接続された機器の録画番組を「家じゅう」ラベルにまとめて表示できます。**(➜80)**

ダウンロードの更新

「はい」を選ぶと、ネットワークを利用して、ソフトウェアが最新かどうかの確認やソフトウェアの更新を自動的に行うようになります。

- ソフトウェア更新には、デジタル放送を利用した方法（オンエアーダウンロード）とネットワークを利用した方法があります。
  (➜153「ソフトウェアの更新について」)

接続方式の選択

（無線 LAN を使って接続する場合）

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がAOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「AOSS方式」または「WPS（プッシュボタン）方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
対応していない場合は「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

- AOSS™、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線ネットワークの接続確認

無線ネットワークの接続に失敗した場合

<table>
<tr><th>表示</th><th>ここを確認してください</th></tr>
<tr><td>他の機器との競合が発生しました。</td><td>●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>タイムアウトエラーが発生しました。</td><td rowspan="2">●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定
●電波が弱いことが考えられます。レコーダーの位置や角度を調節してください。
●無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キー
●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>デバイスエラーが発生しました。</td><td>●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。</td><td>●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。</td></tr>
</table>

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）

有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 (➜140)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜123)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜123)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(➜123) やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定（➜123） ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「－」が表示されます。

無線接続で「×」の表示が出た場合

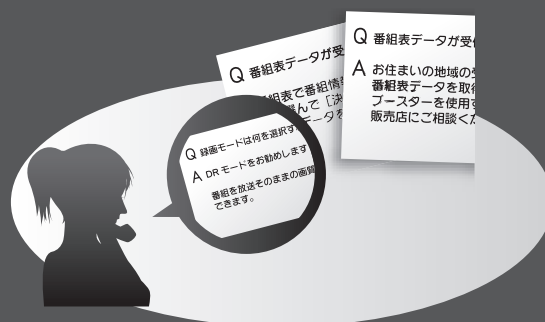
表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜123)
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜123)
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(➜123) やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 (➜123) ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「－」が表示されます。

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーとネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定 **（➜148）** の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、レコーダーや無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能 **（➜126）** をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、接続できません。
- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、ネットワークに接続されたすべての機器からレコーダーにアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク（DLNA）設定」**（➜126）** を行ってください。

必要なとき

故障かな？やお手入れなどの説明を
しています。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送　（地上デジタル）

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- ワンセグ放送の録画はできません。

BS デジタル放送　（BS デジタル）

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送　（CS デジタル）

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー! e2」には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先

「スカパー! e2」カスタマーセンター
0570-08-1212（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHS の方は、**03-4334-7654**）
受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）
「スカパー! e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

お知らせ

- **miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- 有料放送の視聴や録画をするには、放送会社と契約した miniB-CAS カードが必要です。付属の miniB-CAS カードで契約してください。
- ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

ソフトウェアの更新について

レコーダーのソフトウェア更新

以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報をレコーダーに取り込むことにより、自動的にソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、レコーダーが更新を自動で行う設定になっています。
  (➜113「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

(宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ)

インターネットを利用して、レコーダーのソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[➜118「ソフトウェア更新(ネットワーク)」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、レコーダー本体の“DL”が点灯しています。“DL”ランプが消灯するまで操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

ディスプレイのソフトウェア更新

ディスプレイの電源「入」時に、最新のソフトウェアかどうかの確認を行います。

最新のソフトウェアになっていない場合、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

ソフトウェアは以下の方法で更新されます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報をレコーダー経由で取り込むことにより、ソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、最新のソフトウェアをレコーダーに自動でダウンロードする設定になっています。
  (➜113「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

(宅内ネットワークに接続してインターネットが利用できる場合のみ)

インターネットを利用して、ディスプレイのソフトウェアの更新をすることができます。

最新のソフトウェアの確認や更新は、「ソフトウェア更新」**(➜40)**で行うこともできます。

お知らせ

- ソフトウェアの更新は、AC アダプターが接続されていないと実行されません。
- **故障の原因になりますので、以下のことはしないでください。**
  - **・ダウンロード実行中やソフトウェア更新中にレコーダーの電源コードを抜く**
  - **・ソフトウェア更新中にディスプレイの電源を切る、AC アダプターを外す**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

取り扱いについて

レコーダーの取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、レコーダーを修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

レコーダーの移動

① 電源を切る
（本体の電源ランプの点滅が終了するまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

レコーダー本体およびリモコン

レコーダー本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

温度上昇について

使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

レコーダーを廃棄 / 譲渡するとき

レコーダーにはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。
廃棄や譲渡などでレコーダーを手放される場合は、「個人情報リセット」（➜113）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- レコーダーに記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

レコーダーを修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD をお使いになっていた場合、レコーダーの修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

レコーダーはHDDにある番組をメディアに保存（バックアップ）することはできません。
そのため、録画した番組などを保存目的で録りためておくのには適していません。

- **HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスプレイの取り扱いについて

お手入れ

AC アダプターを外した状態で、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。

お知らせ

- 液晶画面や画面の周りを固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

ディスプレイを廃棄 / 譲渡するとき

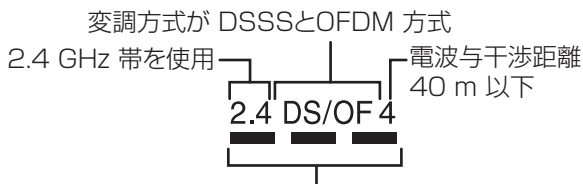
廃棄や譲渡などでディスプレイを手放される場合は、「設定リセット」（➜40）を実行してください。

内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、レコーダー背面および付属のラベルに記載しています。

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック お客様ご相談センター（➜ 裏表紙）

■ 機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線LANに以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- ディスプレイおよびレコーダー記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  –次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

  –802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

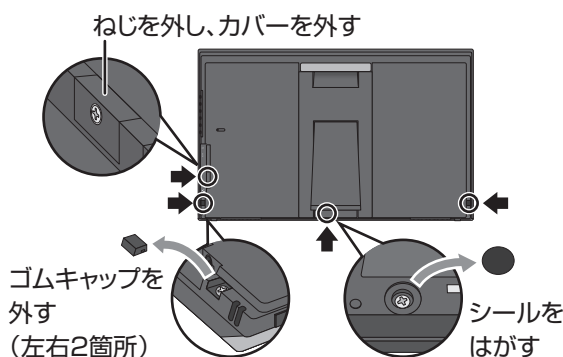
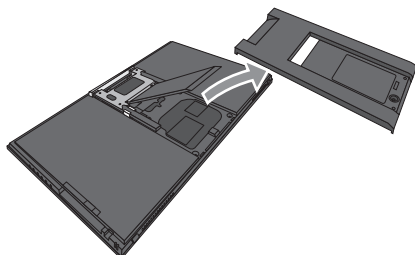
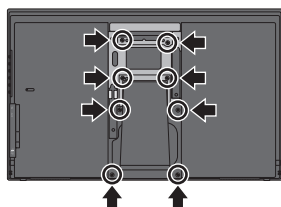
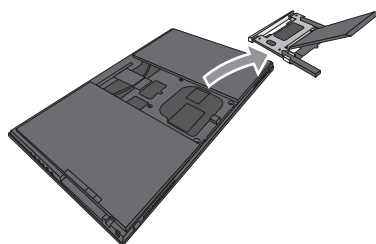
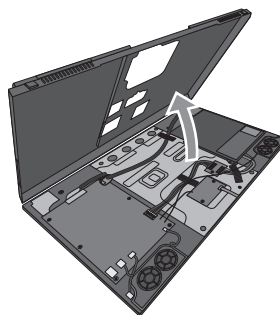
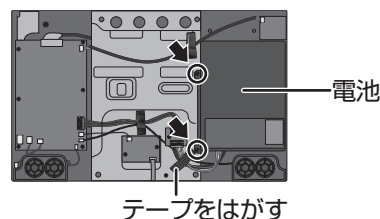
ディスプレイの廃棄について

ディスプレイを廃棄する場合、「設定リセット」(➜40)を実行したあと、ディスプレイ内蔵の電池を取り出して、電池のリサイクルにご協力ください。

電池の取り出し方

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- **この図は、ディスプレイを廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。**

- 電池を使い切ってから分解してください。
- 上手に取り出せない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜178)へお問い合わせください。

❶ **下記イラストの矢印箇所のねじを外す(4 本)**
- ねじに貼ってあるシールと、ゴムキャップを外してください。
- 市販のドライバー(+)で、ねじを外してください。

❷ **中央部分のカバーを外す**
- スタンドを開いた状態でカバーを外してください。

❸ **ねじを外す(8 本)**

❹ **ハンドル、スタンド部を外す**

❺ **下側からパネル面を開ける**

❻ **電池を取り出す**
- ねじを外し(2 本)、コードに貼ってあるテープをはがし、コードを持って引き抜き、電池を取り出してください。

使用済みの充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

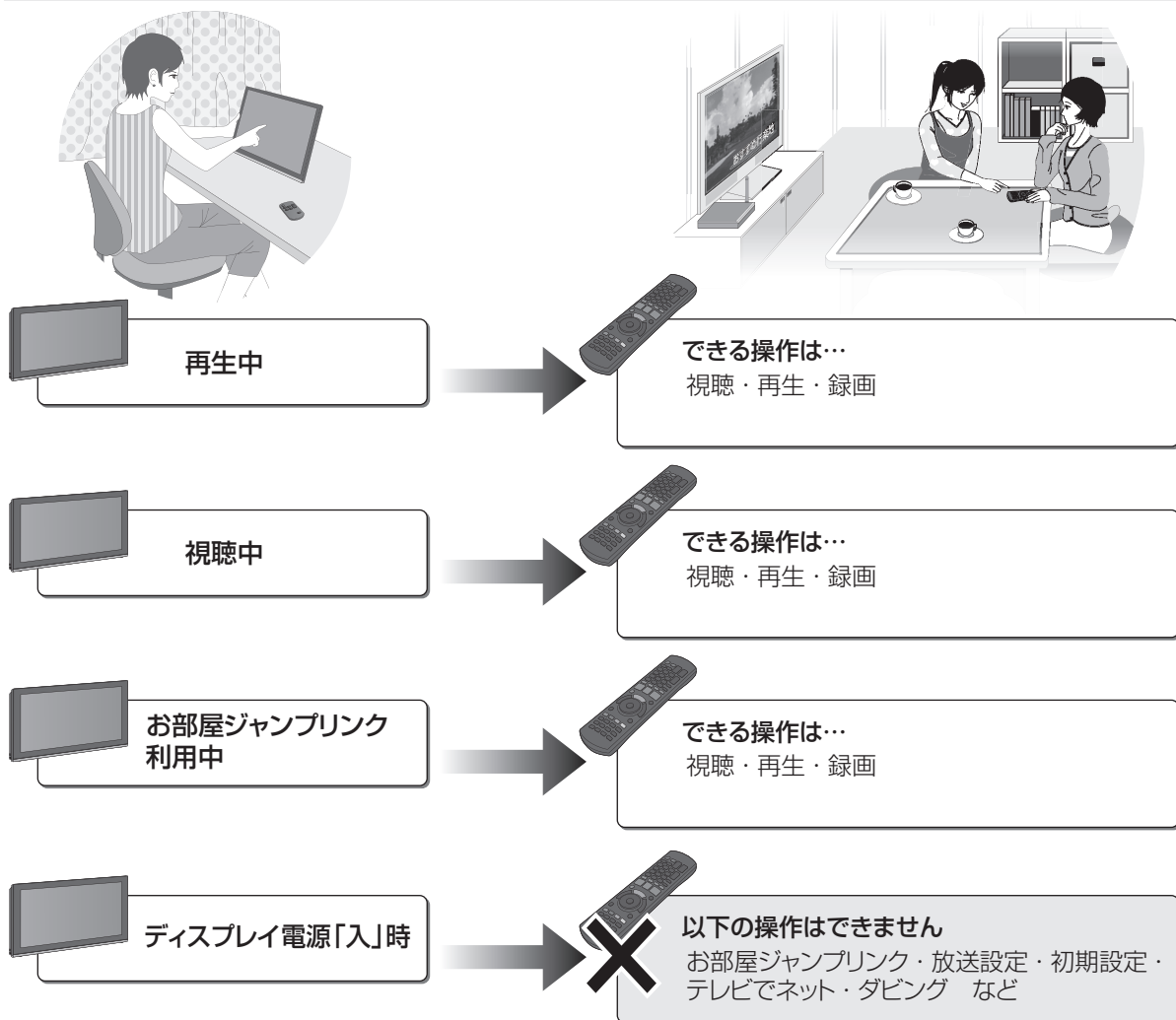
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

必要なとき

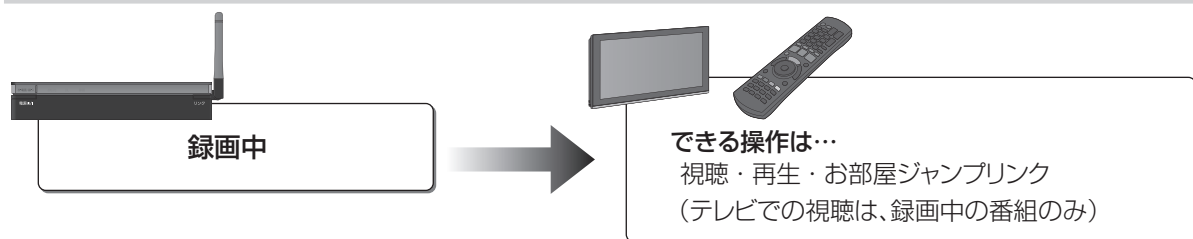
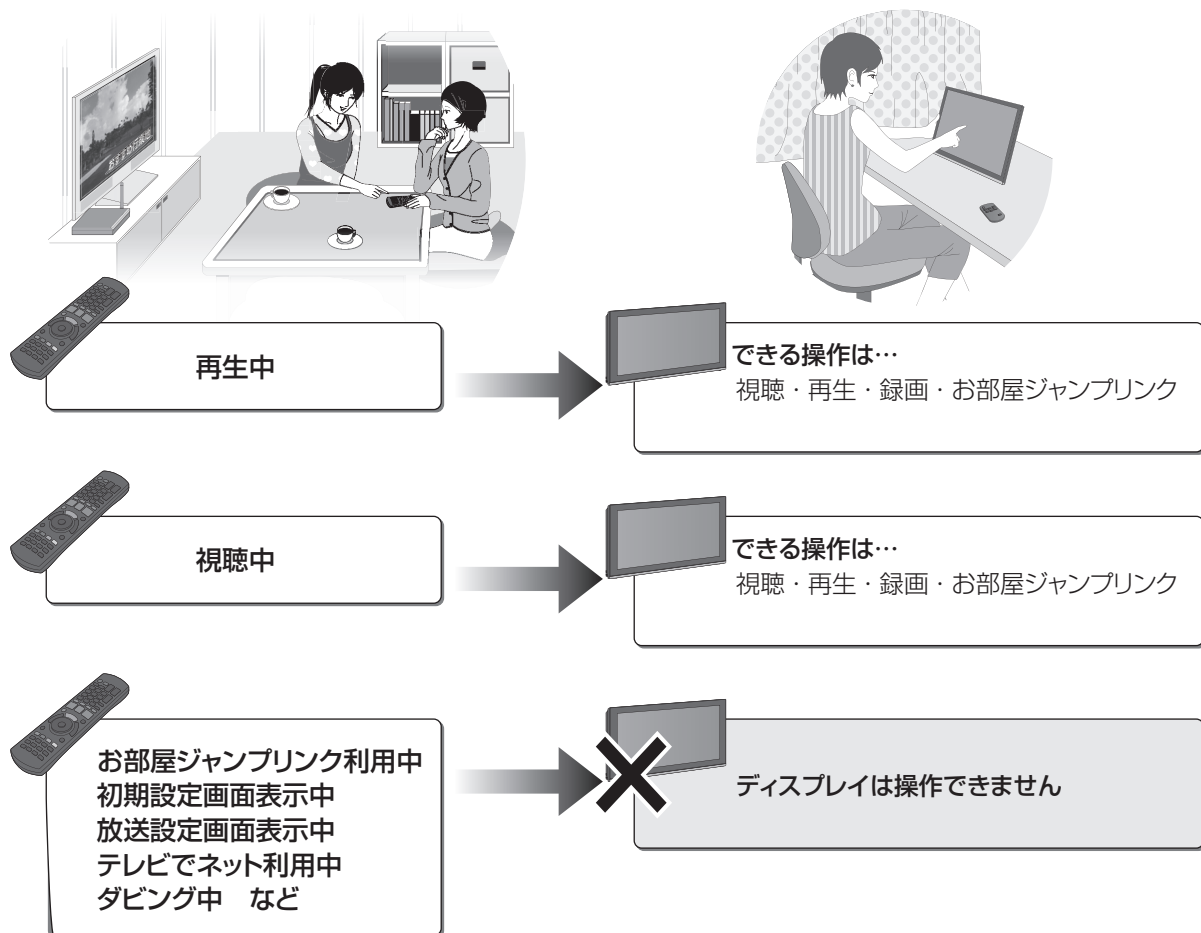
同時操作について

レコーダーをテレビに接続して使用する場合、ディスプレイでの操作とレコーダーにつないだテレビでの操作の同時操作は以下のようになります。

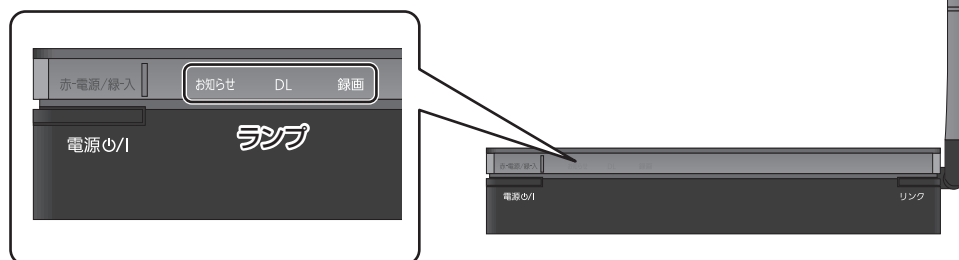
ディスプレイを操作中のとき、レコーダーにつないだテレビでの操作は…

ディスプレイ	テレビでの操作
再生中	できる操作は… 視聴・再生・録画
視聴中	できる操作は… 視聴・再生・録画
お部屋ジャンプリンク利用中	できる操作は… 視聴・再生・録画
ディスプレイ電源「入」時	以下の操作はできません お部屋ジャンプリンク・放送設定・初期設定・テレビでネット・ダビング　など

レコーダーが録画中のとき、ディスプレイやレコーダーにつないだテレビでの操作は…

録画中

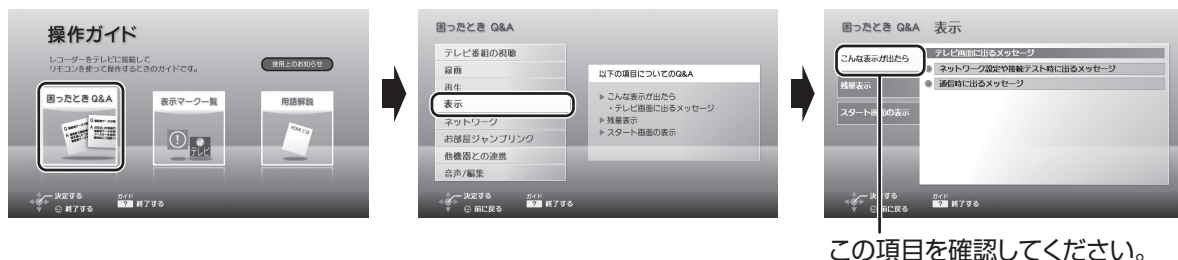
できる操作は…
視聴・再生・お部屋ジャンプリンク
（テレビでの視聴は、録画中の番組のみ）

レコーダーにつないだテレビを操作中のとき、ディスプレイでの操作は…

こんな表示が出たら

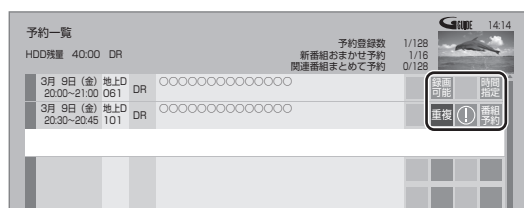
レコーダー

レコーダーのランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。

本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
お知らせ：6回点滅 DL：消灯 録画：消灯	●レコーダーとレコーダー用リモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 [1] を押しながら、[決定] を3秒以上押したままにしてください。 それでも“お知らせ”ランプが6回点滅する場合は、[2] を押しながら、[決定] を3秒以上押したままにしてください。
お知らせ：消灯 DL：点灯 録画：消灯	●ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。“DL”ランプが消えるまで、レコーダーを操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
お知らせ：点灯 DL：消灯 録画：点灯	●レコーダーの内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。ランプが消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
お知らせ：点灯 DL：点灯 録画：点滅	●レコーダーが正常に動作しません。レコーダー本体の [電源⏻/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯 DL：消灯 録画：点滅	●本体動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯 DL：点滅 録画：点灯	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
お知らせ：2回点滅 DL：消灯 録画：消灯	●（レコーダーのリンクボタンを押したとき） レコーダーの無線接続の準備ができていません。しばらく待ってからリンクボタンを押してください。

テレビに表示されるメッセージについては、レコーダー本体の「操作ガイド」をご覧ください。
●「操作ガイド」は、テレビと接続時のレコーダー用リモコンでの操作に関する記載をしています。
（ディスプレイ操作に関する記載はありません）

ガイド [?] を押す

この項目を確認してください。

表示マークについても「操作ガイド」をご覧ください。

予約一覧画面

録画一覧画面

ディスプレイ

ディスプレイの電源「入」時に以下のような画面が表示される場合

ディスプレイの表示	調べるところ・原因・対策
レコーダーと接続できません。以下の可能性があります。 ■レコーダーからの電波が届いていない ・レコーダーの電源ランプが赤または緑に点灯しているか確認してください。 ・レコーダーに近づいて、「再接続する」を押してください。 ・接続が途切れやすい場合は、「設置のヒント」をご覧ください。 設置のヒント ■レコーダーが宅内ネットワーク接続に設定されている ・本機も宅内ネットワーク接続にするか、 レコーダーを直接接続に戻す必要があります。 「設定を変更する」を押して、接続方法を変更してください。 再接続する　設定を変更する	レコーダーとの接続に失敗しています。 ●レコーダーのネットワーク設定を変更している場合、ディスプレイ側でもネットワーク設定の変更が必要です。 「設定を変更する」を選んで、設定を変更してください。 無線ブロードバンドルーターを使って接続する場合、「宅内ネットワーク（無線 LAN）に接続する」を選んでください。 ●レコーダーの接続設定が変更されている可能性があります。「設定を変更する」を選んだあと、「レコーダーと直接接続する」を選んでください。宅内ネットワークに接続する場合は、再度「ネットワーク設定」**(➔38)** を行ってください。 ●設定を変更してもうまくつながらない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。（上記画面のソフトバージョンをお聞きすることがあります）

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- ディスプレイの電源切 / 入時にスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
- ディスプレイ充電中に、AC アダプターの内部で音がする
- ディスプレイの液晶画面の 0.01% の画素欠けや常時点灯
- レコーダーの電源切 / 入時の音
- レコーダーが以下の状態のときに、HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ・電源切 / 入時
  - ・番組表データを受信中
  - ・ソフトウェア更新中または番組のダウンロード中
  - ・録画中
  - ・録画モード変換時
  - ・「ビエラリンク録画待機」(➔121)の「入」時
  - ・「家じゅう録画一覧設定」(➔123)の「自動更新」の「入」時
  - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ(1 週間に 1 ~ 3 回程度)の、レコーダー全体の自動再起動時 レコーダーの安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。
- 無線の状態によっては、ディスプレイでの視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。

操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① **[電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**

- レコーダーが切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
  (それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

- ディスプレイが切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
  [それでも切れない場合は、リセットボタン(➔12) をクリップのようなものを使って押す]

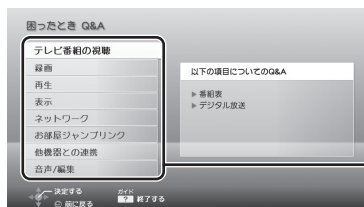
② **[電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

- ディスプレイの場合、[電源⏻/I]を3秒以上押してください。

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

「故障かな !?」の内容は、レコーダー本体の「操作ガイド」や当社ホームページ (➜4) も併せてご覧ください。

●「操作ガイド」は、テレビと接続時のレコーダー用リモコンでの操作に関する記載をしています。
（ディスプレイ操作に関する記載はありません）

［ガイド ?］を押す

この項目を確認してください。

診断コードについて

レコーダーの故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **［スタート］** を押す

②「メール / 情報・診断コード」を選び、[決定] を押す

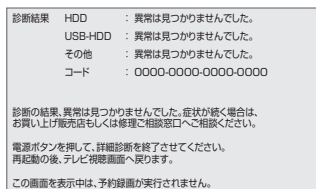
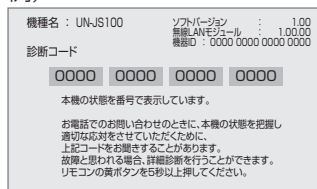
●表示がない場合は [⏮][⏭] でページを切り換えてください。

③「診断コード」を選び、[決定] を押す

④ **［黄］** を 5 秒以上押す

⑤「はい」を選び、[決定] を押す

●診断を開始します。

例）

●診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

ディスプレイ

操作ができない
レコーダーとの接続ができない

●レコーダーの電源コードがつながっていますか。ディスプレイを操作するには、レコーダーの電源コードが接続されている必要があります。
●レコーダーがエコ待機で電源「切」のときは、ディスプレイは操作できません。
●レコーダーとの無線接続が正しく設定されていますか。設定をやり直す場合（➜22、47）
●レコーダーの「ネットワーク通信設定」の変更または「かんたんネットワーク設定」を実行していませんか。その場合は、ディスプレイ側でも「ネットワーク設定」を行ってください。（➜38）
●タッチパネルの操作は、指で触れてください。
●タッチしたものと違うものが選択されたり、反応しない場合は、「タッチパネル調整」（➜40）を行ってください。
●入力が「AUX」になっている場合（➜36）、タッチパネルの操作はできません。

自動的に電源が切れた

●「無操作電源［切］」（➜40）が働いている場合、自動的に電源が切れます。
●ディスプレイの温度が上昇すると、安全のため自動的に電源が切れます。高温になる場所でのディスプレイの使用はしないでください。

充電しても使用できる時間が極端に短い

●電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」（➜178）にお問い合わせください。

ディスプレイ用リモコンで操作したら、当社製テレビも動いてしまう

●ディスプレイと当社製テレビのリモコンモードが同じになっています。テレビにリモコンモードがある場合は、変更してください。

当社製テレビのリモコン操作をしたら、ディスプレイも動いてしまう

●ディスプレイと当社製テレビのリモコンモードが同じになっています。テレビにリモコンモードがある場合は、変更してください。

電源（レコーダー）

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」（➜118）やビエラリンク（HDMI）の電源オフ連動（➜106）、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

●ビエラリンク（HDMI）をお使いのときは、テレビから予約されると、レコーダーの電源が自動的に入ります。

テレビ画面や映像（レコーダー）

レコーダーを接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき（➜144）
・「アンテナ電源」を「入」にしているとき（➜112）
●「アンテナ出力」（➜112）を「入」にしてください。「切」の場合、レコーダーの電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
●一度「アッテネーター」（➜114）の設定を切り換えてみてください。
●エコ待機で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。レコーダーを経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜136）

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」（➜145）をやり直してください。

映像が映らない
映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➜132 ～ 143)

●HDCP（不正コピー防止技術）に対応した機器（パソコンのディスプレーなど）に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）

●以下の場合、HDMI認証が起こり、黒画面になります。
・2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき

●「Deep Color 出力」（➜121）もしくは「コンテンツタイプフラグ」（➜121）を「切」にしてください。

●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に 変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」（➜120）が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される
画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」（➜56）で調整してください。
（テレビのアスペクト設定でも調整できます）

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」(➜87)を「切」にしてください。

ボタン操作（レコーダー）

レコーダー用リモコンが働かない

●本体の“お知らせ”ランプが 6 回点滅していませんか。本体とリモコンのリモコンモード（➜124）が異なっています。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。
[1] を押しながら、[決定]を3 秒以上押したままにしてください。それでも働かない場合は、[2] を押しながら、[決定]を3 秒以上押したままにしてください。

●レコーダー本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。

●リモコンとレコーダー本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などがありませんか。

●テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜125)

レコーダー用リモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●レコーダーと他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。リモコンモードを変更してください。(➜124)

レコーダー用リモコンで操作したら、ディスプレイも動いてしまう

●お買い上げ時の設定では、レコーダー用リモコンのテレビ操作部でディスプレイも動作します。レコーダー用リモコンのメーカー番号を 01 以外に変更してください。(➜125)

本体（レコーダー）

レコーダー本体が熱い

●レコーダー使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。レコーダーの上下左右にスペースを空けてください。
温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

レコーダー

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：
動作時：約 13 W
待機時（エコ待機「モード 2」）：
電源ランプ消灯時・約 0.02 W※1※2
待機時（標準待機時）：
電源ランプ点灯時・約 4.4 W※1※3

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」
・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
※ 2・無線 LAN：未接続
・エコ待機「モード 1」の数値は、お客様の設定により変わります。
※ 3・LAN 接続形態：無線親機
・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信などレコーダーが動作している場合の消費電力は増えます。

■本体
寸法：
幅 169 mm×高さ 33 mm×奥行 169 mm
（突起部含まず）
幅 183 mm×高さ 33 mm×奥行 180 mm
（突起部含む、アンテナ収納状態）
質量：約 0.8 kg
許容周囲温度：5 ℃～40 ℃
許容相対湿度：10%～80%RH （結露なきこと）

■アンテナ受信入力
地上デジタル入力：
90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）
BS・110度CSデジタル -IF 入力：
1032 MHz～2071 MHz （IF入力周波数）75 Ω
電源供給：DC 15 V、最大4 W

■入出力端子（映像・音声を除く）
LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子：背面 1 系統（DC 5 V　最大 500 mA）

■記録・再生圧縮方式
映像：
MPEG-2（DR モード）、
MPEG-4 AVC/H.264（1.5 倍録～ 15 倍録モード）
音声：
MPEG-2 AAC（DR、1.5 倍録～ 15 倍録モード）
最大 5.1ch 記録

■HDMI 映像・音声出力
出力端子：1 系統（19 ピン　typeA 端子）
出力解像度：480p/720p/1080i
デジタル音声出力：PCM、Dolby Digital、MPEG-2 AAC 対応
チャンネル数：PCM 2ch/Bitstream 最大5.1ch

■USB 部
USB-HDD（録画用）：
バージョン：USB2.0
容量：160 GB 以上 2 TB 以下
登録可能台数：最大 8 台まで

■内蔵無線 LAN モジュール
規格：
IEEE802.11n / IEEE802.11a※4/
IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、
ARIB STD-T71（5 GHz帯）、ARIB STD-T66（2.4 GHz帯）
（5 GHz 帯は屋内使用限定）
セキュリティー：
WPA™ / WPA2™
（暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK）
WEP （64 bit / 128 bit）

※4　従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。

■録画モードと記録時間の目安

録画モード				内蔵HDD (320 GB)
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 29 時間
			SD放送 (≦12 Mbps)	約58 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 40 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 43 時間 30 分
	1.6 倍録			約 46 時間
	1.8 倍録			約 52 時間
	2 倍録（HG）			約 58 時間
	2.3 倍録			約 66 時間 30 分
	2.5 倍録			約 72 時間 30 分
	2.7 倍録			約 78 時間
	3 倍録（HX）			約 87 時間
	3.5 倍録			約 101 時間 30 分
	4 倍録（HE）			約 116 時間
	4.5 倍録			約 130 時間 30 分
	5 倍録（HL）			約 145 時間
	5.5 倍録			約 159 時間 30 分
	6 倍録			約 174 時間
	7 倍録			約 203 時間
	8 倍録（HM）			約 232 時間
	9 倍録			約 261 時間
	10 倍録			約 290 時間
	11 倍録			約 319 時間
	12 倍録			約 348 時間
	15 倍録（HZ）			約 435 時間

お知らせ

- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。 記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、容量いっぱいに記録することができない場合があります。

■**記録できる最大番組数**（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD ：1000（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- USB-HDD ：1000

■**予約可能番組数**

128（予約可能期間 ： 1 年間）

■**最大チャプターマーク数**（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- HDD USB-HDD ：1 番組当たり約 999 個

ディスプレイ

電源：DC 12 V（DC IN 端子）/ DC 7.2 V（内蔵電池端子）
消費電力：
（付属の専用 AC アダプター使用時）
動作時：約 22.5 W（本体 約 19.5 W）
充電時（クイックスタート「切」）：約 19 W
充電時（クイックスタート「入」）：約 22.5 W
待機時（クイックスタート「切」）：約 0.2 W
待機時（クイックスタート「入」）：約 3.5 W
ＡC アダプター：
入力：100 V − 240 V、50/60 Hz
消費電力：66 − 82 VA
出力：DC 12 V、2.5 A
内蔵電池（リチウムイオン）：
電圧：7.2 V
容量：7120 mAh（最小）

■本体
寸法：
幅 466.6 mm×高さ 290.2 mm×奥行 23.8 mm
（突起物を含まず）
質量：約 3.8 kg
許容周囲温度：5 ℃〜35 ℃
許容相対湿度：10%〜80%RH （結露なきこと）
液晶ディスプレイ：
19 V 型
（V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です）
画素数：横 1366 ×縦 768
スピーカー：
出力：2 W + 2 W（16 Ω）
音声 / 映像入力：
入力端子：ミニジャック（∅3.5 mm）
端子数：１系統
コンポジット映像入力：
入力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
音声入力：
入力レベル：2 Vrms（1 kHz、0 dB、10 kΩ）
ヘッドホン出力：
出力端子：ステレオミニジャック（∅3.5 ㎜、16〜32 Ω 推奨）
端子数：１系統

■内蔵無線 LAN モジュール
規格：
IEEE802.11n / IEEE802.11a※4/
IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、
ARIB STD-T71（5 GHz帯）、ARIB STD-T66（2.4 GHz帯）
（5 GHz 帯は屋内使用限定）
セキュリティー：
WPA™ / WPA2™
（暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK）
WEP （64 bit / 128 bit）

※４　従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- マーク、およびマーク「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
- 「もっと TV」は株式会社電通の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- レコーダーがテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［スタート］ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、レコーダーが記憶します。万一、レコーダーの不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- レコーダーは 2012 年 5 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
●シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
●天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。
●アクトビラなどのインターネットサービス
●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
●宅外リモート接続機能
●その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
ネットワークディスプレイ
http://panasonic.net/avc/oss/bdplayer/AWBPP12.html
ハードディスクレコーダー
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest.diga@gg.jp.panasonic.com

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
ネットワークディスプレイ
http://panasonic.net/avc/oss/bdplayer/AWBPP12.html
ハードディスクレコーダー
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

(5) には以下が含まれます。
1. OpenSSL Toolkit において使用するために、OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア
(http://www.openssl.org/)
2. University of California, Berkeley およびその貢献者によって開発されたソフトウェア
3. FreeType コード
4. Independent JPEG Group の JPEG ソフトウェア

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

ディスプレイ専用の充電式電池です
この機器以外に使用しない

取り出した充電式電池は充電しないでください。

- 火への投入、加熱をしない
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
- ⊕ と ⊖ を金属などで接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
- 水中への投入をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

充電式電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・電源プラグが異常に熱い
・ディスプレイ、レコーダー、ACアダプターに変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災･感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

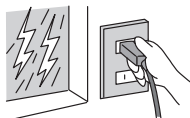
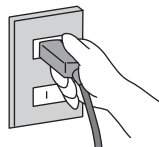
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、レコーダーやディスプレイ、電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ･ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ACアダプターおよび電源コードのコード部や電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

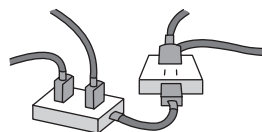
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠警告

ディスプレイ用リモコンのコイン電池やminiB-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

風呂場、シャワー室、キッチンなど水のかかるおそれのある場所では使用しない

火災・感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

レコーダーの分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

ディスプレイは充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**
- **分解・改造しない（製品廃棄時を除く）**

発熱・発火・破裂の原因になります。

壁掛けをしない

落下すると、けがの原因になります。

⚠ 警告

レコーダー用リモコンの電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

レコーダー用リモコンの電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにレコーダー用リモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

ディスプレイは可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

ディスプレイは、長時間、直接触れて使用しない

ディスプレイの温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

次の安全上のご注意は、製品廃棄時（充電式電池取り出し時）に適用されます。

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

心臓ペースメーカーを装着している方はレコーダーやディスプレイを装着部から22cm以上離す

レコーダーやディスプレイからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

レコーダーやディスプレイからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

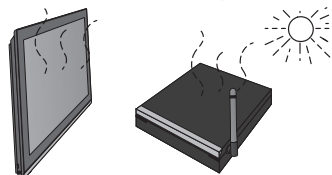
レコーダーやディスプレイからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

ディスプレイ用リモコンのコイン電池は誤った使いかたをしない

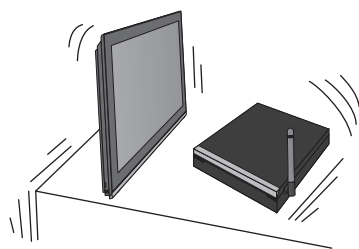
- **指定以外のコイン電池を使わない**
- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。ディスプレイやACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- レコーダー後面の内部冷却用ファンや側面と底面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

機器のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災･感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

重い物を上に載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災･故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置･工事は販売店にご相談ください。

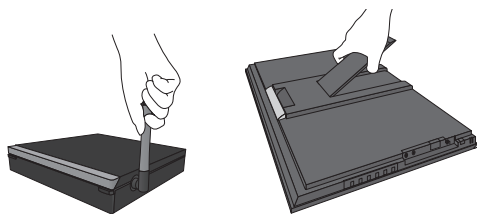
油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災･感電の原因になることがあります。

歩行中はディスプレイで映像などを見ない

物にぶつかったり、つまずいたりして、けがの原因になることがあります。

レコーダーのアンテナやディスプレイのスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

レコーダーのアンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。
- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

ディスプレイに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

長期間使わないときは、レコーダー用リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

指定のACアダプターを使う

指定以外のACアダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

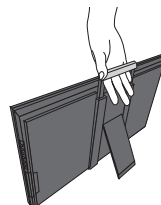
スタンドは開ききって設置する

開ききらないで設置すると、倒れたり落下し、けがの原因になることがあります。また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

ディスプレイを設置するときや移動させるときは、ディスプレイとハンドル、スタンドの間に指をはさまないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

次の安全上のご注意は、テレビで3D映像を視聴するときに適用されます。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話　（　　）　ー
お買い上げ日　　年　月　日
miniB-CASカード番号

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（➜162 ～165）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- ● 製品名　ネットワークディスプレイ付 ハードディスクレコーダー
- ● 品　番　UN-JL19T1
- ● 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、保証書を添えてネットワークディスプレイとレコーダーの両方をご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間 ８年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜163）
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青　森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0512

さくいん

英数字 ページ

あ 行 ページ

か 行 ページ

さ 行　ページ

た 行　ページ

な 行　ページ

必要なとき

は 行

ま 行

や 行

ら 行

必要なとき

ホームページ
http://panasonic.jp/support/hdd/

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「270＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取･配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 **長年ご使用のネットワークディスプレイ付ハードディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4H37-1
F0612HS1072